

平成30年度

植物防疫事業年報

京都府病虫害防除所

京都府亀岡市余部町和久成9

TEL 0771-23-9512

はじめに

病虫害防除所の事業実施に際しては、生産者や関係機関の皆様には格別の御指導とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、本年度に発表しました病虫害発生予報、注意報、特殊報、防除所ニュース、月報や毎月の巡回調査結果等をまとめ、平成30年病虫害防除所植物防疫年報として発行しました。今後の皆様の営農や業務に役立てていただく資料となれば幸いです。

さて、平成30年は、気象の変動が激しい一年でした。29年12月から30年2月にかけては強い寒気が流れ込み低温が続き、また降水量の少ない寒い冬となりました。しかし、3月から5月にかけては一変して高温で推移し、降水量も多くなりました。7月初旬には、「平成30年7月豪雨」とよばれる記録的な大雨が発生し、府内各地に土砂災害や河川の氾濫など甚大な被害を及ぼしました。7月中旬から8月にかけて記録的な高温が続き。厳しい暑さとなりました。9月には、府内各地で多数のビニルハウスが倒壊する等の甚大な被害を及ぼした台風21号を始め、台風が3個も襲来しました。10月から平成31年1月にかけてやや高温で推移した後、2、3月はかなりの高温で推移する気象状況でした。

それらの影響も受け、京都府の病虫害の発生状況は、水稻では、7月には斑点米カメムシが多発し、注意報を発表して注意を呼びかけました。また、8、9月には中丹・丹後地域で紋枯病が多発しました。果樹では、ナシの黒斑病、黒星病、赤星病がやや多い発生であり、5月と9月には予察灯やフェロモントラップでの誘殺数が多かったことから、果樹カメムシ類についての防除所ニュースを発表しました。茶では、炭疽病が多発し、夏以降はカンザワハダニが多発しました。野菜類では、3月から5月、また、秋以降に、コナガ、アブラムシやアザミウマ類が多発しました。また、3、4月は高温で降水量も比較的多く推移したため、平成28、29年にネギベと病が多発したことも踏まえ、4月にネギ・タマネギベと病の注意報を発表し、注意を呼びかけました。8月には、シロイチモジヨトウの多発が認められ、月初めと月末に注意報を2報発表しました。ネギハモグリバエでは、従来の食害痕や寄生様式とは異なる系統の発生を世界で初めて確認したため、31年3月に特殊報を発表しました。

近年の気候変動や、農業生産の多様化、農産物貿易のグローバル化の影響もあって、病虫害の発生も多様化してきている中、病虫害発生予察事業の重要性がますます高まってきております。当所ではより一層、発生予察情報の迅速な提供と精度の向上に努めて参りたいと考えています。関係者の皆様におかれましては、今後とも、防除所業務に対して御理解と御協力を御願いたします。

目 次

病虫害防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
業務の概要	
I 農作物病虫害発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	2
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病虫害の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病虫害の発生予察と発生状況	10
1 発生予察調査の結果	10
1) 巡回調査の結果	10
(1) 水稻 (2) 麦類 (3) 黒大豆 (4) 小豆 (5) ナシ (6) ブドウ (7) カキ	
(8) カンキツ (9) 茶樹 (10) キュウリ (11) トマト (12) ナス (13) キャベツ	
(14) ダイコン (15) カブ (16) ホウレンソウ (17) ネギ (小株) (18) ネギ (大株)	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	46
(1) 予察灯の調査結果 (2) 誘引剤トラップの調査結果 (3) 黄色水盤の調査結果	
2 病虫害発生予察情報の内容	63
3 対象病虫害の発生状況	77
II 重要病虫害侵入警戒調査の実施	84
III 調査・試験の結果	86
難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立	86
(1) 各種有色ネットに対するハモグリミドリヒメコバチの行動反応特性の解明	
新病害ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立	88
(1) ネギえそ条斑病・ネギアザミウマの地理的分布調査	
(2) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布調査	
農作物の病虫害に関する現地対策調査	92
(1) シロイチモジヨトウの殺虫剤感受性	
(2) 丹後地域のナシ園におけるシンクイムシ類のフェロモントラップによる発生消長調査	
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	96
V 情報提供サービスの実施	
(I) 情報提供の概要	96
(II) 情報の内容と利用の状況	97
VI 病虫害調査協力員の活動状況	99
VII 会議・講演・研修等の実施	100
VIII 普及センター等との連携の推進	104
参考資料	
平成30年の半旬別気象表・グラフ	105

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。
- ◎ 平成21年4月1日
農林水産業に係わる試験研究機関の統合・再編に伴い、農林水産技術センター農林センターの環境部植物防疫担当として再編、設置された。

II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体制

(I) 京都府における調査機関等

職名	京都府病虫害防除所					協力機関名
	所長	専門幹	主任研究員	嘱託職員	計	
人数	1人	2人	2人	1人	6人	農林センター、茶業研究所、丹後農業研究所、農業大学校、流通・ブランド戦略課、農産課

(II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組合	農業共済組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	”	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	”	京田辺市薪	
	麦 類	亀岡市余部町（農林センター）	
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所 防除所 防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	カ キ	京都市西京区大枝	
茶 樹	茶	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研 防除所
	”	京丹後市大宮町口大野	
野 菜	キ ュ ウ リ	京都市伏見区深草	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	
	ナ ス	京田辺市薪	
	”	京都市西京区大原野	
	キ ャ ベ ツ	京都市南区吉祥院、亀岡市余部町（農林センター）	
	ダ イ コ ン	木津川市梅谷、京丹後市弥栄町黒部	
	ホ ウ レ ン ソ ウ	久御山町坊之池	
ネ ギ	京都市伏見区淀		

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道 ポンプ場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹 カメムシ類、タバコガ、オオタ バコガ、ニカメイガ、シロイチ モジヨトウ、吸実性カメムシ類	防除所 防除所

設置場所	種類	対象病虫害	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯 (60W) (BL) フェロモントラップ 黄色水盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、 オオタバコガ、カブラヤガ、 ニカメイガ、シロイチモジヨ トウ、吸実性カメムシ類 アブラムシ類	防除所 防除所 農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町 黒部 (丹後農研)	乾式日別予察灯 (60W) (BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果 樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、ニカメイガ、シ ロイチモジヨトウ、吸実性カ メムシ類	防除所 防除所
京丹後市大宮町 口大野	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W (白熱灯)	ウンカ・ ヨコバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメム シ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカ メムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカ メムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミ カメ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト (蛍光灯)	コガネムシ類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメム シ、ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稻 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北 下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野町 今西中 福知山市大江町河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町 芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦類 (7地区/14か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 福知山市半田、前田 綾部市私市、西坂 南丹市美山町鶴ヶ岡 (二条) 亀岡市河原林町 亀岡市本梅町平松	—

(3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 6地区/11か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	京丹波町富田、安栖里 福知山市夜久野町大油子	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	亀岡市河原林町、馬路町 南丹市園部町若森 福知山市半田 綾部市篠田 舞鶴市久田美	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

(4) 果樹 (10地区/22か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市内里	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、三分、浦明、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	6	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町 一分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (16地区/32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町禅定寺、宇治田原町南 和東町石寺、和東町湯船、和東町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留 網野町郷

(6) 野菜 (30地区/52か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	9	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	7	京都市西京区大原野 八幡市野尻、岩田 京田辺市薪、宮津 久御山町坊之池、相島	—	—
キャベツ	6	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ダイコン	5	木津川市梅谷	—	京丹後市弥栄町 久美浜町
カブ	6	—	京都市右京区 京北矢代中町 亀岡市篠町	京丹後市弥栄町 久美浜町

ホウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市西京区牛ヶ瀬、 伏見区淀	—	—

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、稲こじ病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ、フタオビコヤガ	苗立枯病、白葉枯病、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ
	麦類	赤かび病、うどんこ病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、ハダニ類、フタスジヒメハムシ、サヤムシガ類、食葉性チョウ目幼虫、チョウ目害虫
	小豆	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	モザイク病、さび病、炭疽病、うどんこ病、アブラムシ類、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、食葉性チョウ目幼虫、チョウ目害虫
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、アブラムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類	赤星病、うどんこ病
	ブドウ	べと病、灰色かび病	うどんこ病、褐斑病、さび病、ハダニ類、チャノキイロアザミウマ
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、カメムシ類、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ、ハマキムシ類	うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、
茶	炭疽病、ハダニ類、ハマキムシ類、チャノホソガ	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミド	

樹			リヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
野菜	キュウリ	べと病、うどんこ病、褐斑病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭疽病、モザイク病、ハダニ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ（ウリノメイガ）
	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	うどんこ病、モザイク病、アザミウマ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、ハモグリバエ類、コナジラミ類
	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ、ヨトウガ	べと病、モンシロチョウ、ウワバ類、アザミウマ類
	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ
	カブ	コナガ	軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、ハモグリバエ類
	ホウレンソウ	アブラムシ類、ヨトウガ	べと病、シロオビノメイガ、ハダニ類
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ、えそ条斑病

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

1 指定有害動物（55種類）

- (1) いちご、かき、きく、キャベツ、きゅうり、たまねぎ、なす及びねぎのアザミウマ類
- (2) いちご、かんきつ、きく、キャベツ、きゅうり、すいか、だいこん、大豆、トマト、なし、なす、ねぎ、はくさい、ばれいしよ、ピーマン、ほうれんそう及びレタスのアブラムシ類
- (3) いねのイネミズゾウムシ
- (4) オオタバコガ
- (5) かきのカイガラムシ類
- (6) かきのカキノヘタムシガ
- (7) 果樹カメムシ類
- (8) さとうきびのカンシャコバネナガカメムシ
- (9) 大豆の吸実性カメムシ類
- (10) コナガ
- (11) きゅうり及びトマトのコナジラミ類
- (12) いねのコブノメイガ
- (13) シロイチモジヨトウ
- (14) なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (15) いねのセジロウンカ
- (16) 茶のチャノホソガ
- (17) いねのツマグロヨコバイ
- (18) いねのトビイロウンカ
- (19) いねのニカメイガ
- (20) ハスモンヨトウ
- (21) いちご、おうとう、かんきつ、茶、なし、なす、もも及びりんごのハダニ類
- (22) かき、茶、なし及びりんごのハマキムシ類
- (23) 斑点米カメムシ類
- (24) いねのヒメトビウンカ
- (25) いねのフタオビコヤガ
- (26) さとうきびのメイチュウ類
- (27) ヨトウガ

2 指定有害植物（30種類）

- (1) むぎの赤かび病菌
- (2) いねの稲こうじ病菌
- (3) いねのいもち病菌
- (4) いちごのうどんこ病菌
- (5) きゅうりのうどんこ病菌
- (6) なすのうどんこ病菌
- (7) ピーマンのうどんこ病菌
- (8) むぎのうどんこ病菌
- (9) トマト及びばれいしよの疫病菌
- (10) ぶどうの晩腐病菌
- (11) かんきつのかいよう病菌
- (12) キウイフルーツのかいよう病菌
- (13) きゅうりの褐斑病菌
- (14) てん菜の褐斑病菌
- (15) キャベツ及びレタスの菌核病菌
- (16) キャベツの黒腐病菌
- (17) なしの黒星病菌
- (18) りんごの黒星病菌
- (19) かんきつの黒点病菌
- (20) なしの黒斑病菌
- (21) ねぎの黒斑病菌
- (22) ねぎのさび病菌
- (23) いねの縞葉枯病ウイルス
- (24) たまねぎの白色疫病菌
- (25) きくの白さび病菌
- (26) てん菜の西部萎縮病ウイルス
- (27) もものせん孔細菌病菌
- (28) かんきつのそうか病菌
- (29) いちごの炭疽病菌
- (30) かきの炭疽病菌
- (31) 茶の炭疽病菌
- (32) いちご、きゅうり、トマト、なす、ぶどう及びレタスの灰色かび病菌
- (33) おうとうの灰星病菌
- (34) いねのばか苗病菌
- (35) トマトの葉かび病菌
- (36) りんごの斑点細菌病菌
- (37) きゅうりのべと病菌
- (38) たまねぎ及びねぎのべと病菌
- (39) ぶどうのべと病菌
- (40) いねのもみ枯細菌病菌
- (41) いねの紋枯病菌

(II) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稲

生育概要

早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月20日 移植期：5月10日）

普通植（品種：コシヒカリ、日本晴 播種期：5月5日 移植期：5月25日）

ア. 生育

6月第3～第5半旬では、平均気温が平年比-1.5℃と低くなったため、生育が緩慢となり早植、普通植ともに茎数は少なく推移した。7月以降9月まで平年より高温で推移したため、出穂期は早植コシヒカリで平年比5日、普通植コシヒカリで平年比3日早くなった。成熟期は早植コシヒカリで平年比10日、普通植コシヒカリで平年比7日早くなった（表1）。6月第3～第5半旬では、平均気温が平年比-1.5℃と低くなったため、生育が緩慢となり早植、普通植ともに茎数は少なく推移した。7月以降9月まで平年より高温で推移したため、出穂期は早植コシヒカリで平年比5日、普通植コシヒカリで平年比3日早くなった。成熟期は早植コシヒカリで平年比10日、普通植コシヒカリで平年比7日早くなった。

イ. 収量及び品質

早植コシヒカリは、有効穂数が少なく（平年比91%）、一穂粒数もやや少ないため（平年比97%）、㎡当たりの粒数は少なく（平年比90%）なった。また登熟期間である8月が高温であった影響で、登熟歩合も減少（平年比-3.3ポイント）したため、精玄米重は平年より減収（平年比86%）した。普通植コシヒカリは、有効穂数が少なく（平年比91%）なったものの、一穂粒数が多いため（平年比108%）、㎡当たりの粒数は平年並（平年比98%）となった。また、登熟歩合は8月の登熟期の高温の影響で低下したため（平年差-3.3ポイント）、精玄米重は減収（平年比92%）した。玄米品質は早植で平年を上回り、普通植で平年を下回った。

（京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ）

病害虫発生状況

ア 苗いもち（指定）

発生を認めなかった。

イ 葉いもち（指定）

8月中旬に南丹地域で平年比やや多く、丹後地域で平年比多い発生となったが、全体的に平年並の発生で推移した。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
30年	山城	-	-	-	-
	南丹	6	22	0.0	0.0
	中丹	4	24	0.0	0.0
	丹後	8	0	0.0	0.0
29年	山城	-	-	-	-
	南丹	6	28	0.0	0.0
	中丹	2	10	0.0	0.0
	丹後	2	6	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 箇所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認率(%)	
			箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
30年	山城	6	6	67	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	7	37	1	1	14.3	2.7
	中丹	6	4	16	1	3	25.0	18.8
	丹後	9	3	5	0	0	0.0	0.0
29年	山城	6	5	47	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	4	26	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	3	17	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	1	1	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	0.0	—
		29年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	30年	6	33.3	2.0	0.5	—
		29年	6	50.0	10.7	2.7	—
		平年	—	21.2	4.4	1.7	—
	*8・3～4	30年	6	16.7	0.0	—	0.00
		29年	6	16.7	0.7	—	0.00
		平年	—	24.8	2.7	—	0.05
南丹	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	0.0	—
		29年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	30年	9	22.2	5.8	1.4	—
		29年	9	11.1	5.8	1.4	—
		平年	—	28.4	16.0	4.9	—
	*8・3～4	30年	9	44.4	7.6	—	0.20
		29年	9	11.1	2.7	—	0.00
		平年	—	26.3	6.4	—	0.14
中丹	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	0.0	—
		29年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	4.8	0.4	0.1	—
	7・3～4	30年	6	50.0	2.0	0.5	—
		29年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	20.5	6.0	1.7	—
	*8・3～4	30年	6	16.7	0.0	—	0.00
		29年	6	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	11.4	1.3	—	0.12
丹後	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	0.0	—
		29年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	1.1	0.2	0.0	—
	7・3～4	30年	9	11.1	0.4	0.1	—
		29年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	7.7	1.8	0.5	—
	*8・3～4	30年	9	55.6	5.3	—	0.25
		29年	9	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	7.8	1.5	—	0.05

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	23.3	76.7

ウ 穂いもち（指定）

8月に中丹地域で発生を認め、9月には山城、中丹及び丹後地域では平年並、南丹地域では平年比やや少ない発生となった。全体的には平年比やや少ない発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	28	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	16	0.0	0.0	0.0	6.3	93.8

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期(月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病葉率(%)	被害籾率(%)
山城	8・3～4	30年	4	0.0	0.0	0.00	—
		29年	1	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	14.3	0.6	0.03	—
	9・3～4	30年	5	40.0	0.8	—	0.12
		29年	5	20.0	1.6	—	0.08
		平年	—	26.8	3.8	—	—
南丹	8・3～4	30年	9	0.0	0.0	0.00	—
		29年	9	77.8	10.4	0.62	—
		平年	—	23.1	4.9	0.21	—
	9・3～4	30年	6	0.0	0.0	—	0.00
		29年	2	100.0	44.0	—	3.20
		平年	—	35.7	14.8	—	—
中丹	8・3～4	30年	6	0.0	0.0	0.00	—
		29年	6	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	8.3	1.2	0.07	—
	9・3～4	30年	2	0.0	0.0	—	0.00
		29年	3	100.0	42.7	—	2.27
		平年	—	30.6	8.5	—	—
丹後	8・3～4	30年	9	0.0	0.0	0.00	—
		29年	9	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	5.4	0.4	0.02	—
	9・3～4	30年	3	0.0	0.0	—	0.00
		29年	2	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	17.7	1.4	—	—

エ 紋枯病（指定）

7月から中丹地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認め、中丹地域では平年比やや多い発生となった。9月には発生面積は平年比多くなったが、発病度は平年並に抑えられた。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	36.7	63.3
9・3～4	17	0.0	0.0	0.0	76.5	23.5

表8 本田における紋枯病の発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	
山城	7・3～4	30年	6	0.0	0.0	0.0	
		29年	6	16.7	1.3	0.3	
		平年	—	1.7	0.1	0.0	
	8・3～4	30年	6	6	16.7	4.7	1.2
		29年	6	6	66.7	15.3	4.0
		平年	—	—	41.2	6.6	2.1
	9・3～4	30年	5	5	80.0	15.2	6.8
		29年	5	5	60.0	20.0	7.4
		平年	—	—	72.7	18.2	7.3
南丹	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	0.0	
		29年	9	11.1	0.4	0.4	
		平年	—	4.4	0.3	0.1	
	8・3～4	30年	9	9	77.8	6.7	1.6
		29年	9	9	66.7	4.4	1.3
		平年	—	—	45.1	6.6	2.5
	9・3～4	30年	6	6	85.7	8.0	2.6
		29年	2	2	100.0	8.0	4.0
		平年	—	—	65.9	12.6	4.3
中丹	7・3～4	30年	6	16.7	2.7	0.7	
		29年	6	0.0	0.0	0.0	
		平年	—	3.3	0.1	0.0	
	8・3～4	30年	6	6	33.3	6.0	1.5
		29年	6	6	50.0	16.0	4.0
		平年	—	—	24.5	3.2	0.9
	9・3～4	30年	2	2	100.0	12.0	4.0
		29年	3	3	33.3	29.3	16.3
		平年	—	—	27.8	6.8	3.4
丹後	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	0.0	
		29年	9	0.0	0.0	0.0	
		平年	—	1.1	0.0	0.0	
	8・3～4	30年	9	9	11.1	0.9	0.2
		29年	9	9	11.1	1.3	0.3
		平年	—	—	15.4	1.7	0.5
	9・3～4	30年	3	3	33.3	14.7	6.3
		29年	2	2	100.0	22.0	6.0
		平年	—	—	45.8	4.8	1.8

オ 苗立枯病

発生を認めなかった。

カ 白葉枯病

発生を認めなかった。

キ もみ枯細菌病（指定）

発生を認めなかった。

ク ばか苗病（指定）

7月に南丹、8月に山城及び丹後地域の一部で発生を認めた。

ケ 縞葉枯病（指定）
発生を認めなかった。

コ 稲こうじ病（指定）
9月に南丹地域の一部で発生を認めた。

サ ヒメトビウンカ（指定）
越冬密度は平年比低かった。
7月から発生を認め、9月まで平年比少ない発生に推移した。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	30年	4	0.0	0.0	-
	29年	3	0.0	0.0	-
南丹	30年	2	0.0	0.0	-
	29年	4	25.0	0.5	-
中丹	30年	2	0.0	0.0	-
	29年	4	0.0	0.0	-
丹後	30年	3	0.0	0.0	-
	29年	4	0.0	0.0	-

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		平年	-	1.7	0.0	-	0.0	0.0
	7・3～4	30年	6	16.7	2.7	6	50.0	1.0
		29年	6	16.7	0.8	6	66.7	1.7
		平年	-	40.0	2.3	-	37.9	1.1
	8・3～4	30年	6	100.0	16.0	6	33.3	9.2
		29年	6	50.0	4.8	6	83.3	5.2
		平年	-	59.5	4.4	-	78.8	8.3
南丹	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		平年	-	1.0	0.0	-	10.0	0.1
	7・3～4	30年	9	11.1	0.1	9	11.1	0.1
		29年	9	33.3	0.4	9	33.3	0.8
		平年	-	24.0	0.4	-	15.4	0.2
	8・3～4	30年	9	22.2	3.8	9	44.4	9.1
		29年	9	11.1	5.2	9	44.4	8.4
		平年	-	38.9	2.6	-	76.1	16.2
中丹	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	-	1.7	0.0	-	6.4	0.1
	7・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	50.0	0.7	6	16.7	0.2
		平年	-	26.7	0.4	-	20.0	0.3
	8・3～4	30年	6	50.0	1.0	6	100.0	11.0
		29年	6	66.7	0.8	6	100.0	6.8
		平年	-	46.2	1.6	-	76.9	36.0
丹後	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	-	4.2	0.0	-	5.6	0.1
	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	22.2	0.3	9	11.1	0.1
		平年	-	19.7	0.4	-	25.1	0.8
	8・3～4	30年	9	33.3	0.3	9	55.6	0.8
		29年	9	55.6	1.8	9	100.0	13.7
		平年	-	54.9	1.9	-	85.9	28.1

表11 本田におけるヒメトビウシカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7
8・3～4	30	0.0	10.0	3.3	43.3	43.3

シ ツマグロヨコバイ（指定）

越冬世代幼虫の発生時期は平年比やや早く、越冬密度は平年並であった。

本田では、7月に山城及び中丹地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない発生で推移した。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半月）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	30年	4	50.0	1.3	100.0
	29年	3	66.7	6.7	-
南丹	30年	2	100.0	1.5	100.0
	29年	4	0.0	0.0	-
中丹	30年	2	0.0	0.0	-
	29年	4	25.0	0.8	100.0
丹後	30年	3	0.0	0.0	-
	29年	4	0.0	0.0	-

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期(月・半月)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	4	25.0	0.3
		平年	-	0.0	0.0	-	7.8	0.1
	7・3～4	30年	6	33.3	1.5	6	50.0	3.2
		29年	6	50.0	2.3	6	33.3	2.7
		平年	-	38.1	4.6	-	37.7	4.6
	8・3～4	30年	6	100.0	32.8	6	50.0	148.7
		29年	6	50.0	8.3	6	83.3	44.2
		平年	-	78.6	20.1	-	83.6	64.7
南丹	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	-	4.4	0.2	-	3.3	1.3
	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	11.1	0.2	9	11.1	0.2
		平年	-	24.1	1.9	-	17.7	0.4
	8・3～4	30年	9	22.2	0.2	9	11.1	0.3
		29年	9	11.1	0.4	9	0.0	0.0
		平年	-	25.4	1.8	-	39.3	19.7
中丹	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	-	0.0	0.0	-	5.0	0.1
	7・3～4	30年	6	16.7	0.8	6	16.7	0.2
		29年	6	33.3	0.3	6	0.0	0.0
		平年	-	34.3	1.4	-	14.5	0.4
	8・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	33.3	1.2
		29年	6	0.0	0.0	6	33.3	1.2
		平年	-	21.4	0.5	-	35.0	3.8
丹後	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	-	2.2	0.1	-	3.3	0.0
	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	22.2	0.2	9	0.0	0.0
		平年	-	42.4	1.8	-	23.1	0.9
	8・3～4	30年	9	33.3	0.7	9	33.3	0.8
		29年	9	33.3	0.7	9	33.3	6.1
		平年	-	44.2	2.3	-	51.4	26.0

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7
8・3～4	30	0.0	3.3	0.0	26.7	70.0

ス セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺（6月30日）で平年比早く、亀岡（7月13日）及び京丹後（7月1日）で平年比やや早かった。

本田では7月に山城及び南丹地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比少ない発生に推移した。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
30年	6.30	7.13	7.1
29年	(8.11)	(8.24)	7.14
平年	7.10	7.17	7.5

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。

平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		平年	—	2.0	0.0	—	2.0	0.0
	7・3～4	30年	6	50.0	4.2	6	50.0	1.2
		29年	6	83.3	8.5	6	66.7	1.7
		平年	—	79.3	16.1	—	68.1	14.0
	8・3～4	30年	6	83.3	4.0	6	33.3	18.0
		29年	6	66.7	21.2	6	33.3	2.8
		平年	—	92.4	22.9	—	86.7	48.5
南丹	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.1	0.0
	7・3～4	30年	9	33.3	0.6	9	0.0	0.0
		29年	9	66.7	1.8	9	11.1	0.1
		平年	—	67.3	4.2	—	42.6	2.6
	8・3～4	30年	9	33.3	0.9	9	33.3	4.9
		29年	9	22.2	0.4	9	11.1	0.6
		平年	—	76.2	10.3	—	82.3	44.7
中丹	6・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.7	0.0
	7・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	50.0	1.5	6	16.7	0.2
		平年	—	66.2	4.0	—	30.9	2.7
	8・3～4	30年	6	66.7	1.5	6	100.0	22.7
		29年	6	100.0	4.5	6	100.0	27.7
		平年	—	79.3	6.1	—	83.3	37.0
丹後	6・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	3.3	0.0
	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	33.3	1.0	9	22.2	0.2
		平年	—	71.8	5.3	—	40.7	9.4
	8・3～4	30年	9	44.4	1.2	9	88.9	6.8
		29年	9	55.6	1.2	9	100.0	22.9
		平年	—	79.4	7.2	—	95.6	46.5

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
8・3～4	30	0.0	0.0	3.3	60.0	36.7

セ トビイロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京丹後でのみ8月29日であったが、巡回調査では発生を認めなかった。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
30年	-	-	(8.29)
29年	(9.8)	(9.23)	(9.8)
平年	-	-	7.14

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	7・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	30年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		29年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
南丹	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	30年	7	0.0	0.0	0	-	-
		29年	2	0.0	0.0	1	0.0	0.0
中丹	7・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	30年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	30年	2	0.0	0.0	0	-	-
		29年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
丹後	7・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	30年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	30年	3	0.0	0.0	0	-	-
		29年	2	0.0	0.0	0	-	-

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	17	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回すくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

ソ ニカメイガ（指定）

7月から中丹及び丹後地域の一部で発生を確認し、9月には丹波地域の飼料米でも発生を認めた。

タ コブノメイガ（指定）
巡回調査では発生を認めなかった。

チ イネミズゾウムシ（指定）
予察灯への初飛来は京田辺（5月1日）及び京丹後（4月23日）で平年比早く、亀岡（5月16日）では平年比遅かった。
予察灯への誘殺数（4月第1半旬～5月第2半旬）は、京田辺で平年比多く、亀岡で平年比少なく、京丹後で平年並であった。
本田での発生は山城地域では平年比やや多く、全体的には平年並の発生であった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)
30年	5.1	127	5.16	293	4.23	30
29年	5.12	69	5.5	265	6.26	86
平年	5.29	66.7	5.5	254.6	5.8	127.4

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査（6月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率(%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	30年	6	66.7	22.7	6.3	0.5
	29年	6	50.0	18.7	4.8	0.0
	平年	—	61.1	16.8	4.7	0.2
南丹	30年	9	88.9	71.6	18.7	1.2
	29年	9	77.8	64.4	16.6	2.2
	平年	—	86.7	66.4	21.4	1.7
中丹	30年	6	100.0	70.7	17.7	0.5
	29年	6	100.0	82.0	21.5	1.5
	平年	—	93.8	59.6	16.1	0.9
丹後	30年	9	100.0	53.8	13.2	0.4
	29年	9	88.9	55.1	13.8	1.2
	平年	—	85.9	43.8	11.8	0.7

* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
5・3～4	17	0.0	0.0	11.8	29.4	58.8
6・3～4	30	0.0	0.0	43.3	43.3	13.3

ツ 斑点米カメムシ類（指定）
本田での発生は、平年並の発生に推移した。
畦畔雑草での発生は、6月までは平年並の発生であったが、7及び8月には平年比多い発生となり、特に山城及び丹後地域での発生が目立った。
予察灯（60W）へのアカスジカスミカメの誘殺数は平年比やや多く、アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数は平年並であった。
優占種は、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、及びアカヒゲホソミドリカスミカメであった。特に、昨年、一昨年に引き続きイネカメムシの発生が目立った。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
8・3～4	30	0.0	0.0	13.3	30.0	56.7
9・3～4	9	0.0	0.0	22.2	22.2	55.6

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	31頭≤ (%)	11~30頭 (%)	4~10頭 (%)	1~3頭 (%)	0頭 (%)
6・3~4	30	0.0	3.3	3.3	30.0	63.3
7・3~4	30	10.0	13.3	10.0	30.0	36.7
8・3~4	30	3.3	6.7	20.0	13.3	56.7

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査 (20回振りすくい取り)

地域	調査時期 (月・半月)	年次	本田			畦畔		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率 (%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率 (%)	虫数 (頭)
山城	6・3~4	30年	6	16.7	0.2	6	66.7	4.0
		29年	4	0.0	0.0	6	50.0	1.0
		平年	—	5.1	0.1	—	55.7	11.0
	7・3~4	30年	6	16.7	0.5	6	83.3	99.7
		29年	6	16.7	0.2	6	83.3	50.8
		平年	—	21.2	0.4	—	75.7	24.1
	8・3~4	30年	6	16.7	0.8	6	100.0	22.7
		29年	6	33.3	2.5	6	83.3	13.3
		平年	—	31.2	0.9	—	77.4	15.8
	9・3~4	30年	5	20.0	0.4	—	—	—
		29年	5	80.0	2.6	—	—	—
	南丹	6・3~4	30年	9	0.0	0.0	9	22.2
29年			9	0.0	0.0	9	33.3	0.3
平年			—	3.3	0.1	—	39.7	1.3
7・3~4		30年	9	0.0	0.0	9	44.4	2.9
		29年	9	0.0	0.0	9	66.7	5.4
		平年	—	12.0	0.3	—	42.8	3.0
8・3~4		30年	9	44.4	1.3	9	22.2	0.4
		29年	9	55.6	0.8	9	33.3	0.6
		平年	—	49.4	1.4	—	33.8	1.2
9・3~4		30年	0	—	—	—	—	—
		29年	1	0.0	0.0	—	—	—
中丹		6・3~4	30年	6	0.0	0.0	6	16.7
	29年		6	0.0	0.0	6	16.7	0.5
	平年		—	6.7	0.2	—	39.8	3.2
	7・3~4	30年	6	0.0	0.0	6	83.3	2.5
		29年	6	16.7	0.3	6	66.7	1.0
		平年	—	12.9	0.2	—	52.4	2.4
	8・3~4	30年	6	66.7	2.3	6	33.3	0.8
		29年	6	66.7	5.0	6	33.3	1.3
		平年	—	47.4	1.8	—	45.5	1.3
	9・3~4	30年	0	—	—	—	—	—
		29年	3	0.0	0.0	—	—	—
	丹後	6・3~4	30年	9	0.0	0.0	9	44.4
29年			9	11.1	0.2	9	22.2	1.1
平年			—	10.0	0.2	—	45.3	2.6
7・3~4		30年	9	11.1	0.3	9	55.6	16.2
		29年	9	0.0	0.0	9	44.4	14.4
		平年	—	8.8	0.1	—	38.8	3.9
8・3~4		30年	9	44.4	0.9	9	33.3	1.4
		29年	9	77.8	1.1	9	33.3	1.3
		平年	—	49.6	1.1	—	33.3	1.1
9・3~4		30年	0	—	—	—	—	—
		29年	0	—	—	—	—	—

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種構成割合(%)							
	シラホシカメムシ	トゲシラホシカメムシ	ホリハリカメムシ	クモハリカメムシ	コハネヒョウタンナガカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカシバカスミカメ	その他
30年	3.6	1.0	9.6	3.6	0.0	27.9	39.6	14.7
29年	1.8	4.2	9.6	4.2	0.0	10.2	46.7	23.4
28年	8.9	14.8	19.3	7.4	0.0	5.9	34.8	8.9
27年	2.5	9.9	12.3	39.5	0.0	7.4	22.2	6.2
26年	1.2	2.9	5.0	4.1	0.0	15.9	70.5	0.3
25年	1.3	3.8	18.3	9.4	1.3	8.7	53.7	3.6
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4
23年	4.3	24.5	21.3	3.2	0.0	29.8	16.0	1.0

* 種構成割合は本田と畦畔における20回振りすくい取りの平均値。

テ イネツトムシ（イチモンジセセリ）

6月から中丹及び丹後地域で発生を確認し、中丹地域では平年比やや多い発生となった。7月以降は平年並の発生に推移した。

ト フタオビコヤガ（指定）

南丹及び丹後地域において6月～8月に発生を認めた。

ナ イネクロカメムシ

本田では発生を認めなかった。

ニ スクミリングガイ

山城及び南丹地域の一部で発生を認めた。井手町での発生を初めて確認した。

(2) 麦類

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病名	麦の種類	4月	5月
赤かび病	二条大麦	(-)	多
	小麦	-	並(-)
うどんこ病	二条大麦	(-)	-
	小麦	(-)	(-)

-:調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

麦の種類	調査時期 (月・半旬)	年次	赤かび病			うどんこ病		
			発病穂率 (%)	発病度	確認ほ率 (%)	発斑面積率 (%)	発病茎率 (%)	確認ほ率 (%)
二条大麦	4・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	-	-	-	-	-	-
	5・3~4	30年	0.7	0.1	16.7	-	-	-
		29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	0.0	0.0	0.0	-	-	-
小麦	4・3~4	30年	-	-	-	0.0	0.0	0.0
		29年	-	-	-	0.0	0.0	0.0
		平年	-	-	-	-	-	-
	5・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		29年	0.7	0.1	16.7	0.0	0.0	0.0
		平年	0.1	0.03	2.7	-	-	-

注)調査場所:(二条大麦)亀岡市、(小麦)綾部市、福知山市、南丹市

(3) 黒大豆

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	7月	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	並	—	—	—	並
べと病	—	並	少	—	やや少
葉焼病	多	やや少	多	—	やや多
ハダニ類	並	多	少	—	並
アブラムシ類	やや多	やや多	少	—	並
フタジビハムシ	やや多	並	並	並	やや多
サヤムシガ類	少	少	並	—	やや少
ハスモンヨトウ	並(-)	並	並	—	並
食葉性チョウ目幼虫	並(-)	並	(+)	—	並
吸蜜性カメムシ類	並(-)	並	やや少	—	並
チョウ目害虫	—	—	—	並	並

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		べと病			葉焼病		
		発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	発病度 (指数)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	発病度 (指数)	確認 ほ率 (%)
7・3～4	30年	4.1	87.5	—	—	—	5.5	1.4	25.0
	29年	5.3	62.5	—	—	—	3.5	0.9	25.0
	平年	7.3	59.2	—	—	—	0.5	0.1	5.0
8・3～4	30年	—	—	6.0	1.5	25.0	1.5	0.4	37.5
	29年	—	—	25.0	6.3	25.0	11.0	2.8	25.0
	平年	—	—	11.4	2.2	28.8	12.1	2.5	51.3
9・3～4	30年	—	—	6.5	1.6	50.0	90.5	23.3	100.0
	29年	—	—	72.5	18.3	75.0	73.5	18.6	100.0
	平年	—	—	45.5	10.7	65.0	58.4	13.7	81.3

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			フタジビハムシ		
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
7・3～4	30年	0.5	0.1	12.5	1.0	0.3	25.0	1.0	0.6	12.5
	29年	1.0	0.1	25.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	12.5
	平年	0.5	0.1	11.3	0.5	0.3	8.8	0.6	0.2	12.5
8・3～4	30年	55.5	368.1	87.5	0.5	0.1	12.5	0.5	0.3	12.5
	29年	20.5	67.0	62.5	0.0	0.0	0.0	4.5	1.1	62.5
	平年	12.6	36.0	50.0	0.3	0.9	3.8	1.6	0.5	23.8
9・3～4	30年	0.5	1.3	12.5	1.5	3.3	25.0	14.0	5.6	50.0
	29年	16.5	48.5	50.0	2.5	2.4	25.0	16.5	6.8	50.0
	平年	18.9	70.9	68.8	15.6	29.7	67.5	11.7	4.6	60.0

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類					ハスモンヨトウ				食葉性チョウ目幼虫	
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	200莢当 虫数 (頭)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	寄生株 確認ほ率 (%)	白変葉 箇所数 /10a	寄生 株率 (%)	確認 ほ率 (%)
7・3～4	30年	0.5	3.0	12.5	37.5	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	6.5	20.5	50.0	75.0	—	0.5	0.1	12.5	0.0	0.0	0.0
	平年	3.8	11.0	43.8	81.3	—	0.1	0.0	1.3	0.0	0.4	7.5
8・3～4	30年	0.0	5.5	0.0	62.5	—	0.0	0.0	0.0	3.6	3.0	62.5
	29年	2.0	19.5	25.0	62.5	—	1.0	0.3	25.0	1.4	0.0	25.0
	平年	3.0	19.2	37.5	77.5	—	1.6	1.3	30.0	0.9	3.1	39.1
9・3～4	30年	0.5	—	12.5	—	0.1	2.0	1.5	37.5	4.0	1.0	12.5
	29年	0.0	—	0.0	—	0.0	3.0	1.0	37.5	2.9	12.0	25.0
	平年	0.7	—	16.3	—	0.4	4.6	2.5	37.5	3.7	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	吸蜜性カメムシ類		
		寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
7・3～4	30年	0.0	0.00	0.0
	29年	0.0	0.00	0.0
	平年	0.1	0.01	1.3
8・3～4	30年	1.0	0.3	12.5
	29年	0.5	0.4	25.0
	平年	1.9	0.6	28.8
9・3～4	30年	1.0	0.8	12.5
	29年	2.0	0.9	37.5
	平年	2.1	0.9	31.3

調査時期 (月・半旬)	年次	フタジビハムシ		チョウ目害虫	
		食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)	食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)
10・3～4	30年	5.9	100.0	1.0	62.5
	29年	4.6	75.0	0.4	62.5
	平年	11.4	92.5	2.3	78.8

(4)小豆
病害虫の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	やや多	—	—	やや多
うどんこ病	—	やや多	—	やや多
炭そ病	多	多	—	多
さび病	並(-)	並	—	並
ハダニ類	多	少	—	並
アブラムシ類	並	少	—	やや少
ハスモンヨトウ	やや多	並	—	やや多
サヤムシガ類	並	少	—	やや少
アズキノメイガ	—	やや少	—	やや少
マメノメイガ	—	少	—	少
オオタバコガ	—	少	—	少
食葉性チョウ目幼虫	(+)	(+)	—	(+)
チョウ目害虫	—	—	少	—

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	マヅウ病		うどんこ病		炭そ病		さび病	
		発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)
8・3~4	30年	2.0	63.6	—	—	0.7	9.1	0.0	0.0
	29年	0.3	35.7	—	—	0.0	0.0	2.6	14.3
	平年	1.0	38.4	—	—	0.1	2.2	0.6	4.8
9・3~4	30年	—	—	0.4	9.1	14.5	36.4	10.2	27.3
	29年	—	—	0.0	0.0	0.7	27.3	49.8	18.2
	平年	—	—	0.1	2.0	3.5	16.6	18.5	28.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	白変葉 箇所数 /10a	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3~4	30年	2.5	3.9	45.5	0.4	0.1	9.1	0.4	0.1	7.5	9.1
	29年	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	14.2	0.6	0.1	0.9	7.1
	平年	0.2	0.1	3.1	0.9	0.4	14.2	0.3	0.1	0.2	7.5
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	1.1	9.1
	29年	3.3	0.8	81.8	1.1	0.3	18.2	2.9	0.7	0.5	72.8
	平年	5.4	10.9	40.9	0.6	0.3	14.5	4.7	1.9	1.2	51.2

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類				アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	寄生株確認 ほ率 (%)	被害株確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	被害株確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	200花・莢当 虫数 (頭)	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3~4	30年	0.0	0.4	0.0	9.1	—	—	—	—	—	—
	29年	0.0	0.9	0.0	14.3	—	—	—	—	—	—
	平年	0.5	0.7	10.0	11.0	—	—	—	—	—	—
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	9.1	0.7	0.2	9.1
	29年	0.0	4.7	9.1	36.4	1.5	1.8	54.5	2.9	0.7	81.8
	平年	0.7	2.8	16.1	31.3	2.3	3.2	40.5	9.9	4.2	55.4

調査時期 (月・半旬)	年次	オオタバコガ		食葉性チョウ目幼虫	
		寄生 株率 (%)	寄生株確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3~4	30年	—	—	1.5	36.4
	29年	—	—	3.4	50.0
	平年	—	—	—	—
9・3~4	30年	1.1	18.2	1.5	36.4
	29年	1.8	36.4	3.3	50.0
	平年	5.5	50.3	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)
10・3~4	30年	7.5	100.0
	29年	7.6	100.0
	平年	19.7	100.0

(5) ナシ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	並(-)	やや多	やや多	多	やや少	やや多	やや多
黒星病	やや多	やや多	やや多	多	やや多	多	やや多
赤星病	並(-)	やや多	並	並	やや多	並(-)	並
うどんこ病	—	並(-)	やや多	やや多	並	並	並
ハダニ類	並(-)	少(-)	並	やや多	少(-)	少	やや少
アブラムシ類	(+)	(+)	(-)	(-)	—	—	—
ハマキムシ類	(-)	(-)	(-)	(-)	—	—	—
カメムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	—	—	—	並
シンクイムシ類	—	並(-)	並(-)	並(-)	—	—	並

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果(ナシ、5～10月) (%)

調査時期 (月・半月)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病		うどんこ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	30年	0.0	0.0	1.2	20.0	0.0	0.0	—	—
	29年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.2	18.2	—	—
	平年	1.1	33.6	0.5	7.8	0.3	9.2	—	—
6・3～4	30年	4.6	80.0	4.0	40.0	1.7	63.6	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.7	52.3	1.8	24.3	0.6	25.1	0.0	3.4
7・3～4	30年	5.0	60.0	4.8	80.0	0.5	18.2	5.2	9.1
	29年	3.0	60.0	3.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.6	56.4	1.9	22.5	0.5	16.6	0.7	8.8
8・3～4	30年	10.8	100.0	4.4	60.0	0.3	27.3	5.7	27.3
	29年	5.6	100.0	3.0	20.0	0.0	0.0	1.9	27.3
	平年	5.4	80.3	0.6	13.0	0.2	14.7	2.6	21.5
9・3～4	30年	7.8	60.0	1.8	60.0	0.4	27.3	9.5	45.5
	29年	13.2	100.0	7.4	40.0	0.0	0.0	11.3	54.5
	平年	10.5	89.5	1.6	27.7	0.2	10.5	7.6	38.2
10・3～4	30年	27.6	100.0	5.2	60.0	0.0	0.0	29.7	90.9
	29年	24.6	80.0	1.4	20.0	0.0	0.0	33.9	81.8
	平年	11.3	80.8	0.7	18.2	0.1	7.5	27.9	80.6

調査時期 (月・半月)	年次	ハダニ類		アブラムシ類		ハマキムシ類		カメムシ類		シンクイムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	30年	0.0	0.0	1.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	29年	0.0	0.0	5.3	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.8	16.7	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—
6・3～4	30年	0.0	0.0	18.2	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	1.8	63.6	13.5	72.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.7	45.7	—	—	—	—	0.2	4.0	0.0	0.0
7・3～4	30年	2.5	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	1.5	27.3	0.0	0.0	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	19.5	57.3	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	30年	15.5	72.7	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	29年	13.5	54.5	0.1	9.1	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	12.7	64.9	—	—	—	—	—	—	0.1	3.6
9・3～4	30年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	29年	7.9	54.5	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	9.9	59.7	—	—	—	—	—	—	—	—
10・3～4	30年	0.4	18.2	—	—	—	—	—	—	—	—
	29年	2.9	36.4	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	6.2	48.0	—	—	—	—	—	—	—	—

(6) ブドウ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	やや多	並	並	やや多
うどんこ病	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※	やや少(-)※	並(-)※
灰色かび病	(-)	(-)	—	—	—	—
さび病	—	並(-)※	並(-)※	多※	並※	やや多※
褐斑病	—	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
チャノキイロアザミウマ	—	(-)	—	—	—	—

— : 調査せず、(+) : 発生を認めた、(-) : 発生を認めず

※印を付した箇所は例年比示す。

表2 巡回調査結果(ブドウ) (%)

調査時期 (月・半月)	年次	べと病		うどんこ病		灰色かび病		さび病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病花(果)総率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	29年	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
6・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.9	22.3	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	30年	15.8	100.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	29年	1.0	33.3	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	5.8	44.3	0.0	2.2	—	—	0.0	0.0
8・3～4	30年	4.0	83.3	0.0	0.0	—	—	5.8	50.0
	29年	4.0	66.7	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	12.9	64.7	0.2	5.6	—	—	0.8	9.3
9・3～4	30年	7.8	100.0	0.0	0.0	—	—	4.3	33.3
	29年	12.3	100.0	0.0	0.0	—	—	1.7	33.3
	平年	20.6	74.3	0.7	14.4	—	—	6.5	42.2

調査時期 (月・半月)	年次	褐斑病		ハダニ類		チャノキイロアザミウマ	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	30年	—	—	0.0	0.0	—	—
	29年	—	—	0.2	16.7	—	—
	平年	—	—	0.02	1.7	—	—
6・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.8	33.3	0.7	16.7
	平年	0.0	0.0	0.2	9.3	—	—
7・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	29年	0.0	0.0	1.2	33.3	—	—
	平年	0.0	0.0	0.2	5.3	—	—
8・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.2	2.2	0.1	4.0	—	—
9・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.2	5.6	0.2	6.0	—	—

(7)カキ

病虫害発生状況

表1 発生量の平年比較

病虫害名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	やや多	やや少	並	やや少	やや少	並	並
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)
炭疽病	(-)	(-)	並(-)	並(-)	やや多	並	やや多
カキダアザミウマ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
チャノイロアザミウマ	—	—	多	並(-)	やや少	少(-)	並
カイガラムシ類	並(-)	並(-)	やや多	多	並	並	やや多
ハダニ類	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	—
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カメムシ類	—	並(-)	多	並(-)	並(-)	多	やや多
ハマキムシ類	—	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	—

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(カキ、5～10月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭そ病		
		発病率	ほ場率	発病率	ほ場率	発病新梢率	被害率	ほ場率
5・3～4	30年	1.0	66.7	—	—	0.0	—	0.0
	29年	1.3	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	0.6	30.7	—	—	—	—	—
6・3～4	30年	4.0	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	29年	7.3	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	14.3	100.0	—	—	—	—	—
7・3～4	30年	29.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	27.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	24.8	100.0	0.1	4.0	—	0.0	0.0
8・3～4	30年	12.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	33.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	25.9	100.0	0.3	16.7	—	0.1	6.7
9・3～4	30年	15.3	100.0	0.0	0.0	—	0.3	33.3
	29年	28.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	28.5	100.0	1.1	10.7	—	0.2	13.3
10・3～4	30年	39.7	100.0	0.0	0.0	—	0.7	33.3
	29年	37.3	100.0	0.0	0.0	—	0.0	33.3
	平年	39.6	96.7	5.2	51.3	—	1.0	28.3

調査時期 (月・半旬)	年次	カキダアザミウマ			チャノイロアザミウマ		カイガラムシ類		
		被害率	被害果率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	30年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	29年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	0.2	—	7.3	—	—	0.03	—	3.3
6・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.1	0.0	5.3	—	—	—	0.1	3.3
7・3～4	30年	—	0.0	0.0	1.3	66.7	—	2.0	66.7
	29年	—	0.0	0.0	0.7	33.3	—	0.0	0.0
	平年	—	0.7	13.3	0.2	10.0	—	0.3	13.3
8・3～4	30年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	3.3	100.0
	29年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.1	3.3	2.8	36.7	—	0.4	12.0
9・3～4	30年	—	0.0	0.0	0.3	33.3	—	0.7	33.3
	29年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.4	16.7	5.2	60.0	—	1.3	38.7
10・3～4	30年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	2.7	66.7
	29年	—	0.0	0.0	0.7	33.3	—	0.7	33.3
	平年	—	0.1	6.7	7.3	73.3	—	2.3	41.7

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		カキノヘタムシガ		カメムシ類		ハマキムシ類	
		寄生率	ほ場率	被害率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	ほ場率
5・3～4	30年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	29年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
6・3～4	30年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—
7・3～4	30年	0.0	0.0	—	—	1.3	33.3	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—
8・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.0	0.0	0.3	6.7	—	—
9・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.1	6.7	0.4	12.0	—	—
10・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	66.7	0.0	0.0
	29年	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.0	0.0	1.0	25.0	—	—

(8)カンキツ
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
かいよう病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒点病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	並	やや少	並	多	多	少(-)	やや多
ヤノネカイガラムシ	並(-)	並(-)	並(-)	多	並	並(-)	やや多
ミカンハモグリガ	少(-)	やや少(-)	並	並	やや少(-)	やや少	やや少
アブラムシ類	—	(+)	(+)	(+)	(+)	(-)	

表2 巡回調査結果(カンキツ、4～9月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	そうか病			かいよう病			黒点病	
		発病度(葉)	発病度(果実)	ほ場率	発病度(葉)	発病度(果実)	ほ場率	発病度(果実)	ほ場率
4・3～4	30年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	29年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
5・3～4	30年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	29年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
6・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.03	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ		アブラムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率	寄生新梢率	ほ場率
4・3～4	30年	0.3	33.3	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—
	29年	0.0	0.0	1.5	—	50.0	3.5	100.0	—	—
	平年	4.5	46.7	1.6	—	38.3	1.9	56.7	—	—
5・3～4	30年	0.7	33.3	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3
	29年	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	9.9	66.7	0.6	—	23.3	2.0	40.0	—	—
6・3～4	30年	8.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3	0.7	33.3
	29年	0.7	33.3	0.3	0.0	33.3	1.0	66.7	5.3	33.3
	平年	11.7	76.7	0.2	0.0	13.3	0.8	20.0	—	—
7・3～4	30年	61.7	100.0	0.0	2.0	33.3	0.3	33.3	1.3	33.3
	29年	1.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	7.1	56.7	0.1	0.0	3.3	0.6	30.0	—	—
8・3～4	30年	65.0	100.0	0.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.7	33.3
	29年	36.3	100.0	0.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	17.2	70.0	0.3	0.0	23.3	1.6	36.7	—	—
9・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	66.7	0.0	0.0
	29年	20.7	100.0	0.0	0.0	0.0	2.0	33.3	22.0	100.0
	平年	16.8	80.0	0.5	0.1	33.3	3.1	63.3	—	—

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

(9) 茶 樹

萌芽・生育概要

2月下旬以降の平均気温が平年より高く推移したため、本年の自然仕立て園の一番茶萌芽期は、平年より2日早い4月3日となった。また、弧状仕立て園では、平年より6日早い4月3日となった。萌芽以降、平均気温が平年より高く推移したため、平年と比較して自然仕立て園で7日早く、弧状仕立て園で9日早く生育が進んだ。(宇治茶部発表の「平成30年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

一番茶摘採日

自然仕立て園、弧状仕立て園ともに萌芽期が平年より早く、4月上旬から4月下旬の平均気温が平年より高く推移したため、本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園では、前5か年平均より6日早い5月1日、弧状仕立て園では、前5か年平均より13日早い4月24日となった。(宇治茶部発表の「平成30年度一番茶実収報告」一部抜粋)

病害虫発生状況

ア 炭疽病(指定)

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	やや多	やや多	やや多	やや少	並	並
丹波	並	やや多	やや多	やや多	やや多	やや多	やや多
丹後	多	並	並	多	多	多	やや多

表2 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	10.8	63.6	1.2	33.3	37.5	100.0
	29年	20.3	81.8	0.8	16.7	2.0	100.0
	平年	3.2	34.5	5.1	33.3	2.0	62.5
5. 3 ~ 5. 4	30年	1.8	58.8	0.5	16.7	3.5	50.0
	29年	2.4	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	23.6	0.2	8.3	0.5	13.9
6. 3 ~ 6. 4	30年	8.9	72.7	11.3	66.7	0.0	0.0
	29年	4.6	78.9	17.8	83.3	0.0	0.0
	平年	3.5	42.5	4.6	64.3	1.1	30.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.6	28.6	10.2	60.0	1.7	33.3
	29年	0.1	5.3	30.2	80.0	0.3	33.3
	平年	0.7	16.7	5.7	58.3	0.6	30.8
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.0	0.0	22.0	50.0	16.8	100.0
	29年	0.1	9.1	3.8	83.3	21.3	100.0
	平年	1.1	16.2	11.1	53.0	3.2	45.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.2	13.6	5.0	100.0	4.8	75.0
	29年	0.6	18.2	7.8	33.3	0.8	75.0
	平年	2.1	23.8	4.5	46.7	0.9	17.5
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.5	22.7	3.3	50.0	9.3	75.0
	29年	0.3	22.7	7.0	66.7	14.0	100.0
	平年	2.9	25.5	1.9	38.3	11.1	37.5

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	多
丹波	並	並	多	並	やや多	並	多
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表4 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.005	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.00	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0
	29年	0.10	5.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	平年	0.03	1.6	0.0	1.7	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.10	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.04	2.5	0.2	6.7	0.1	7.5
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	29年	0.1	4.5	0.5	16.7	0.8	50.0
	平年	0.2	2.8	0.2	8.7	0.2	10.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.00	0.0	0.5	33.3	0.5	75.0
	平年	0.04	1.4	0.2	10.0	0.1	10.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.18	9.1	2.0	100.0	0.0	0.0
	29年	0.00	0.0	1.7	66.7	0.0	0.0
	平年	0.01	0.9	0.2	13.3	0.0	0.0

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	多	並	並	並	並	並
丹波	多	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	1.1	18.2	0.20	16.7	0.0	0.0
	29年	0.3	31.8	0.20	16.7	0.0	0.0
	平年	0.1	3.6	0.02	1.7	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.4	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	多
丹波	並	並	並	並	並	やや少	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表8 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.1	3.3	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.10	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.3	0.1	7.6	0.1	2.3
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.7	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.8	13.6	1.8	66.7	0.0	0.0
	平年	0.6	12.3	0.6	28.3	0.0	2.5
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.5	22.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	29年	0.5	13.6	3.7	83.3	3.8	75.0
	平年	0.2	6.3	0.5	15.0	0.9	15.0

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	0.9	0.03	1.7	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.05	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.00	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	平年	0.03	2.6	0.0	3.3	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.1	4.5	0.2	16.7	0.0	0.0
	平年	1.6	2.3	1.7	10.0	0.0	0.0

カ 網もち病

表11 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の年比較

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	少	やや少	少	やや多	並	並	やや多	少	並
丹波	並	並	並	並	多	並	やや多	やや少	並
丹後	並	並	並	並	やや多	並	やや多	並	並

表14 越冬状況 平成29年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	30年	0.05	0.0	4.5	0.5	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	29年	0.14	0.0	9.1	0.2	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.74	0.2	24.8	0.5	0.2	18.3	0.2	0.0	9.4
3.5	30年	0.90	0.1	27.3	0.3	0.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	29年	0.40	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.60	1.0	32.2	1.5	0.8	28.3	1.0	0.2	7.5

表15 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4.3 ~ 4.4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0
	平年	1.1	6.2	21.9	1.4	4.7	21.7	0.5	3.3	10.0
5.3 ~ 5.4	30年	2.0	2.8	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.7	1.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.3	4.9	24.0	0.2	0.4	5.0	0.9	4.7	19.4
6.3 ~ 6.4	30年	7.5	43.1	59.1	13.7	130.0	66.7	5.5	39.0	75.0
	29年	15.7	79.6	50.0	1.0	1.0	33.3	0.5	0.5	25.0
	平年	10.0	49.8	59.0	3.3	17.2	38.3	6.2	25.6	42.5
7.3 ~ 7.4	30年	0.7	0.8	23.8	2.0	5.2	40.0	0.7	0.7	33.3
	29年	2.5	5.7	45.0	5.3	11.0	66.7	0.5	0.5	25.0
	平年	2.3	4.5	28.4	3.9	14.9	39.7	2.9	11.2	50.8
8.3 ~ 8.4	30年	6.1	17.2	50.0	30.0	393.7	66.7	3.0	20.5	100.0
	29年	0.3	0.8	9.1	0.0	0.0	0.0	2.0	14.5	50.0
	平年	3.5	10.3	32.9	3.8	12.9	48.3	6.5	27.9	52.5
9.3 ~ 9.4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.5	25.0
	29年	0.2	0.3	9.1	0.3	0.3	16.7	0.5	0.5	25.0
	平年	3.9	14.9	32.3	1.3	4.6	25.0	7.7	72.7	37.5
10.3 ~ 10.4	30年	0.1	0.1	4.5	0.3	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	4.5	0.3	2.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	5.4	13.2	1.3	4.5	23.3	0.4	1.0	12.5

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	やや少	並
丹波	多	並	多	やや少	並	やや少	並
丹後	並	並	並	多	並	並	並

表17 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.0	0.5	13.6	0.2	0.8	50.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.1	0.2	13.6	0.0	1.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.5	9.6	0.0	0.15	6.7	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.00	0.50	5.9	0.00	0.00	16.7	0.0	0.0	0.0
	29年	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	0.01	1.7	0.02	0.02	1.7	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.0	0.0	0.0	68.3	61.7	66.7	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.3	15.8	1.0	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.6	12.0	0.6	3.6	37.0	0.1	0.6	2.5
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.0	0.1	6.3	1.2	0.6	20.0	0.7	0.0	33.3
	29年	0.1	0.1	5.3	0.2	0.2	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.4	8.3	2.1	3.9	47.0	0.3	0.7	2.5
8. 3 ~ 8.4	30年	0.0	3.0	9.1	0.2	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	0.9	10.5	0.6	1.2	16.7	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.1	55.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.1	0.7	27.3	0.2	8.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	48.0	27.0	0.1	2.6	30.0	0.0	0.1	5.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.0	0.2	9.1	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.1	4.5	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.6	14.8	0.2	1.5	26.7	0.0	0.0	0.0

ケ チャノホソガ (指定)

表18 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	少	やや少	やや少	やや少	やや少	少	少
丹波	並	並	多	並	並	並	並
丹後	並	並	やや多	並	少	並	やや多

表19 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.0	0.05	4.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	—	0.3	4.5	—	0.00	0.0	—	0.0	0.0
	平年	1.0	0.1	10.1	0.3	0.02	5.0	5.0	0.1	7.5
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.3	0.0	5.9	0.0	0.0	16.7	1.0	0.0	50.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	40.0	10.0	0.0	100.0
	平年	1.5	0.4	19.3	0.1	0.5	17.3	1.9	0.2	25.9
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.6	0.0	4.5	68.0	0.2	16.2	44.0	0.5	75.0
	29年	5.0	0.0	10.5	—	0.2	16.7	—	0.0	0.0
	平年	5.9	0.1	22.0	26.8	0.2	22.0	37.3	0.3	32.5
7. 3 ~ 7. 4	30年	3.5	0.0	31.3	0.7	0.4	66.7	2.7	9.7	66.7
	29年	0.3	0.1	10.5	0.0	0.0	0.0	18.7	0.0	66.7
	平年	8.3	1.1	45.1	2.5	0.4	32.7	20.9	5.1	57.4
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.0	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0
	平年	4.0	1.0	37.6	5.7	0.2	23.3	20.3	3.4	77.5
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	16.7	0.5	0.3	50.0
	29年	0.1	2.3	18.2	3.2	0.2	66.7	2.7	6.0	75.0
	平年	9.5	3.6	49.5	2.4	0.5	40.7	2.0	0.9	47.5
10. 3 ~ 10. 4	30年	0.6	0.1	11.1	0.0	0.8	66.7	2.0	0.0	100.0
	29年	7.0	1.6	38.9	8.0	2.7	66.7	41.0	7.0	100.0
	平年	8.1	6.3	44.0	15.0	2.4	48.3	9.5	3.9	40.0

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや少	やや少	並	並	多	並
丹波	—	並	少	並	並	やや多	やや少
丹後	—	並	並	並	並	並	並

表21 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	3.9	2.0	50.0	—	—	—	—	—	—
	29年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	7.6	1.9	47.8	2.7	0.0	25.0	14.0	0.0	50.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	1.4	0.9	57.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	50.0
	29年	0.5	0.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	4.1	5.5	45.4	1.1	0.4	24.0	1.0	0.0	28.7
6. 3 ~ 6. 4	30年	4.3	1.0	18.2	6.0	2.0	16.7	18.0	15.0	50.0
	29年	3.0	0.0	100.0	—	—	—	—	—	—
	平年	17.7	5.8	82.2	19.7	8.2	91.7	10.9	8.7	78.6
7. 3 ~ 7. 4	30年	14.6	129.9	93.8	7.3	4.0	66.7	16.0	8.7	100.0
	29年	37.7	40.4	100.0	17.0	8.0	100.0	54.7	8.0	100.0
	平年	41.6	99.9	98.2	10.0	4.2	78.2	13.4	7.3	72.2
8. 3 ~ 8. 4	30年	27.8	2.9	81.8	5.3	39.3	66.7	10.0	9.0	100.0
	29年	22.3	6.4	95.5	11.3	6.0	100.0	14.0	8.0	100.0
	平年	30.0	22.5	91.5	18.2	21.6	82.7	44.8	117.4	95.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	62.5	117.3	100.0	13.7	0.3	100.0	23.0	0.0	100.0
	29年	26.3	15.5	95.5	7.6	2.4	100.0	34.0	42.7	100.0
	平年	20.2	13.3	84.3	13.6	7.4	83.0	26.1	16.4	95.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	20.8	10.2	100.0	3.6	0.4	40.0	2.0	0.0	100.0
	29年	42.9	101.1	100.0	16.0	27.0	100.0	15.0	1.0	100.0
	平年	26.7	61.8	87.9	14.5	7.5	75.8	23.1	5.3	91.7

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	やや少	多	やや少	やや少	並	多
丹波	—	並	少	少	やや少	やや多	並
丹後	—	並	やや多	やや多	やや多	やや多	やや多

表23 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.1	0.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	0.5	0.0	7.3	0.2	0.0	8.4	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.3	0.3	12.5	0.4	0.4	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.2	9.7	0.3	0.2	10.3	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	8.0	14.3	13.6	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	25.0
	29年	5.0	5.0	50.0	—	—	—	—	—	—
	平年	1.3	1.3	19.2	3.3	11.2	77.1	0.6	0.3	14.3
7. 3 ~ 7. 4	30年	4.2	1.3	18.8	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	33.3
	29年	4.4	1.0	57.1	5.0	3.0	100.0	20.0	26.7	100.0
	平年	5.4	5.4	46.6	7.4	13.4	51.7	2.2	3.0	11.1
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.7	2.0	18.2	0.5	0.0	25.0	7.0	1.0	100.0
	29年	7.5	3.4	50.0	6.7	7.3	66.7	2.0	2.0	100.0
	平年	5.2	3.4	37.0	7.3	10.6	52.3	1.4	1.4	35.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	7.8	8.0	27.3	28.3	67.0	83.3	27.5	79.0	66.7
	29年	4.3	2.0	54.5	4.8	2.8	100.0	6.0	10.7	66.7
	平年	4.6	5.8	52.0	11.1	14.4	71.0	10.7	10.4	46.7
10. 3 ~ 10. 4	30年	12.0	12.1	66.7	10.8	22.0	60.0	10.0	12.0	100.0
	29年	6.9	7.7	38.9	16.0	33.0	50.0	13.0	6.0	100.0
	平年	6.0	9.1	39.4	11.6	13.4	60.0	7.1	6.9	57.4

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	少	並	やや少	やや多	少	多
丹波	—	並	並	やや多	並	並	やや多
丹後	—	並	並	やや少	並	やや少	多

表25 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	0.4	6.8	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	0.7	7.7	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	50.0
	29年	1.5	10.8	37.5	0.4	4.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	7.2	19.1	0.2	1.0	5.3	0.2	0.1	7.4
6. 3 ~ 6. 4	30年	2.3	8.0	9.1	0.0	0.0	0.0	3.0	105.0	25.0
	29年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.7	5.0	13.5	0.5	2.7	17.1	1.7	6.7	50.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.0	0.0	0.0	1.3	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.7	6.6	0.6	3.6	15.7	1.4	14.6	41.7
8. 3 ~ 8. 4	30年	0.5	4.5	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.5	4.2	22.7	0.7	1.3	33.3	2.0	40.0	100.0
	平年	0.6	4.1	14.7	0.6	3.4	13.3	1.8	16.3	35.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.0	0.0	0.0	2.0	44.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	29年	1.8	19.5	31.8	1.2	20.8	66.7	2.7	8.0	100.0
	平年	1.4	12.7	27.4	2.9	121.6	50.7	1.6	9.2	47.5
10. 3 ~ 10. 4	30年	4.1	49.6	83.3	6.0	38.4	60.0	14.0	50.0	100.0
	29年	1.0	4.3	22.2	3.0	13.0	100.0	3.0	14.0	50.0
	平年	0.6	3.5	20.8	3.3	18.0	55.0	3.1	45.5	34.3

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	やや多	やや多	少	並	少	やや多
丹波	やや多	並	多	並	並	やや多	やや多
丹後	並	少	やや少	少	少	並	やや少

表27 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	3.3	0.70	22.7	2.4	5.6	100.0	0.0	0.0	0.0
	29年	—	0.04	4.5	—	0.2	16.7	—	0.0	0.0
	平年	0.7	0.30	7.5	3.8	1.2	30.0	1.0	0.7	20.0
5. 3 ~ 5. 4	30年	0.6	1.4	17.6	4.5	6.0	66.7	4.0	0.5	50.0
	29年	0.3	0.0	5.6	2.0	0.6	60.0	2.0	23.5	100.0
	平年	0.8	1.0	18.8	2.5	6.9	57.3	15.4	16.1	91.7
6. 3 ~ 6. 4	30年	0.9	0.9	16.7	4.0	0.0	16.7	9.0	1.8	50.0
	29年	0.0	0.0	0.0	—	0.2	16.7	—	17.8	50.0
	平年	0.9	0.8	17.1	1.6	1.9	39.0	19.7	62.2	90.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	0.0	0.0	0.0	10.0	5.3	75.0	2.7	7.0	33.3
	29年	0.3	2.6	26.3	8.0	2.0	50.0	10.7	11.0	66.7
	平年	0.4	1.7	27.1	7.5	8.8	58.7	22.0	31.9	91.7
8. 3 ~ 8. 4	30年	3.9	0.5	40.9	1.3	14.7	66.7	0.0	0.0	0.0
	29年	5.6	2.2	68.2	14.7	19.2	83.3	14.0	1.5	50.0
	平年	2.9	1.5	55.0	15.5	15.5	86.7	23.6	25.7	87.5
9. 3 ~ 9. 4	30年	0.0	0.0	0.0	5.3	4.3	66.7	3.0	5.0	75.0
	29年	0.4	2.5	50.0	2.8	12.0	83.3	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	1.4	32.2	1.6	4.2	51.7	7.0	18.2	80.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	1.4	0.3	45.5	9.2	4.5	83.3	0.0	0.5	50.0
	29年	1.7	0.5	36.4	4.0	14.0	66.7	0.0	12.5	25.0
	平年	1.5	0.7	27.6	3.6	6.0	61.7	8.7	10.4	67.5

セ クワシロカイガラムシ

表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや少	少	少	少	やや少	少
丹波	やや少	やや少	やや少	少	少	並	少
丹後	やや少	並	並	やや多	やや多	多	並

表29 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	18.0	63.6	0.8	16.7	0.0	0.0
	29年	24.1	72.7	10.8	83.3	32.5	100.0
	平年	18.3	53.8	8.1	56.7	21.3	57.5
5. 3 ~ 5. 4	30年	8.8	41.2	1.7	33.3	10.0	100.0
	29年	26.7	55.6	0.0	0.0	7.5	100.0
	平年	15.1	56.7	10.5	43.3	14.5	41.7
6. 3 ~ 6. 4	30年	13.0	59.0	5.8	50.0	8.8	75.0
	29年	20.9	63.6	2.3	33.3	18.8	75.0
	平年	21.7	68.8	25.9	66.7	25.3	42.5
7. 3 ~ 7. 4	30年	3.3	33.3	0.0	0.0	21.7	100.0
	29年	16.3	42.1	10.8	50.0	48.3	100.0
	平年	15.3	57.3	19.6	61.7	15.9	32.5
8. 3 ~ 8. 4	30年	2.0	27.3	1.7	33.3	56.3	100.0
	29年	12.5	50.0	4.2	50.0	76.3	100.0
	平年	18.2	58.6	21.9	68.0	27.3	57.5
9. 3 ~ 9. 4	30年	6.1	31.8	8.3	50.0	58.5	100.0
	29年	22.5	72.7	10.0	50.0	42.5	75.0
	平年	20.4	66.2	7.7	56.7	13.0	50.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	7.5	31.8	4.2	33.3	20.0	100.0
	29年	13.0	63.6	11.7	66.7	21.3	100.0
	平年	22.2	67.6	25.7	73.3	19.0	65.0

ソ チャトゲコナジラミ

表30 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	30年	10.8	5.9	63.6	3.7	1.8	50.0	23.5	17.3	100.0
	29年	13.3	7.0	63.6	3.0	1.5	33.3	3.5	2.0	75.0
	平年	16.6	8.9	81.7	13.8	7.8	43.3	36.7	19.4	87.5
5. 3 ~ 5. 4	30年	9.8	5.9	58.9	0.3	0.2	16.7	38.0	23.0	100.0
	29年	19.0	11.5	55.6	3.6	1.8	80.0	24.0	13.8	100.0
	平年	—	—	74.3	—	—	51.3	—	—	100.0
6. 3 ~ 6. 4	30年	10.6	5.6	72.7	5.0	1.8	66.7	2.0	0.3	50.0
	29年	17.2	9.7	72.7	2.7	1.3	66.7	1.0	0.8	25.0
	平年	—	—	78.7	—	—	48.3	—	—	90.0
7. 3 ~ 7. 4	30年	38.1	23.7	85.7	32.0	24.3	66.7	58.0	38.8	100.0
	29年	36.3	24.7	100.0	30.3	15.8	66.7	16.5	8.3	75.0
	平年	—	—	84.8	—	—	58.3	—	—	—
8. 3 ~ 8. 4	30年	11.2	6.8	59.1	12.7	6.0	66.7	67.0	45.8	100.0
	29年	6.1	3.6	50.0	8.0	4.0	50.0	7.5	4.5	100.0
	平年	38.7	17.8	80.9	12.3	7.9	44.7	66.7	46.5	100.0
9. 3 ~ 9. 4	30年	19.4	11.9	54.5	5.3	2.7	100.0	83.5	67.5	100.0
	29年	18.8	11.1	72.7	2.3	1.2	50.0	26.5	14.3	75.0
	平年	—	—	81.2	—	—	43.3	—	—	95.0
10. 3 ~ 10. 4	30年	14.1	7.6	13.6	12.0	6.0	66.7	68.5	50.5	100.0
	29年	11.9	6.9	68.2	3.3	1.7	33.3	14.5	8.0	100.0
	平年	—	—	74.0	—	—	44.2	—	—	97.5

(10) キュウリ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	露地栽培					施設栽培				
	5月	6月	7月	8月	全期間	9月	10月	11月	全期間	
べと病	並(-)	並	少	少(-)	やや少	やや多	並(-)	並	やや多	
炭疽病	—	—	やや多	並(-)	やや多	多	やや多	並(-)	多	
うどんこ病	並(-)	並(-)	少	並(-)	並	やや多	並	少	並	
斑点細菌病	多	多	多	並(-)	多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
褐斑病	(+)	(+)	並(-)	少(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並	
モザイク病	並(-)	並(-)	少(-)	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
灰色かび病	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
アブラムシ類	並	やや多	やや多	並(-)	やや多	やや多	多	やや多	多	
ハダニ類	並	並	やや多	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	多	やや多	
ハモグリバエ類	並(-)	並	やや多	少(-)	やや多	並	少	やや少	やや少	
アザミウマ類	多	並	やや多	並(-)	やや多	少	並(-)	並	並	
コナジラミ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや少	やや多	やや多	やや多	
ハスモンヨトウ	(-)	—	—	—	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
ウリノメイガ	(-)	(-)	(+)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

— : 調査せず、(+) : 発生を認めた、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病			炭そ病			うどんこ病			斑点細菌病			褐斑病			モザイク病		灰色かび病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	
5・3~4 (露地栽培)	30年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	5.0	9.0	75.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	1.2	10.8	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6・3~4 (露地栽培)	30年	3.0	19.0	25.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	24.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	1.0	8.0	50.0	0.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0
	平年	3.4	11.2	40.0	—	—	—	0.8	3.5	22.5	0.0	1.4	0.0	0.0	6.3	0.0	1.3	16.0	—	0.0
7・3~4 (露地栽培)	30年	3.2	7.2	40.0	13.2	16.8	60.0	0.0	0.0	0.0	26.0	36.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	32.7	44.7	50.0	11.3	22.7	50.0	0.3	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	66.7	—	—
	平年	23.7	36.3	70.3	1.4	4.7	20.0	8.9	15.9	35.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.4	8.5	37.4	—	—
8・3~4 (露地栽培)	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	7.7	23.2	61.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	20.5	48.3	0.5	8.3	—	—	0.0
9・3~4 (施設栽培)	30年	1.0	10.0	50.0	0.0	12.0	100.0	10.0	80.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	12.7	21.3	33.3	0.0	0.0	0.0	30.7	61.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.3	6.3	0.0	0.0	0.0	2.5	34.6	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
10・3~4 (施設栽培)	30年	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	50.0	22.0	82.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	1.3	2.7	33.3	0.7	1.3	33.3	15.3	61.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.4	5.5	25.9	0.2	0.4	11.1	27.5	62.7	92.6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	7.4	0.0	0.0	—	0.0
11・3~4 (施設栽培)	30年	18.0	22.7	33.3	0.0	0.0	0.0	34.0	60.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	3.3	34.7	66.7	0.0	0.0	0.0	37.3	73.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	13.2	22.8	75.0	0.0	0.0	0.0	52.5	83.8	100.0	0.2	0.3	8.3	4.1	5.7	16.7	0.3	4.2	—	—
調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハスモンヨトウ		ウリノメイガ	
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)
5・3~4 (露地栽培)	30年	0.03	3.5	75.0	0.03	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.76	32.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.04	2.0	33.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.19	14.0	100.0	0.01	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.10	8.1	60.8	0.00	0.5	10.8	0.0	0.1	2.5	0.25	18.8	90.0	0.00	0.3	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6・3~4 (露地栽培)	30年	0.04	2.0	50.0	0.01	1.0	25.0	1.5	6.0	50.0	8.03	52.0	100.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0
	29年	0.02	1.5	25.0	0.47	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2.18	60.5	100.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	—
	平年	0.02	1.4	32.5	0.06	1.3	22.8	2.7	12.5	56.7	1.78	43.3	86.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	—
7・3~4 (露地栽培)	30年	0.98	8.0	40.0	0.90	16.4	60.0	22.4	33.6	60.0	2.09	27.2	60.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0
	29年	0.00	0.0	0.0	0.47	6.7	66.7	0.3	1.3	33.3	0.40	16.3	100.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	—
	平年	0.63	1.3	18.2	0.21	4.8	35.1	5.2	17.2	77.1	0.94	21.5	70.9	0.01	0.3	8.1	—	—	—	—
8・3~4 (露地栽培)	30年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0
	29年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.01	1.0	50.0	—	—	—	0.0
	平年	4.10	3.6	11.7	0.00	0.0	0.0	7.4	24.8	70.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.5	15.0	—	—	—	—
9・3~4 (施設栽培)	30年	1.00	1.0	50.0	0.00	0.0	0.0	2.0	8.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.10	14.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.13	0.7	33.3	0.00	0.0	0.0	2.0	45.3	100.0	0.03	2.7	66.7	0.03	3.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	0.9	6.3	0.00	0.5	22.9	4.3	53.4	95.8	0.01	1.1	29.2	0.15	10.8	62.5	0.0	0.0	0.0	—
10・3~4 (施設栽培)	30年	0.75	12.0	50.0	0.00	0.0	0.0	2.0	8.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.29	28.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.7	16.0	33.3	0.00	0.0	0.0	0.17	14.7	100.0	0.0	0.0	0.0	—
	平年	0.07	0.2	7.4	0.01	0.2	0.0	11.2	43.6	74.1	0.01	0.7	7.4	0.13	9.6	63.0	0.0	0.1	3.7	—
11・3~4 (施設栽培)	30年	0.49	3.3	33.3	0.00	0.0	0.0	1.3	9.3	66.7	0.01	0.7	33.3	0.20	10.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	1.3	16.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.07	6.7	33.3	0.0	0.0	0.0	—
	平年	0.08	0.3	4.2	0.00	0.0	0.0	12.6	35.8	91.7	0.03	0.9	8.3	0.08	4.8	33.3	0.0	0.2	0.0	—

(11) トマト
病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	3月	4月	5月	6月	全期間
疫病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
葉かび病	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
アブラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
アザミウマ類	並(-)	やや多	(+)	(+)	並
コナジラミ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(+)	並(-)
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず、-：調査せず

表2 巡回調査結果

(単位：%)

調査時期 (月・半 旬)	年次	疫病		灰色かび病		モザイク病		葉かび病		うどんこ病	
		発病 程度	発 生 ほ場率	発病 果率	発 生 ほ場率	発病 株率	発 生 ほ場率	発病 程度	発 生 ほ場率	発病 株率	発 生 ほ場率
3・3～4	30年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	*例年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	5.6	0.0	0.0
5・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	20.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.6	6.7	0.0	0.0	2.2	4.4	0.02	2.2
6・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	40.0
	29年	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	10.2	40.0	10.6	40.0
	例年	0.0	0.0	2.2	13.3	0.1	4.4	8.6	26.7	4.6	24.4

調査時期 (月・半 旬)	年次	アブラムシ類		アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ		
		寄生 株率	発 生 ほ場率	寄生 花率	白ぶくれ 果率	発 生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率	寄生 葉率	寄生 株率	寄生 ほ場率	寄生 株率	被害 株率	発 生 ほ場率
3・3～4	30年	0.0	0.0	0.9	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3～4	30年	0.8	20.0	0.0	0.2	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3～4	30年	0.0	0.0	0.4	0.5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	5.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.6	13.3	1.0	1.8	15.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.4	6.7	0.0	0.0	0.0
6・3～4	30年	0.0	0.0	10.3	1.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.8	8.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	1.4	11.1	0.9	3.0	45.0	0.0	0.0	2.2	3.5	12.0	26.7	0.0	0.0	0.0

例年：21～29年の平均値

(12)ナス
病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	並(-)	並(-)	やや多	少	多	多	多
褐色円星病	並(-)	並(-)	多	並	並	並	やや多
すすかび病	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多
灰色かび病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
褐色腐敗病	-	並(-)	並(-)	並(-)	多	やや多	多
アブラムシ類	少	少	並(-)	少(-)	やや多	やや多	やや多
ハダニ類	並	並	並	多	並	少	多
ハモグリバエ類	並	並	やや少	やや少	少	少	やや少
アザミウマ類	やや少	やや少	並	多	並	やや多	やや多
コナジラミ類	(+)	(+)	並(-)	並	並	やや多	やや多

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果 (5葉、5果、3花/株、2.5株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病			褐色円星病			すすかび病			灰色かび病			褐色腐敗病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.7	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
6・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3~4	30年	0.6	7.9	28.6	2.0	17.1	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.3	0.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	3.4	15.9	0.3	2.4	18.8	0.1	1.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3~4	30年	0.4	5.0	28.6	1.3	16.4	85.7	0.0	0.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	23.0	37.9	57.1	0.4	3.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	14.3	0.0	0.0
	平年	10.6	28.3	51.4	2.3	14.0	36.6	0.2	0.9	1.3	0.0	0.2	8.9	0.0	0.0
9・3~4	30年	32.7	62.1	100.0	10.4	26.4	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	42.9
	29年	7.7	20.7	28.6	2.6	15.7	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	16.2	41.2	65.0	9.4	36.0	63.0	0.2	1.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7
10・3~4	30年	44.3	82.5	100.0	24.8	47.5	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.3	25.0
	29年	26.6	51.4	71.4	7.4	13.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0
	平年	21.2	48.7	83.7	13.6	40.5	70.4	0.2	1.1	8.0	0.0	0.0	20.0	0.1	4.3

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	30年	0.10	8.8	100.0	0.00	0.0	0.0	1.2	6.0	40.0	0.08	4.6	60.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.96	30.8	83.3	0.13	0.7	16.7	0.2	1.5	66.7	0.06	5.0	100.0	0.0	-	0.0
	平年	0.39	18.4	91.7	0.04	1.0	18.4	2.7	8.9	41.1	0.11	3.9	47.3	0.003	0.0	0.0
6・3~4	30年	0.01	1.1	57.1	0.04	1.6	28.6	0.6	4.3	57.1	0.06	3.9	100.0	0.0	0.1	14.3
	29年	0.08	5.1	42.9	0.83	6.4	42.9	0.1	0.7	14.3	0.23	11.9	100.0	0.0	6.4	0.0
	平年	0.11	4.6	68.0	0.15	1.8	28.0	2.0	14.7	53.9	0.25	12.1	81.3	0.0	1.6	0.0
7・3~4	30年	0.00	0.0	0.0	0.16	1.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.01	0.6	42.9	0.000	0.0	0.0
	29年	0.00	0.0	0.0	4.19	14.0	28.6	0.1	2.1	42.9	0.02	1.7	57.1	0.00	0.1	14.3
	平年	0.04	0.7	11.3	0.59	3.4	25.4	3.0	12.5	44.7	0.05	3.1	44.5	0.04	1.1	14.3
8・3~4	30年	0.00	0.0	0.0	4.93	11.1	28.6	1.4	8.6	28.6	0.19	6.9	85.7	0.02	1.4	14.3
	29年	0.02	0.7	28.6	0.06	0.9	14.3	0.1	0.7	14.3	0.02	1.1	71.4	0.03	1.4	28.6
	平年	0.03	0.8	15.5	0.17	2.2	62.0	5.3	27.8	62.0	0.02	1.2	37.9	0.05	2.2	26.8
9・3~4	30年	0.01	0.4	28.6	0.00	0.0	0.0	0.9	5.1	42.9	0.01	0.7	42.9	0.05	3.3	100.0
	29年	0.19	6.1	28.6	0.39	2.4	14.3	2.9	10.7	28.6	0.07	0.6	28.6	0.25	0.0	0.0
	平年	0.04	1.3	25.5	0.33	3.7	28.0	19.0	46.7	71.8	0.05	2.0	24.3	0.09	0.0	0.0
10・3~4	30年	0.08	2.3	50.0	0.00	0.0	0.0	2.0	13.8	50.0	0.02	2.0	75.0	0.16	8.3	75.0
	29年	0.06	1.9	42.9	0.01	0.3	28.6	6.1	20.0	71.4	0.02	1.0	28.6	0.04	3.0	28.6
	平年	0.11	2.3	20.0	2.23	4.7	25.4	23.1	49.2	78.2	0.01	0.6	22.2	0.07	4.2	52.5

(13)キャベツ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	春キャベツ				秋冬キャベツ			
	3月	4月	5月	全期間	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	多	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒腐病	並(-)	並(-)	やや多	やや多	並(-)	多	やや多	多
菌核病	並(-)	並(-)	多	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	並	やや多	やや少	やや多	やや多	多	やや多	多
モンシロチョウ	並(-)	並(-)	並	並(-)	多	並	やや少	並
コナガ	並(-)	多	やや多	多	やや多	多	並	多
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	(-)	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ヨトウガ	(-)	(-)	並	並	多	並(-)	並(-)	並(-)
ウワバ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並	やや少(-)	並
アザミウマ類	やや少(-)	やや少	並	並	(+)	(+)	(+)	(+)

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類			モンシロチョウ			コナガ		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	1.7	0.0	0.0	0.9	5.0	0.5	2.5	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	3.3
4・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.2	20.0	84.2	0.0	0.0	0.0	4.4	34.7	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	5.0	0.0	0.0	0.3	0.3	1.3	16.8	84.2	0.0	0.3	6.7	0.2	1.4	21.7
5・3~4	30年	1.6	20.0	0.0	20.0	2.4	20.0	0.6	4.8	60.0	0.2	0.8	20.0	2.6	16.0	100.0
	29年	0.0	0.0	1.3	33.3	7.3	33.3	1.3	12.0	83.3	0.5	4.7	33.3	4.1	30.0	83.3
	平年	0.0	0.0	1.3	13.5	0.7	3.3	1.3	28.3	80.8	0.5	4.0	22.5	1.4	10.2	63.5
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	13.0	100.0	0.6	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.8	4.6	0.0	0.0	3.3	6.3	57.1	0.2	1.6	21.3	2.0	2.4	0.0
10・3~4	30年	0.0	0.0	27.0	75.0	0.0	0.0	11.9	12.0	50.0	0.4	3.0	50.0	0.4	4.0	25.0
	29年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	3.1	3.2	40.0	0.2	1.6	40.0	0.2	2.4	20.0
	平年	0.0	0.0	0.2	5.3	0.0	0.0	3.2	4.9	48.8	0.5	3.5	28.5	0.1	1.0	14.0
11・3~4	30年	0.0	0.0	19.0	75.0	0.0	0.0	16.5	8.0	75.0	0.1	1.0	25.0	0.2	2.0	25.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	0.7	4.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.1	5.6	6.6	20.4	0.4	5.6	9.5	5.3	41.7	1.0	7.3	36.1	0.4	2.4	18.5

調査時期 (月・半旬)	年次	ハスモンヨトウ			ヨトウガ			ウワバ類			アザミウマ類		
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3~4	30年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	2.0	8.7	16.7
4・3~4	30年	0.0	-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	13.3	20.0	85.0
	29年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1	3.3	72.7	92.0	100.0
5・3~4	30年	0.0	-	0.0	0.3	2.4	20.0	0.0	0.0	3.3	8.0	20.8	96.7
	29年	0.0	-	0.0	3.3	1.3	33.3	0.2	2.0	0.0	8.0	20.8	83.3
	平年	-	-	-	0.6	1.5	16.2	0.2	1.4	16.7	63.4	-	96.7
9・3~4	30年	0.0	-	0.0	0.1	1.0	25.0	0.4	4.0	75.0	53.0	52.0	100.0
	29年	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	25.0
	平年	2.4	-	19.8	0.0	0.2	4.8	0.7	5.4	21.2	46.2	-	79.4
10・3~4	30年	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.0	25.0	10.0	10.0	75.0
	29年	0.8	-	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	9.6	40.0
	平年	2.2	-	16.2	0.3	0.7	13.7	0.4	2.8	26.2	30.8	24.3	68.0
11・3~4	30年	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	50.0
	29年	1.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	-	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	2.1	21.3	-	39.3	50.0

(14)ダイコン 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
黒斑細菌病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
白さび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
モザイク病	-	並(-)	-	並(-)
アブラムシ類	やや少	多	やや多	やや多
コナガ	並(-)	やや多	並	やや多
ハスモンヨトウ	並(-)	並	並(-)	並(-)
ハイマダラノメイガ	並(-)	並	並	並

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	4.0	5.6	60.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.8	4.1	45.7
10・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9	10.9	71.4
	29年	20.8	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.4	20.0
	平年	2.1	4.0	0.2	2.0	0.0	0.0	1.1	1.6	20.0
11・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	15.0	11.2	60.0
	29年	0.0	0.0	20.0	33.3	-	-	6.9	28.0	60.0
	平年	3.5	17.3	9.8	36.7	-	-	9.5	12.3	65.3

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ			ハイマダラノメイガ		
		幼虫・ 蛹数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫 数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫 数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	0.3	7.4	0.03	0.3	8.7	0.2	1.7	25.9
10・3~4	30年	0.1	0.6	14.3	0.1	1.1	14.3	0.3	2.9	28.6
	29年	0.0	0.0	0.0	0.2	2.4	40.0	0.1	0.8	20.0
	平年	0.1	0.5	5.3	0.2	2.4	37.3	1.0	6.7	32.0
11・3~4	30年	0.2	1.6	40.0	0.0	0.0	0.0	0.6	6.4	60.0
	29年	0.2	1.6	40.0	0.6	1.6	40.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.9	6.6	48.7	0.1	1.0	14.0	0.4	4.1	28.7

(15)カブ
病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並	多	多
軟腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
白斑病	並(-)	多	やや多	多
白さび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	並	並	並	並
コナガ	並(-)	やや多	やや少	並
ハモグリバエ類	多	やや多	やや少	やや多

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	4.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	6.3	0.0	0.0
10・3～4	30年	38.4	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.4	60.0	0.0	0.0
	29年	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	35.9	44.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	5.0	0.1	3.7
11・3～4	30年	64.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	34.7	66.7	0.0	0.0
	29年	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	50.0	0.0	0.0
	平年	33.8	54.4	0.1	3.1	0.4	8.8	9.0	22.5	0.4	2.5

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	30年	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	2.9	35.4	0.0	0.0	0.0	0.8	14.6
10・3～4	30年	0.6	4.8	20.0	0.1	0.8	20.0	4.8	40.0
	29年	2.0	8.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	3.3	34.5	0.0	0.1	6.5	2.9	21.0
11・3～4	30年	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	4.0	66.7
	29年	0.2	1.0	25.0	2.5	17.0	75.0	13.0	75.0
	平年	2.9	4.8	36.3	0.5	3.2	15.0	15.3	60.0

(16)ホウレンソウ

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	春どり			秋どり		
	4月	5月	全期間	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	やや多	少	やや少	多	並(-)	やや多
ヨトウガ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
シロオビノメイガ	-	-	-	(+)	並(-)	(+)

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

〈25株調査(%)〉

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		ハダニ類		シロオビノメイガ	
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	30年	0.0	0.0	8.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	29年	0.0	0.0	8.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.0	0.0	6.0	47.5	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
5・3~4	30年	0.0	0.0	6.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	29年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.0	0.0	34.5	89.6	0.0	0.0	3.3	25.0	-	-
10・3~4	30年	0.0	0.0	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	29年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	-	-	8.0	50.0
	平年	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	-	-	1.4	12.5
11・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	3.2	50.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.8	30.6	0.0	0.0	-	-	0.3	8.3

(17)ネギ(小株…葉長が概ね40cm未満の株)

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
えそ条斑病	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)
アブラムシ類	やや少(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	多	並(-)	並(-)	並
シロイチモジヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	多	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多
ネギハモグリバエ	少(-)	やや少	やや少	少	少(-)	少	少	やや少	少
ネギアザミウマ	並	やや多	やや多	やや多	多	やや多	多	少	やや多

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査(%))

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		えそ条斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0	1.0	25.0	0.0	0.0	6.0	25.0	79.0	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	75.0
	平年	1.0	5.8	0.0	0.0	0.8	10.0	2.1	28.5	0.0	0.0	5.1	39.0	25.4	67.5
5・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	66.7	62.7	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	40.0	1.6	40.0	0.0	0.0	31.2	80.0	98.4	100.0
	平年	2.3	13.8	0.0	0.0	12.5	46.7	4.0	29.0	0.0	0.0	47.0	58.0	72.6	70.0
6・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	25.6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	29年	1.6	20.0	0.0	0.0	6.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.4	80.0	98.4	100.0
	平年	4.6	16.5	0.1	1.3	37.2	60.0	0.7	13.9	0.0	0.0	45.9	88.3	87.7	100.0
7・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.0	75.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	50.0	0.0	0.0	3.0	25.0	2.0	50.0	89.0	100.0
	平年	0.1	2.2	3.6	8.8	15.3	62.5	0.0	0.0	0.4	5.0	54.6	87.5	59.3	90.4
8・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	50.0	4.0	50.0	47.0	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.4	5.1	56.7	0.0	0.0	0.6	2.5	50.5	84.0	26.4	66.5
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	16.7	0.7	16.7	4.0	33.3	22.0	50.0	32.7	66.7
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	25.0	1.0	25.0	31.0	75.0	17.0	75.0
	平年	0.0	0.0	0.2	2.5	-	-	0.5	5.4	0.8	13.9	70.3	97.5	17.1	46.1
10・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	40.0	0.0	0.0	49.6	100.0	33.6	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.2	80.0	70.4	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.1	1.3	1.3	5.3	62.0	96.0	25.1	64.0
11・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	66.7	82.7	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	50.0	5.0	50.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.1	2.9	0.1	1.3	22.9	71.7	38.2	77.0

(18)ネギ(大株…葉長が概ね40cm以上の株)

病害虫の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
さび病	(+)	(-)	(+)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
黒斑病	(-)	(-)	(-)	(+)	(-)	(-)	(-)	(-)
べと病	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(-)	(-)	(-)
えそ条斑病	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(-)	(-)	(-)
シロイチモジヨトウ	(-)	(-)	-	(+)	(+)	(+)	(+)	(-)
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
ネギハモグリバエ	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
ネギアザミウマ	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		べと病		えそ条斑病	
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	30年	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	40.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均	5.2	10.0	0.3	0.0	5.4	15.0	2.4	10.0
5・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	33.3	7.1	88.9
	29年	0.7	16.7	0.0	0.0	4.7	33.3	6.0	66.7
	平均	5.0	19.9	0.0	0.0	4.4	29.8	10.2	69.1
6・3~4	30年	4.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	85.7
	29年	7.2	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.4	100.0
	平均	23.9	55.0	13.0	25.0	5.0	5.0	44.7	75.0
7・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.2	100.0
	29年	0.0	0.0	2.3	14.3	2.3	28.6	45.1	100.0
	平均	3.0	25.0	23.2	70.3	0.6	7.2	35.0	50.0
8・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	100.0
	平均	0.0	0.0	8.3	25.0	0.5	6.3	22.7	86.7
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	5.1	14.3	0.0	0.0	2.9	57.1
	平均	0.0	0.0	3.1	32.8	0.0	0.0	3.1	45.7
10・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	50.0
	平均	0.0	0.0	0.6	14.6	8.8	18.8	4.3	47.2
11・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	平均	0.0	0.0	2.8	20.8	0.0	0.0	0.0	16.7

調査時期 (月・半旬)	年次	シロイチモジヨトウ		ハスモンヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	20.0	68.8	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	0.4	10.0	78.0	100.0
5・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3	66.7	84.9	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	50.0	100.0	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	7.3	60.7	100.0	100.0
6・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	42.9	100.0	100.0
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	40.0	100.0	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	11.2	30.0	99.6	100.0
7・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	40.0	100.0	100.0
	29年	0.6	14.3	0.0	0.0	2.9	42.9	98.3	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	22.7	81.0	94.1	100.0
8・3~4	30年	5.0	25.0	0.0	0.0	5.0	50.0	93.0	100.0
	29年	3.0	50.0	0.0	0.0	33.0	75.0	89.0	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	45.6	85.0	82.9	100.0
9・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	75.0	35.0	100.0
	29年	2.9	28.6	0.0	0.0	54.9	100.0	82.3	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	46.7	100.0	64.6	100.0
10・3~4	30年	0.8	20.0	0.0	0.0	39.2	80.0	48.8	80.0
	29年	1.0	25.0	0.0	0.0	46.0	100.0	100.0	100.0
	平均	-	-	3.0	6.3	54.8	100.0	52.1	88.9
11・3~4	30年	0.0	0.0	0.0	0.0	24.7	66.7	62.7	66.7
	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	30.3	50.0	77.3	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	32.7	72.2	73.1	100.0

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年値等	H30	平年値等	H30	平年値等
ヒメビウンカ (60W)	1	1.7	1	0.8	3	10.4
セジロウンカ (60W)	13	12.4	26	16.3	174	114.0
トビイロウンカ (60W)	0	8.2	0	8.0	3	37.3
ツマグロヨコバイ (60W)	63	81.6	1	27.6	0	46.8
イネミズゾウムシ (60W)	127	66.7	293	254.6	30	127.4
アオクサカメムシ (60W)	2	1.0	4	2.5	0	0.7
チャバネアオカメムシ (60W)	115	32.0	33	8.0	15	37.4
チャバネアオカメムシ (BL)	139	156.7	184	29.4	218	199.8
クサキカメムシ (60W)	19	6.7	15	2.2	10	13.8
クサキカメムシ (BL)	8	20.5	33	8.1	88	57.2
イチモンジカメムシ (60W)	1	0.9	4	4.1	1	2.0
イネクロカメムシ (60W)	93	114.5	0	0.2	1	0.9
クモヘリカメムシ (60W)	4	0.2	2	3.0	3	3.3
シラホシカメムシ (60W)	1	0.6	0	0.6	0	0.4
アヒゲホリミドリカスミカメ (60W)	53	34.6	21	51.6	64	113.9
アカスジカスミカメ (60W)	23	7.2	112	78.6	195	170.8
ツマグロアオカスミカメ (60W)	9	30.1	6	16.6	6	21.4
フタオビコヤガ (60W)	2	26.6	9	28.2	15	132.0
ニカメイガ (60W)	7	1.4	3	0.6	0	2.9
コナガ (60W)	16	19.3	45	57.8	29	30.1
シロオビノメイガ (60W)	1	2.2	0	8.5	1	15.8
ドウガネブイブイ (BL)	309	357.6	112	97.7	220	513.3
クロコガネ (BL)	128	43.8	43	16.1	8	31.6
ヒメコガネ (BL)	1,683	3713.2	66	37.9	712	1519.9
アカビロウドコガネ(BL)	81	89.6	34	15.4	154	35.1

注：数字は調査期間内(4～10月)の総誘殺数(頭)

：平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ヒメトビウツカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.3	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	1	0.1	0	0.1	0	0.0
4	0	0.2	0	0.0	0	0.0
5	0	0.3	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2	0	0.0
9・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.3	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	2	0.0
4	0	0.0	0	0.0	1	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.1	1	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	1.7	1	0.8	3	10.4

セジロウツカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.5	0	0.3	0	0.1
6	1	0.0	0	1.1	0	0.5
7・1	0	0.0	0	0.6	1	0.8
2	0	0.2	0	0.1	1	0.9
3	0	0.5	1	0.7	0	3.2
4	0	0.1	0	0.8	0	0.8
5	0	0.5	0	2.1	0	2.2
6	0	0.6	0	0.5	0	1.6
8・1	3	1.0	0	0.2	1	5.0
2	1	0.6	0	0.7	3	2.5
3	0	0.4	0	2.7	2	15.2
4	0	0.6	0	1.7	2	6.1
5	0	2.6	0	1.3	0	11.3
6	0	2.3	0	0.4	1	15.5
9・1	1	0.4	0	0.5	0	2.5
2	0	0.2	0	0.6	16	18.6
3	0	0.3	0	0.1	10	9.7
4	1	0.3	6	0.3	94	7.4
5	4	0.6	14	0.5	33	4.6
6	1	0.1	3	0.1	3	3.6
10・1	1	0.1	2	0.2	0	0.7
2	0	0.0	0	0.1	3	0.4
3	0	0.1	0	0.0	1	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.2	0	0.1	3	0.2
計	13	12.4	26	16.3	174	114.0

トビウツカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0
5	0	0.3	0	0.4	0	0.9
6	0	0.8	0	0.3	1	0.9
9・1	0	0.1	0	0.2	1	0.8
2	0	0.6	0	0.3	0	0.6
3	0	2.0	0	1.1	0	5.9
4	0	0.2	0	0.8	1	8.3
5	0	2.0	0	0.8	0	6.0
6	0	0.1	0	0.7	0	9.1
10・1	0	0.2	0	0.2	0	3.0
2	0	0.4	0	2.6	0	0.6
3	0	0.8	0	0.4	0	0.3
4	0	0.4	0	0.0	0	0.7
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	8.2	0	8.0	3	37.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマゴロコヨコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	0	1.0	0	0.1	0	0.2
3	0	0.8	0	0.1	0	4.2
4	0	0.2	0	0.3	0	1.4
5	0	0.1	0	0.3	0	0.7
6	0	0.1	1	2.2	0	1.2
7・1	0	0.2	0	2.5	0	0.9
2	0	0.1	0	1.6	0	1.6
3	7	1.7	0	0.9	0	0.9
4	1	2.6	0	1.8	0	3.4
5	3	4.8	0	3.0	0	3.6
6	1	5.7	0	2.0	0	10.8
8・1	3	4.0	0	1.0	0	4.3
2	0	2.5	0	0.4	0	2.1
3	1	2.5	0	0.6	0	1.9
4	1	4.6	0	0.3	0	0.3
5	9	3.8	0	0.2	0	0.0
6	0	4.2	0	0.8	0	0.5
9・1	0	6.6	0	1.4	0	1.7
2	1	11.5	0	2.0	0	2.4
3	20	12.7	0	4.0	0	3.9
4	8	4.5	0	1.3	0	0.3
5	8	6.8	0	0.4	0	0.3
6	0	0.3	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	63	81.6	1	27.6	0	46.8

イネミズソウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	1	0.0
6	0	0.0	0	1.9	0	1.2
5・1	3	0.1	0	4.3	0	4.3
2	0	0.0	0	14.2	0	12.6
3	0	0.1	0	27.3	1	7.0
4	2	0.1	82	18.2	22	2.8
5	2	1.3	0	11.4	1	4.5
6	0	0.7	7	5.4	0	11.6
6・1	0	0.7	3	2.6	0	5.0
2	2	0.5	0	2.1	1	2.9
3	0	0.7	0	1.3	0	3.0
4	1	0.4	0	0.7	1	1.7
5	1	0.8	2	0.2	0	2.5
6	3	0.0	1	0.2	0	3.6
7・1	0	0.1	0	0.5	0	2.3
2	0	0.3	0	1.1	0	4.1
3	0	0.7	4	5.8	1	0.9
4	4	3.2	30	22.7	0	7.4
5	39	13.4	61	34.0	1	14.4
6	34	13.3	46	43.4	0	12.8
8・1	19	8.2	29	26.5	0	10.3
2	6	7.7	11	13.5	0	8.5
3	6	4.4	11	10.5	0	1.7
4	1	7.5	2	4.3	1	1.5
5	3	1.7	1	1.2	0	0.5
6	1	0.6	3	0.6	0	0.1
9・1	0	0.1	0	0.3	0	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	127	66.7	293	254.6	30	127.4

アオクサカラムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.0
5	1	0.0	3	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.5	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	1	0.3	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	0	0.2	0	0.1
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	1.0	4	2.5	0	0.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

チャハバネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0	1	0.1	0	0.1	0	1.9
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.1	6	1.3
3	0	0.2	2	0.3	0	0.0	0	0.1	0	0.4	0	0.9
4	3	0.2	13	0.7	5	0.0	7	0.1	6	0.3	0	12.2
5	1	0.2	0	2.5	1	0.2	1	0.1	0	0.8	2	2.2
6	1	0.3	2	3.2	0	0.0	0	0.5	0	0.2	2	1.6
6・1	0	0.0	0	1.6	0	0.0	1	0.2	0	0.2	0	1.9
2	1	0.2	0	0.8	0	0.1	0	0.0	0	0.1	1	0.5
3	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.1	0	0.6	2	2.6
4	1	0.1	1	0.3	0	0.0	4	0.2	0	0.8	2	1.6
5	1	0.6	4	2.1	0	0.0	1	0.3	0	0.9	5	1.5
6	19	1.2	28	2.4	6	0.1	3	0.5	0	1.8	1	7.1
7・1	30	1.7	37	12.6	1	0.4	3	0.4	0	1.5	12	4.9
2	11	2.1	24	16.3	7	0.2	11	0.6	0	2.0	0	12.9
3	9	2.7	19	26.6	0	0.0	1	0.4	0	5.0	6	16.5
4	7	9.8	5	30.8	0	0.6	2	1.6	0	2.3	9	11.2
5	4	1.0	0	22.9	0	0.1	8	0.6	0	1.4	2	12.4
6	3	2.2	0	14.1	0	0.1	3	1.1	0	0.7	2	9.6
8・1	11	1.7	0	3.8	4	0.2	18	1.8	0	1.1	0	10.1
2	3	2.3	1	5.1	0	0.3	37	2.2	0	0.7	0	11.5
3	6	1.3	0	3.5	5	0.9	41	1.4	0	8.2	0	15.5
4	1	2.1	1	1.5	1	1.2	14	3.0	0	2.3	2	14.4
5	2	0.1	0	0.7	1	1.0	6	1.6	0	1.8	13	8.0
6	1	0.1	0	0.9	0	0.7	18	1.2	1	1.1	14	9.8
9・1	0	0.5	0	0.2	0	0.5	1	0.8	3	0.9	49	12.1
2	0	0.9	0	1.2	1	0.1	0	1.8	1	0.3	14	4.3
3	0	0.2	1	0.9	0	0.0	1	0.6	3	0.3	5	3.8
4	0	0.2	0	0.9	0	0.0	0	0.3	0	0.6	4	2.5
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.1	7	2.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	1.4	0	0.1	25	1.4
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.4	1	0.3	26	0.4
2	0	0.0	0	0.1	0	0.3	1	2.9	0	0.3	5	0.5
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	1.8	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	115	32.0	139	156.7	33	8.0	184	29.4	15	37.4	218	199.8

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クサギカラムン(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半年)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	H30	平年	H30	例年	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
6・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.0	1	0.1
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.3	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	1	0.2	0	0.2	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	2	0.2	1	0.6	4	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.9
7・1	2	0.4	2	1.0	5	0.0	1	0.0	0	0.2	1	0.5
2	3	0.5	1	0.6	5	0.0	2	0.1	0	0.2	0	2.5
3	5	1.3	2	2.8	0	0.0	1	0.4	0	0.4	0	4.3
4	1	0.5	0	3.2	0	0.4	3	0.2	0	0.7	2	2.6
5	1	0.8	0	1.5	1	0.1	7	0.2	0	0.9	1	3.0
6	2	0.8	0	2.2	0	0.0	1	0.3	0	1.1	1	5.7
8・1	0	0.3	2	1.3	0	0.3	3	1.1	0	1.2	1	7.5
2	1	0.0	0	0.6	0	0.3	4	0.4	4	1.1	3	5.1
3	1	0.6	0	1.6	0	0.1	5	0.8	1	1.1	3	6.2
4	0	0.3	0	1.8	0	0.3	2	2.0	0	2.8	16	5.2
5	0	0.0	0	1.7	0	0.4	3	1.7	0	2.1	27	3.6
6	0	0.3	0	0.5	0	0.1	0	0.6	2	1.1	5	3.8
9・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0	1	0.0	1	0.3	7	2.3
2	0	0.1	0	0.2	0	0.0	0	0.1	0	0.0	2	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	2	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	1	0.0	2	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
計	19	6.7	8	20.5	15	2.2	33	8.1	10	13.8	88	57.3

イチモンジカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.2	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.4	1	0.1
3	0	0.0	1	0.0	0	0.2
4	0	0.1	0	0.5	0	0.2
5	0	0.1	1	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
8・1	1	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.4
3	0	0.0	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.1	1	0.1	0	0.0
6	0	0.0	1	0.5	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.2	0	0.3	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.2	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	1	0.9	4	4.1	1	2.0

イネクワカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	4	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	1.1	0	0.0	0	0.0
6	10	2.3	0	0.0	0	0.0
6・1	3	3.0	0	0.0	0	0.0
2	7	10.9	0	0.0	1	0.1
3	0	12.1	0	0.0	0	0.2
4	0	8.0	0	0.1	0	0.1
5	9	9.5	0	0.0	0	0.1
6	6	4.1	0	0.1	0	0.0
7・1	7	3.7	0	0.0	0	0.1
2	1	2.0	0	0.0	0	0.0
3	0	1.4	0	0.0	0	0.0
4	7	2.4	0	0.0	0	0.0
5	13	4.2	0	0.0	0	0.0
6	7	4.4	0	0.0	0	0.0
8・1	3	2.9	0	0.0	0	0.0
2	1	4.3	0	0.0	0	0.0
3	1	2.8	0	0.0	0	0.1
4	0	1.4	0	0.0	0	0.2
5	1	0.2	0	0.0	0	0.0
6	3	4.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	2.9	0	0.0	0	0.0
2	1	5.6	0	0.0	0	0.0
3	1	7.1	0	0.0	0	0.0
4	3	6.6	0	0.0	0	0.0
5	5	4.4	0	0.0	0	0.0
6	0	0.9	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.8	0	0.0	0	0.0
2	0	1.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	93	114.5	0	0.2	1	0.9

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	2	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.3	0	0.1
4	0	0.0	1	0.1	0	0.1
5	2	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
8・1	1	0.0	0	0.2	0	0.4
2	0	0.0	0	0.2	0	0.5
3	0	0.0	1	0.4	0	0.4
4	0	0.0	0	0.4	0	0.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	1	0.1	0	0.1	2	0.2
9・1	0	0.0	0	0.4	0	0.2
2	0	0.0	0	0.2	1	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.2	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4	0.2	2	3.0	3	3.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

シラホンカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	1	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	0.6	0	0.6	0	0.4

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

アカヒゲホソドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.6
3	0	0.2	0	0.0	0	0.1
4	0	0.1	0	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.5
6	0	0.3	0	0.1	0	0.3
6・1	2	0.3	0	0.1	2	0.5
2	2	3.1	4	1.6	8	2.3
3	0	1.9	0	4.0	2	9.6
4	1	3.1	1	6.3	5	12.5
5	0	2.7	1	7.6	1	13.7
6	8	1.2	7	5.1	3	10.7
7・1	2	2.7	3	5.6	4	10.6
2	3	4.9	0	7.4	1	8.7
3	9	5.3	0	4.5	6	7.7
4	4	2.4	1	2.8	10	8.5
5	1	1.3	0	1.9	11	6.4
6	4	1.3	0	0.2	2	4.0
8・1	8	1.0	2	0.0	0	1.3
2	1	0.5	0	0.0	1	2.9
3	1	0.2	0	0.2	0	2.3
4	1	0.2	0	0.9	1	1.9
5	1	0.1	0	0.5	1	0.4
6	3	0.3	0	0.6	1	1.6
9・1	0	0.0	0	0.3	0	1.1
2	0	0.3	0	0.4	0	1.1
3	0	0.2	0	0.2	1	0.8
4	1	0.1	0	0.0	3	1.6
5	0	0.1	1	0.3	1	0.7
6	1	0.1	0	0.0	0	0.3
10・1	0	0.3	0	0.0	0	0.2
2	0	0.1	0	0.1	0	0.5
3	0	0.2	1	0.2	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.3	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.3
計	53	34.6	21	51.6	64	113.9

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	1	0.4
4	0	0.0	7	0.5	0	0.1
5	0	0.4	0	1.2	1	0.6
6	0	0.0	4	1.3	2	2.5
6・1	1	0.0	1	0.6	2	3.2
2	0	0.0	3	1.8	12	3.3
3	0	0.2	0	2.1	0	2.8
4	0	0.3	4	3.1	4	7.0
5	1	0.4	13	2.3	1	11.0
6	5	0.2	33	5.8	25	18.4
7・1	1	0.5	12	4.9	33	18.6
2	0	0.2	9	7.5	13	20.4
3	0	0.9	4	4.2	12	9.1
4	2	0.3	5	2.4	8	6.6
5	0	0.5	5	1.3	12	8.1
6	3	1.3	0	0.9	7	8.9
8・1	2	0.8	1	2.0	1	8.5
2	3	0.1	0	1.7	1	7.6
3	4	0.2	1	3.0	4	3.4
4	0	0.1	0	4.1	3	3.6
5	0	0.0	0	2.8	3	3.1
6	1	0.0	0	2.9	4	3.5
9・1	0	0.0	0	3.4	2	2.2
2	0	0.0	1	4.3	3	1.8
3	0	0.1	0	5.6	20	3.6
4	0	0.2	1	2.5	13	3.6
5	0	0.1	2	2.4	5	2.1
6	0	0.2	0	1.2	2	2.3
10・1	0	0.0	2	1.2	0	2.3
2	0	0.1	4	1.3	0	1.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.7
4	0	0.0	0	0.1	1	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	23	7.2	112	78.6	195	170.8

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロアオカスミカメ(予察灯160W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5	0	0.4	0	0.2	0	0.4
6	0	0.1	0	0.4	2	0.6
6・1	0	0.0	1	0.3	0	0.6
2	0	0.1	0	0.2	1	1.5
3	0	0.0	0	0.6	0	0.3
4	0	0.1	0	0.0	0	0.9
5	0	0.0	0	0.1	0	1.0
6	0	0.1	1	0.4	0	1.1
7・1	1	0.0	0	0.4	0	0.4
2	0	0.5	0	0.3	0	1.3
3	0	0.2	1	0.2	1	0.9
4	0	0.1	0	0.2	0	1.7
5	0	0.2	1	0.1	0	1.4
6	0	0.2	0	0.2	0	1.6
8・1	0	0.1	0	0.0	0	0.9
2	0	0.0	0	0.1	0	0.2
3	0	0.1	0	0.0	0	0.3
4	0	0.4	0	0.5	0	0.0
5	0	1.0	0	0.0	0	0.3
6	0	1.0	0	0.3	0	0.8
9・1	1	1.9	0	0.6	0	0.6
2	2	4.9	0	0.7	0	0.1
3	2	1.2	0	1.1	1	0.3
4	1	0.5	0	0.7	0	0.5
5	1	2.3	0	1.2	1	0.9
6	0	0.6	0	1.7	0	0.4
10・1	0	2.2	0	1.1	0	0.5
2	0	1.7	0	0.7	0	0.3
3	0	2.6	0	1.2	0	0.4
4	0	2.1	0	0.6	0	0.3
5	0	3.2	0	1.4	0	0.5
6	1	2.2	1	1.0	0	0.2
計	9	30.1	6	16.6	6	21.4

フタバビコヤガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.1
3	0	0.1	0	0.3	0	0.2
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.6	0	0.0	0	0.2
4	0	0.3	0	0.1	0	0.3
5	0	0.6	0	0.2	0	0.9
6	0	0.5	0	0.0	0	0.8
7・1	0	0.1	0	0.0	0	0.2
2	0	0.4	0	0.3	0	0.1
3	0	0.2	2	0.5	1	1.7
4	0	0.7	1	2.2	2	5.6
5	0	1.1	0	2.2	0	6.0
6	0	1.2	1	1.1	0	7.1
8・1	1	1.8	2	1.4	2	2.5
2	0	2.8	1	2.3	0	6.5
3	0	2.9	1	4.4	3	17.4
4	0	2.8	1	6.4	3	25.6
5	1	5.1	0	3.2	1	21.8
6	0	3.0	0	2.2	2	23.9
9・1	0	0.8	0	0.4	0	7.8
2	0	0.2	0	0.1	0	1.6
3	0	0.4	0	0.0	0	0.9
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	1	0.2
6	0	0.2	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	26.6	9	28.2	15	132.0

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.7	0	0.1	0	0.0
4	0	0.2	0	0.1	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	2	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	3	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.4
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	1	0.0	0	0.0	0	0.0
6	1	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	2	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	7	1.4	3	0.6	0	2.9

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	1	0.4	0	0.3	0	0.1
2	0	0.2	0	0.3	0	0.0
3	0	0.4	0	0.3	0	0.3
4	3	0.1	4	0.4	0	0.4
5	1	0.0	0	0.3	2	0.5
6	1	0.4	0	0.0	1	0.4
5・1	0	0.1	7	0.6	0	0.1
2	0	0.8	1	0.5	0	0.1
3	2	1.1	4	1.4	4	1.0
4	2	1.2	6	2.3	1	0.3
5	1	0.5	1	0.7	5	0.8
6	0	2.0	0	1.2	2	1.1
6・1	1	0.8	0	0.9	0	1.5
2	0	0.9	0	1.2	2	1.2
3	0	1.7	0	1.5	1	2.2
4	2	1.2	2	4.6	2	1.4
5	0	0.7	2	5.5	2	2.6
6	1	0.9	6	7.6	0	2.4
7・1	0	0.8	3	5.5	0	2.1
2	1	0.2	2	6.8	1	1.3
3	0	0.2	3	4.5	0	0.9
4	0	0.0	2	2.7	0	0.9
5	0	0.1	1	1.7	0	0.6
6	0	0.5	0	1.0	1	0.3
8・1	0	0.1	0	1.1	0	0.3
2	0	0.8	0	0.5	1	0.2
3	0	0.3	0	0.1	1	0.5
4	0	1.4	0	0.6	0	0.1
5	0	0.8	0	0.1	0	0.0
6	0	0.2	0	0.3	0	0.2
9・1	0	0.1	0	0.1	0	0.5
2	0	0.0	0	0.4	0	0.0
3	0	0.1	0	0.3	1	0.6
4	0	0.1	1	0.3	0	0.1
5	0	0.0	0	0.2	0	1.1
6	0	0.1	0	0.3	1	1.2
10・1	0	0.0	0	0.3	0	1.7
2	0	0.0	0	0.2	1	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.4
4	0	0.0	0	0.4	0	0.3
5	0	0.0	0	0.3	0	0.3
6	0	0.1	0	0.1	0	0.1
計	16	19.3	45	57.8	29	30.1

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.1	0	0.3	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.5
3	0	0.0	0	0.4	0	0.6
4	0	0.1	0	0.2	0	0.3
5	0	0.4	0	0.6	0	0.5
6	0	0.5	0	0.5	0	0.7
9・1	0	0.2	0	0.2	1	0.2
2	1	0.1	0	0.6	0	1.0
3	0	0.1	0	0.7	0	1.0
4	0	0.1	0	1.6	0	2.2
5	0	0.1	0	0.8	0	2.3
6	0	0.2	0	0.2	0	2.0
10・1	0	0.0	0	0.7	0	1.4
2	0	0.0	0	0.6	0	1.9
3	0	0.1	0	0.0	0	0.1
4	0	0.1	0	0.6	0	0.2
5	0	0.0	0	0.6	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	1	2.2	0	8.5	1	15.8

ドウガネファイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.8	0	0.0	0	0.2
6	1	2.4	0	0.0	2	0.5
6・1	4	2.8	1	0.0	0	0.9
2	5	5.3	1	0.4	2	1.0
3	2	10.5	0	1.0	3	3.0
4	10	7.5	1	2.1	12	4.5
5	15	15.5	5	3.3	12	9.6
6	29	16.2	6	4.9	12	20.6
7・1	34	22.0	6	4.0	29	26.7
2	57	35.4	10	8.2	23	50.8
3	58	35.8	16	8.4	21	54.9
4	30	40.4	19	8.2	10	47.3
5	14	29.9	9	8.6	10	45.4
6	12	33.1	4	13.0	27	47.9
8・1	3	26.0	5	6.3	13	42.6
2	7	20.6	5	6.3	5	45.1
3	6	14.6	7	5.6	12	31.6
4	5	14.1	4	6.5	13	30.9
5	4	9.4	2	3.3	11	15.1
6	7	9.0	10	2.8	1	18.5
9・1	2	1.6	1	2.3	0	8.3
2	3	2.7	0	1.5	2	4.0
3	1	1.0	0	0.8	0	1.9
4	0	0.4	0	0.1	0	1.4
5	0	0.2	0	0.0	0	0.4
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	309	357.6	112	97.7	220	513.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クロコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	1	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	2	0.1	0	0.1	0	0.1
2	2	0.2	0	0.1	0	0.3
3	0	0.3	0	0.2	1	2.0
4	1	0.1	4	1.2	1	3.2
5	1	0.3	2	1.1	0	2.7
6	1	0.4	5	1.3	0	1.5
6・1	0	0.5	3	0.3	0	2.7
2	4	1.0	3	0.6	0	1.9
3	0	1.3	1	0.8	1	1.5
4	0	3.2	1	0.7	0	1.1
5	4	3.1	2	0.9	0	1.5
6	6	5.1	0	1.0	1	2.0
7・1	4	3.9	0	1.4	2	1.9
2	14	5.5	1	0.8	1	2.2
3	19	5.1	4	1.7	0	1.2
4	38	3.1	3	0.9	0	0.6
5	5	1.2	6	1.2	0	0.8
6	1	2.1	0	0.7	0	0.7
8・1	8	1.0	0	0.4	0	0.6
2	0	1.1	3	0.1	0	0.7
3	0	1.7	1	0.1	0	0.2
4	8	0.8	1	0.0	0	1.1
5	3	0.9	0	0.0	1	0.2
6	0	0.7	2	0.2	0	0.2
9・1	0	0.3	0	0.1	0	0.6
2	0	0.6	1	0.0	0	0.1
3	2	0.1	0	0.2	0	0.0
4	4	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	128	43.8	43	16.1	8	31.6

ヒメコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.4	0	0.0	0	0.4
2	1	2.1	0	0.1	0	1.9
3	0	4.6	0	0.0	0	0.5
4	12	10.4	1	0.2	6	1.8
5	28	25.9	2	0.9	13	6.2
6	45	31.4	2	0.7	25	19.7
7・1	40	62.7	2	1.7	44	37.2
2	89	126.2	5	2.1	53	88.5
3	162	170.6	8	4.9	47	168.9
4	226	231.5	12	4.1	118	210.7
5	60	301.7	6	3.3	81	222.9
6	178	454.4	8	7.2	179	255.1
8・1	54	477.9	6	3.7	72	185.6
2	219	413.7	4	2.7	31	136.8
3	219	382.0	3	2.5	23	87.5
4	147	322.2	1	1.5	16	51.3
5	60	262.0	3	1.0	3	24.6
6	64	204.4	2	0.3	1	15.6
9・1	23	94.7	0	0.3	0	4.2
2	5	61.1	1	0.3	0	0.3
3	19	50.7	0	0.2	0	0.2
4	15	14.0	0	0.0	0	0.0
5	12	6.1	0	0.2	0	0.0
6	0	1.6	0	0.0	0	0.0
10・1	2	0.6	0	0.0	0	0.0
2	3	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1,683	3,713	66	37.9	712	1,520

アカビロウドコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	1	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	1	0.0
3	0	0.1	1	0.5	1	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.3	0	0.2	0	0.4
6	0	0.0	0	0.3	1	0.4
6・1	1	0.1	0	0.0	1	1.1
2	1	0.9	0	0.1	2	0.5
3	0	0.5	0	0.4	5	0.1
4	1	1.7	1	0.0	5	0.8
5	1	3.3	6	0.8	13	1.9
6	15	4.0	9	1.3	34	3.5
7・1	1	6.4	2	1.8	30	2.5
2	12	12.5	3	1.6	21	5.4
3	11	12.5	4	1.7	10	5.5
4	6	9.5	1	0.8	8	3.6
5	1	8.4	1	1.6	11	2.2
6	0	7.3	1	0.7	6	3.2
8・1	0	3.3	0	0.4	3	1.0
2	3	1.7	0	0.3	0	0.4
3	0	2.1	0	0.3	0	0.2
4	1	2.1	0	0.4	0	0.7
5	2	1.4	1	0.5	0	0.3
6	2	3.5	1	0.3	1	0.5
9・1	3	1.0	1	0.4	0	0.2
2	0	1.0	0	0.3	0	0.1
3	8	1.4	1	0.2	1	0.2
4	2	1.0	0	0.0	0	0.1
5	5	2.1	1	0.2	0	0.1
6	1	0.7	0	0.2	0	0.0
10・1	2	0.2	0	0.0	0	0.0
2	1	0.2	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	81	89.6	34	15.4	154	35.1

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

(2) 誘引剤トラップの調査結果

	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
チャバネアオカメムシ	70.6	44.4	449.1	126.9	2.0	58.6
イチモンジカメムシ	—	—	30.9	—	—	—
ホソヘリカメムシ	502.6	—	186.9	—	124.4	—
コナガ	2.0	—	293.3	277.3	60.1	86.9
ハスモンヨトウ	1483.1	1389.2	2446.3	2235.2	913.9	1208.2
シロイチモジヨトウ	349.9	85.0	546.9	—	1130.0	—
カブラヤガ	—	—	245.9	—	—	—
タバコガ	11.0	34.8	34.8	78.4	4.9	21.5
オオタバコガ	147.9	35.5	599.0	361.8	49.8	11.3

* 4～10月の総誘殺数（カブラヤガは2～10月、チャバネアオカメムシは5～10月）。

* 平成22年に亀岡市のハスモンヨトウのフェロモントラップの種類及び設置場所を変更した。

	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
チャノコカクモンハマキ	4112.5	3782.9	2286.3	2882.9	4.9	—
チャノホソガ	1468.2	11363.3	7982.1	7990.1	2305.9	—

* 4月～10月の総誘殺数。

* 平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャバネアオカメシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
5・1	0.6	0.0	6.7	1.8	0.0	0.3
2	0.0	0.3	10.2	1.4	0.0	0.3
3	0.0	0.2	22.1	2.0	0.0	0.9
4	0.0	0.3	35.7	2.3	0.7	1.2
5	0.0	0.7	27.3	3.8	0.3	1.4
6	0.0	0.7	19.0	2.5	0.0	0.7
6・1	0.0	0.7	10.7	2.6	0.0	0.7
2	0.0	0.2	4.9	2.2	0.0	0.3
3	0.0	0.4	1.3	1.9	0.0	0.9
4	0.1	0.9	4.3	1.6	0.0	0.6
5	0.7	0.6	15.7	1.8	0.0	0.6
6	29.3	1.5	30.5	3.5	0.0	1.3
7・1	21.9	4.2	21.5	5.2	0.0	2.0
2	0.0	4.9	17.1	6.1	0.0	3.1
3	0.7	6.1	17.9	8.6	0.0	3.5
4	1.6	3.3	14.0	8.3	0.0	5.8
5	1.9	2.1	21.7	8.6	0.0	3.2
6	0.9	2.6	75.4	7.9	0.0	3.6
8・1	0.7	1.5	9.3	8.0	0.0	4.2
2	2.0	4.2	17.4	7.0	0.0	3.6
3	4.3	4.5	29.3	7.5	0.0	3.0
4	0.7	2.2	13.6	8.6	0.0	4.3
5	1.5	1.3	13.1	6.8	0.0	5.3
6	1.1	0.6	3.6	3.9	0.0	1.8
9・1	0.7	0.1	0.7	3.0	0.0	1.5
2	0.7	0.0	2.9	1.7	0.7	0.9
3	0.7	0.1	1.1	0.8	0.3	0.6
4	0.6	0.0	0.1	1.0	0.0	0.4
5	0.0	0.0	0.7	1.1	0.0	0.3
6	0.0	0.0	0.1	1.0	0.0	0.3
10・1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.3
2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.5
3	0.0	0.1	0.7	0.9	0.0	0.3
4	0.0	0.0	0.3	1.4	0.0	0.3
5	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.2
6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.3
5～10月計	70.6	44.4	449.1	126.9	2.0	58.6

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

コナガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年
4・1	1.9	2.3	2.1	3.2
2	3.6	3.7	2.1	4.2
3	4.3	3.2	2.1	4.3
4	3.4	3.1	1.7	3.2
5	3.1	1.5	1.4	3.8
6	4.2	2.5	1.4	3.4
5・1	0.8	1.2	5.4	2.2
2	5.3	2.9	4.1	3.9
3	2.9	4.7	0.7	5.3
4	7.9	4.8	15.0	5.8
5	7.1	10.6	6.0	7.1
6	9.0	16.7	0.0	6.0
6・1	21.4	16.5	0.0	2.8
2	38.0	13.1	0.6	3.0
3	47.9	14.3	2.5	2.1
4	40.1	25.5	2.9	3.4
5	12.1	25.3	0.0	3.0
6	12.4	22.1	2.3	3.5
7・1	16.3	23.8	2.0	2.1
2	5.7	21.1	0.7	0.8
3	1.4	14.7	0.0	0.5
4	1.2	9.0	0.0	0.2
5	1.1	3.7	0.0	0.2
6	1.3	3.6	0.0	0.1
8・1	0.7	2.0	0.0	0.1
2	1.1	1.8	0.0	0.2
3	2.1	1.9	0.0	0.2
4	2.9	0.6	0.0	0.1
5	3.1	1.0	0.0	0.5
6	2.0	0.8	0.0	0.1
9・1	0.0	0.7	0.0	0.3
2	0.0	0.5	0.0	0.2
3	0.0	0.8	0.0	0.5
4	0.0	1.2	0.1	1.0
5	0.0	1.0	0.7	0.9
6	0.0	2.1	0.7	1.0
10・1	3.6	1.3	1.0	0.7
2	6.4	0.8	1.4	1.0
3	4.3	1.5	0.7	0.8
4	4.7	1.6	0.7	1.1
5	4.9	1.3	0.7	1.7
6	5.1	1.3	0.9	2.0
4～10月計	293.3	277.3	60.1	86.9

ハスモンヨトウ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0
4	0.0	0.4	0.0	1.5	1.7	0.0
5	0.0	1.0	0.0	2.2	2.4	0.1
6	0.0	1.1	0.0	2.6	0.7	0.1
5・1	8.0	2.4	4.2	1.8	1.9	0.1
2	11.7	2.2	9.0	2.2	5.3	0.8
3	14.3	2.3	7.9	2.8	10.0	1.3
4	5.7	2.9	5.0	2.5	43.6	1.9
5	2.7	3.7	3.5	5.2	36.9	3.5
6	1.6	5.4	10.5	5.7	44.5	4.3
6・1	4.3	4.5	15.0	4.0	0.0	4.2
2	11.9	5.8	10.2	6.2	2.4	6.0
3	9.4	7.8	4.1	9.1	1.6	8.1
4	4.0	12.9	2.7	14.9	0.1	10.9
5	2.9	15.3	5.0	12.2	0.7	19.5
6	12.6	16.9	14.3	16.9	40.7	31.4
7・1	26.7	17.1	30.2	20.2	47.3	36.5
2	44.3	21.0	46.4	24.9	42.1	35.7
3	3.6	22.5	8.6	28.1	32.1	35.3
4	2.7	22.2	6.4	35.0	19.3	33.7
5	14.3	22.0	16.4	38.8	12.9	24.2
6	75.4	28.2	74.6	50.0	25.7	28.3
8・1	44.3	23.7	67.9	45.5	32.1	25.3
2	28.1	35.0	64.9	69.4	15.1	40.6
3	8.6	24.4	54.3	50.3	3.8	33.4
4	12.9	26.9	30.0	40.5	2.9	34.1
5	11.7	42.4	51.7	66.7	1.1	37.5
6	35.5	54.2	97.6	93.1	7.1	48.3
9・1	67.9	62.3	145.7	100.1	17.9	49.2
2	75.0	54.4	276.4	113.4	135.0	39.5
3	50.1	58.1	195.9	113.2	90.4	59.8
4	40.0	63.9	130.7	120.8	54.6	63.4
5	65.7	62.6	85.0	143.1	30.0	56.4
6	82.9	67.5	125.0	132.9	39.1	69.2
10・1	79.4	81.3	219.1	125.3	47.7	88.4
2	67.9	90.4	182.9	154.8	57.1	74.2
3	157.1	114.9	150.7	172.5	5.7	72.5
4	117.3	103.5	108.3	158.4	3.6	47.2
5	102.6	90.9	81.4	118.0	2.0	39.1
6	180.0	117.7	104.9	136.7	1.7	44.8
5～10月計	1483.1	1389.2	2446.3	2235.2	913.9	1208.2

平成22年に亀岡市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

タバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
5・1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
2	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0
3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.1
5	0.0	0.2	0.0	1.6	0.0	0.0
6	0.0	0.1	0.0	1.0	0.0	0.1
6・1	0.0	0.2	0.7	0.7	0.0	0.1
2	0.0	0.1	0.3	1.1	0.0	0.0
3	0.4	0.3	0.4	0.9	0.0	0.0
4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.0	0.1
5	0.0	0.3	0.7	1.0	0.0	0.1
6	0.0	0.2	0.1	1.2	0.0	0.1
7・1	0.0	0.2	0.3	0.9	0.4	0.2
2	0.0	0.4	0.7	1.0	0.0	0.4
3	0.0	0.8	0.7	1.1	0.0	0.2
4	0.0	0.9	0.7	1.6	0.0	0.3
5	0.1	0.7	1.0	2.1	0.1	0.3
6	0.9	1.2	2.6	4.0	0.9	0.6
8・1	1.4	0.8	1.4	3.5	0.0	0.3
2	0.6	0.9	1.1	2.5	0.0	0.4
3	0.0	1.3	1.4	3.6	0.0	0.5
4	0.0	2.4	0.7	4.3	0.0	0.7
5	0.0	3.4	7.6	4.7	0.4	1.1
6	0.3	4.9	4.0	7.9	0.9	6.4
9・1	0.7	3.6	0.7	6.7	0.7	3.3
2	1.4	2.7	0.7	5.1	0.0	1.9
3	0.6	1.5	0.3	3.2	0.0	1.6
4	0.3	1.1	0.0	5.2	0.1	0.9
5	1.4	1.8	0.0	4.5	0.7	0.4
6	1.4	1.4	5.0	2.4	0.1	0.4
10・1	0.9	1.2	2.3	1.2	0.0	0.3
2	0.0	0.5	0.7	1.3	0.0	0.1
3	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.1
4	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1
5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1
6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
5～10月計	11.0	34.8	34.8	78.4	4.9	21.5

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

オオタバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1
4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
6	0.0	0.1	2.5	0.5	0.0	0.0
5・1	1.1	0.1	5.8	0.8	0.6	0.0
2	0.9	0.4	3.5	2.5	0.7	0.1
3	0.0	0.7	0.7	2.9	0.7	0.1
4	0.0	0.6	0.0	5.0	0.0	0.1
5	0.0	0.2	0.5	4.1	0.0	0.1
6	0.0	0.2	1.5	3.4	0.0	0.1
6・1	0.0	0.2	0.0	3.3	0.0	0.2
2	0.0	0.2	0.0	2.1	0.0	0.1
3	0.0	0.1	0.4	1.0	0.0	0.1
4	0.0	0.9	0.6	1.0	0.0	0.0
5	0.0	0.6	0.0	1.7	0.0	0.0
6	0.0	0.2	2.0	4.5	0.0	0.0
7・1	0.0	0.3	3.1	6.4	0.0	0.0
2	0.0	0.2	2.9	5.2	0.0	0.0
3	0.0	0.2	0.0	4.5	0.0	0.0
4	0.0	0.4	0.0	2.5	0.0	0.0
5	0.0	0.1	0.4	1.4	0.0	0.0
6	0.0	0.1	2.6	3.1	0.0	0.0
8・1	0.0	0.0	0.7	4.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	2.9	4.7	0.0	0.1
3	0.0	0.0	1.4	3.7	0.0	0.0
4	0.0	0.1	0.7	3.1	0.0	0.0
5	0.0	0.2	51.0	4.2	0.0	0.0
6	0.3	0.5	104.9	7.8	1.1	0.9
9・1	0.7	0.6	36.4	7.5	2.9	0.4
2	0.7	0.3	26.4	10.3	0.0	0.0
3	0.3	0.3	21.7	17.9	0.0	0.2
4	0.0	0.7	20.7	23.8	0.3	0.4
5	0.0	0.8	29.3	21.3	1.4	0.7
6	9.7	0.7	71.9	26.1	2.0	0.8
10・1	14.1	2.1	24.3	29.3	2.1	0.7
2	17.1	2.9	20.7	29.5	2.1	0.9
3	23.6	4.1	64.3	26.6	21.4	0.5
4	11.6	3.9	42.0	32.3	9.4	1.1
5	12.1	5.9	26.6	27.3	1.7	2.0
6	55.7	6.9	29.1	26.9	3.4	1.7
5～10月計	147.9	35.5	599.0	361.8	49.8	11.3

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノホンガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	59.3	145.1	-	135.1	110.0	-
2	33.0	256.6	296.8	164.3	50.0	-
3	26.4	244.5	358.9	408.4	84.9	-
4	21.6	213.3	227.3	491.7	66.4	-
5	11.0	158.8	25.0	258.4	25.7	-
6	8.7	64.3	5.0	121.1	1.4	-
5・1	8.5	46.9	8.3	53.4	1.9	-
2	5.0	32.8	3.7	40.7	1.7	-
3	2.8	13.2	1.4	43.6	0.0	-
4	4.0	3.9	7.1	12.1	1.7	-
5	52.0	31.4	31.4	58.7	3.3	-
6	208.5	358.1	471.3	229.9	68.0	-
6・1	162.3	1088.7	1113.0	218.0	158.9	-
2	124.4	1147.3	1151.4	428.1	253.9	-
3	77.7	1087.7	539.6	581.0	429.9	-
4	59.8	508.1	386.7	650.6	479.3	-
5	26.9	153.7	386.7	564.0	98.6	-
6	45.7	84.1	386.7	273.0	54.4	-
7・1	123.7	171.5	687.0	170.0	41.6	-
2	140.6	525.1	709.7	323.2	107.9	-
3	68.4	850.6	139.3	402.7	104.4	-
4	38.0	958.2	495.3	341.5	77.6	-
5	17.5	477.0	359.4	213.0	38.6	-
6	19.5	190.1	26.6	198.2	6.9	-
8・1	28.0	124.0	22.1	101.8	4.0	-
2	10.0	180.4	6.7	71.0	2.4	-
3	6.7	244.5	6.6	67.3	0.6	-
4	6.7	221.9	12.1	93.3	0.1	-
5	2.8	245.6	15.7	99.2	0.0	-
6	3.8	187.3	10.9	180.9	0.1	-
9・1	0.0	110.0	8.5	115.5	0.7	-
2	4.0	135.6	12.7	68.7	1.3	-
3	13.3	168.9	13.4	71.6	0.9	-
4	15.4	188.4	15.8	127.5	0.0	-
5	6.9	222.6	15.0	160.6	2.9	-
6	4.6	235.9	11.8	147.0	4.6	-
10・1	7.8	131.5	5.7	97.0	4.6	-
2	3.0	71.3	3.8	63.7	0.0	-
3	5.2	34.0	1.7	56.2	5.1	-
4	0.8	19.3	1.4	41.5	5.6	-
5	2.3	17.4	0.6	25.3	4.3	-
6	1.6	14.1	0.0	21.6	1.7	-
4~10月計	1468.2	11363.3	7982.1	7990.1	2305.9	-

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4・1	1.0	2.1	-	0.2	0.0	-
2	3.0	7.2	2.9	0.4	0.0	-
3	14.6	45.5	14.4	11.2	0.0	-
4	68.4	88.5	86.3	21.3	0.0	-
5	287.5	125.4	203.6	32.8	0.0	-
6	433.8	196.9	241.4	74.5	0.0	-
5・1	660.9	404.3	389.6	105.0	0.4	-
2	742.2	473.3	238.0	194.3	0.7	-
3	740.6	441.5	157.3	214.2	0.7	-
4	241.0	265.3	37.9	145.2	0.1	-
5	68.0	122.8	11.6	46.0	0.3	-
6	18.8	33.9	4.0	13.9	0.7	-
6・1	2.1	5.2	1.9	4.8	0.0	-
2	0.2	3.1	9.3	4.9	0.0	-
3	52.0	22.2	52.7	42.4	0.6	-
4	73.0	69.6	63.6	56.0	1.4	-
5	71.4	103.0	63.6	115.2	0.0	-
6	169.3	97.5	63.6	182.4	0.0	-
7・1	197.1	116.1	52.9	129.5	0.0	-
2	68.1	63.3	36.6	64.1	0.0	-
3	15.2	31.1	0.7	22.9	0.0	-
4	2.0	10.4	7.0	64.2	0.0	-
5	1.5	12.3	13.4	36.5	0.0	-
6	6.9	40.9	24.9	36.5	0.0	-
8・1	3.2	64.2	20.7	40.7	0.0	-
2	10.4	43.5	43.6	34.1	0.0	-
3	1.3	38.0	33.6	36.7	0.0	-
4	8.7	14.1	10.0	29.7	0.0	-
5	3.0	5.3	7.9	21.5	0.0	-
6	3.0	4.3	8.3	46.6	0.0	-
9・1	4.0	12.1	31.9	59.5	0.0	-
2	9.0	22.7	70.0	93.1	0.0	-
3	9.5	85.8	57.3	135.5	0.0	-
4	10.8	98.4	36.8	152.7	0.0	-
5	4.9	97.1	82.5	127.7	0.0	-
6	21.6	123.0	59.7	113.6	0.0	-
10・1	13.2	135.9	21.8	130.2	0.0	-
2	31.0	134.0	12.0	101.3	0.0	-
3	23.2	57.2	5.0	78.7	0.0	-
4	7.5	29.8	3.6	37.6	0.0	-
5	5.3	22.7	2.7	15.3	0.0	-
6	4.3	13.6	1.7	10.6	0.0	-
4~10月計	4112.5	3782.9	2286.3	2882.9	4.9	-

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

(3) 黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数 (黄色水盤)
調査場所：亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月・半旬	H30	平年	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	
4・1	2.0	2.8	1.0	8.0	1.0	2.0	4.0	0.0	1.0	2.0	6.0	—	
2	0.0	5.1	1.0	10.0	4.0	1.0	1.0	0.0	1.2	10.3	17.0	—	
3	1.3	4.1	0.0	5.0	4.0	0.0	6.0	2.5	5.1	6.8	3.3	8.0	
4	1.7	9.4	0.6	9.0	3.0	2.0	14.5	2.5	1.7	5.0	38.7	17.0	
5	1.3	11.9	3.0	13.0	7.3	3.0	10.5	2.0	2.0	6.7	38.0	34.0	
6	7.4	29.0	2.9	15.3	5.7	2.0	24.0	9.0	5.0	5.3	88.8	132.0	
5・1	8.7	40.5	10.3	5.0	6.8	1.0	14.0	0.0	14.0	40.0	107.3	207.0	
2	4.6	51.0	31.3	7.8	7.3	15.0	64.0	0.0	16.0	8.0	143.3	217.0	
3	11.5	38.7	46.0	11.0	9.0	19.0	124.0	5.0	12.0	5.7	54.8	100.0	
4	15.2	41.4	27.0	0.0	2.0	28.0	119.0	9.0	14.0	9.3	47.0	159.0	
5	8.3	43.3	28.0	11.0	25.0	8.0	46.0	0.0	9.0	5.0	17.0	284.0	
6	28.0	40.8	27.2	5.0	4.0	16.5	138.0	10.0	4.0	3.0	6.9	193.0	
6・1	17.3	23.0	14.1	1.0	1.0	23.5	70.8	10.0	10.0	7.0	9.6	83.0	
2	19.4	20.7	8.8	5.0	7.0	4.0	61.2	6.0	2.3	11.0	5.6	96.0	
3	11.3	14.4	10.3	0.0	4.0	6.0	12.7	18.0	1.7	4.0	2.4	85.0	
4	4.0	15.6	14.6	2.0	3.3	1.0	9.3	12.0	2.0	4.3	3.4	104.0	
5	5.0	9.7	14.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	2.0	74.0	
6	14.3	7.4	17.8	0.8	3.0	0.0	9.0	0.0	1.0	3.0	0.0	39.0	
7・1	1.7	4.7	13.5	2.3	2.0	0.0	10.0	0.0	1.0	3.0	0.0	15.0	
2	0.0	6.9	7.5	2.0	2.0	1.0	4.0	13.0	0.0	4.0	1.0	35.0	
3	0.0	4.2	1.0	1.7	0.0	0.7	2.0	1.0	0.0	5.0	1.0	30.0	
4	0.0	3.5	0.0	3.3	0.0	1.3	4.7	0.0	0.0	5.0	2.8	18.0	
5	0.3	3.1	3.2	13.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.8	2.3	7.0	
6	1.2	5.2	19.6	10.0	0.0	0.0	6.0	3.0	1.0	0.9	7.0	5.0	
8・1	2	2.8	10.0	20.2	3.0	23.0	3.0	11.7	8.0	16.0	0.3	4.7	10.0
2	19.7	21.3	13.0	0.0	67.0	0.0	14.3	10.0	80.0	0.0	5.2	23.0	
3	56.0	18.7	4.0	0.0	15.7	0.6	9.0	35.0	76.0	7.0	7.0	33.0	
4	25.0	10.5	12.0	1.0	6.3	0.4	0.0	28.0	19.0	8.5	7.9	22.0	
5	5.0	6.5	9.0	4.0	1.5	3.3	0.0	15.7	3.0	5.5	3.1	20.0	
6	4.0	7.2	6.7	0.0	0.5	16.7	0.3	6.3	10.0	2.0	8.6	21.0	
9・1	3.5	13.0	23.3	0.0	0.3	24.0	0.7	0.0	0.0	2.0	9.3	70.0	
2	2.5	23.0	7.3	1.0	4.7	6.0	7.0	3.0	20.0	2.6	8.4	170.0	
3	21.3	10.6	7.7	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0	20.0	0.4	6.3	68.0	
4	8.1	10.1	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	1.0	26.7	20.0	41.0	
5	19.7	6.1	3.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	10.0	7.6	8.0	31.0	
6	10.7	3.3	0.3	1.0	1.0	7.0	2.0	0.0	5.0	2.8	3.7	10.0	
10・1	11.3	4.2	2.8	0.0	0.0	1.0	12.0	0.0	0.0	17.0	1.0	8.0	
2	1.0	2.8	2.0	0.0	1.2	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	13.0	
3	5.0	3.7	1.0	2.0	0.8	1.0	4.0	10.0	0.0	13.0	0.0	5.0	
4	2.7	4.8	2.0	1.0	4.0	0.0	2.0	7.7	5.0	17.0	0.0	9.0	
5	6.6	3.9	1.3	0.0	5.0	1.0	0.0	19.3	4.0	0.0	0.0	8.0	
6	22.3	4.6	3.7	2.0	5.0	1.0	10.0	0.0	3.4	5.0	0.7	15.0	
11・1	4.5	6.6	0.8	1.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.6	18.0	7.4	34.0	
2	16.8	8.7	4.3	0.0	0.0	2.0	10.0	15.7	10.0	10.0	4.7	30.0	
3	7.7	7.4	1.5	0.0	1.0	0.0	2.0	11.3	2.0	31.7	3.0	22.0	
4	7.7	5.6	0.5	0.0	2.0	1.0	21.7	10.0	0.0	6.3	2.6	12.0	
5	3.4	5.7	1.2	0.0	0.0	0.0	11.3	6.0	1.3	2.0	1.0	34.0	
6	5.4	4.9	1.8	1.0	0.0	1.0	5.0	3.0	6.7	0.0	0.0	31.0	
4~10月計	391.5	600.3	426.0	157.0	239.0	201.0	850.0	246.0	380.4	278.0	698.8	2519.0	

2 病害虫発生予察情報の内容

(1) 水稲

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
葉いもち	5月23日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2)前年の穂いもちの発生量は平年比多かった(+) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と予想されている。	
	6月20日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、本田での発生を認めていない(平年並)。 (2)南丹及び中丹地域の補植用苗で発生を認めている(+) (3)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-) (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または少なく(-)、日照時間は平年並または多い(-)と予想されている。	
穂いもち (中晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 やや少(少)	(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は、山城、中丹及び丹後で平年並、南丹で平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並、日照時間は日本海側で多く(-)、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、葉いもちの発生は山城及び中丹で平年並、南丹で平年比やや多く(+)、丹後で平年比多い(+) (2)8月中旬現在、巡回調査では穂いもちの発生を認めていない(山城、中丹及び丹後:平年並、南丹及び府全体:平年比少ない) (3)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は太平洋側では平年並または多く(+)、日照時間は平年並と予想されている。	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月20日(5号)	発生量 やや多(やや少)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)昨年8月の発生量は平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少なく(-)、日照時間は平年並または多い(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや少)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城、南丹及び丹後で平年並、中丹で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並、日照時間は日本海側で多く(-)、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、南丹及び丹後で平年並、中丹で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は太平洋側では平年並または多く(+)、日照時間は平年並と予想されている。	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月24日(4号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや少(並) [縞葉枯病] 発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、ヒメビウンカの発生量は平年比少ない(-) (2)昨年は、縞葉枯病の発生を認めていない(平年並)。	
	5月23日(4号)	[ヒメビウンカ] 発生量 少 [縞葉枯病] 発生量 並	(1)ヒメビウンカの越冬虫数は平年比少なく(-)、確認ほ場率は平年比低い(-) (2)昨年は、縞葉枯病の発生を認めていない(平年並)。	
セジロウンカ	6月20日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生も認めていない(平年並)。	
	7月25日(6号)	発生量 少(やや少)	(1)7月中旬現在、本田見取り及び本田すくい取り調査の発生量は平年比少ない(-)。	
トビロウンカ (中晩生水稲) (晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月18日現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)7月中旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年並)。	
	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月16日現在、予察灯への誘殺を認めていない(平年並)。 (2)8月中旬の巡回調査では発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は高い(+と予想されている。	
	9月20日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、京丹後市の予察灯で誘殺を認めている。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+と予想されている。	
ツマグロヨコバイ	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)ツマグロヨコバイの越冬虫数は平年並、確認ほ場率は平年比高い	
	6月20日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、本田での発生は平年並。	
	7月25日(6号)	発生量 やや少(少)	(1)7月中旬現在の発生量は、本田見取り調査では平年比少なく(-)、すくい取り調査では平年比やや少ない(-)。	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)前年8月に第2世代幼虫の発生を認めておらず(平年並)、越冬量は平年並と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	
	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	
イネミス ゾウムシ	4月24日(3号)	発生量 やや多(並)	(1)前年の新成虫の予察灯での誘殺数は亀岡市及び京丹後市で平年比やや多く(+)、京田辺市で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている(+)	
	5月23日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、京田辺で平年並、亀岡及び京丹後で平年比やや多い(+) (2)5月中旬現在、本田での発生量は平年比やや少ない(-) (3)5月第2半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は京田辺で平年比多く(+)、亀岡で平年比少なく(-)、京丹後で平年並。	

斑点米 カメムシ類 (中晩生水稲)	6月20日(5号)	発生量 やや多(多)	(1)6月中旬現在、本田及び畦畔雑草での発生量は平年並。 (2)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺及び亀岡で平年比やや多く(+)、京丹後で平年比多い(+) (3)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺及び京丹後で平年比やや多く(+)、亀岡で平年比多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年並または高い(+と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 多(並)	(1)7月中旬現在、本田での発生は平年並、畦畔雑草では平年比多い(+) (2)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺で平年比やや多く(+)、亀岡で平年比多く(+)、京丹後で平年並。 (3)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺及び亀岡で平年並、京丹後で平年比やや少ない(-) (4)向こう1か月の気温は平年比高い(+と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城及び南丹で平年並。 (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は山城で平年比やや多く(+)、南丹で平年並。 (3)山城の予察灯でミナミアオカメムシの誘殺を確認している(+)
その他 (注意事項)			

(2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
その他 (注意事項)				

(3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月20日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月第2半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている。	
吸食性 カメムシ類	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、巡回調査で発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は平年並からやや多い(+) (3)7月第3半旬現在、予察灯(BL)へのイチモンジカメムシの誘殺数は例 (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメムシでは京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。イチモンジカメムシでは京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市および京丹後市で平年並。 (3)8月第3半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市および亀岡市で例年並、京丹後市で例年比少ない(-) (4)8月第3半旬現在、亀岡市におけるホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年比多い(+)	
	9月20日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第2半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、イチモンジカメムシが亀岡市で平年比やや多く、他は平年並。 (3)9月第2半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は例年並。 (4)9月第2半旬現在、亀岡市のホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年比やや多い(+) (5)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-と予想されている。	
サヤムシガ類	7月25日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	

ハスモンヨトウ	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、巡回調査で発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月20日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
ハダニ類	7月25日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月20日(8号)	発生量 やや少(やや少)	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆、アズキとも平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(4) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月20日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月第2半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、黒大豆の巡回調査で発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月20日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
ハダニ類	7月25日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、黒大豆での巡回調査で発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月20日(8号)	発生量 やや少(やや少)	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆、アズキとも平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
オオタバコガ	8月23日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市および京丹後市では認められず(平年並)、亀岡市では平年比やや少ない(-)。 (2)8月中旬の巡回調査で発生を認めている(+)	
その他 (注意事項)				

(5) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月28日(2号)	発生量 並	(1)越冬罹病枝率は平年並であった。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)冬季に剪定した徒長枝での罹病枝率は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 やや多(多)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	6月20日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月24日(3号)	発生量 やや多(並)	(1)前年10月の発生は、平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	6月20日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
べと病 (ブドウ)	5月23日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	6月20日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
カキクダアザ ミウマ(カキ)	3月28日(2号)	発生量 並	(1)前年10月は被害を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
炭そ病(カキ)	4月24日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年10月の発生は認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
落葉病(カキ)	5月23日(4号)	発生量 並	(1)前年10月の発生を認めていない(平年比やや少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
うどんこ病(カキ)	5月23日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)前年10月の発生量は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	6月20日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	

ハダニ類 (カンキツ、 ナシ、ブドウ)	5月23日(4号)	発生量	ナシ 並(並) カンキツ やや少 (並)	(1)5月中旬現在、ナシでは発生を認めず(平年並)、カンキツでは平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。
	6月20日(5号)	発生量	ナシ 並 (やや多) カンキツ やや多 (多)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシで平年比少なく(-)、カンキツで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量	ナシ やや多 (並) カンキツ 多 (やや多)	(1)7月中旬現在、発生量はナシで平年並、カンキツでは多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量	ナシ やや多 (やや多) カンキツ 多 (多)	(1)8月中旬現在、発生量はナシで平年比やや多く(+)、カンキツで平年比多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
カメムシ類 (果樹全般)	5月23日(4号)	発生量	やや多(やや多)	(1)チャバネアオカメムシの越冬量は京丹後市、京都市及び南丹地域ともに平年比やや少ない(-)。 (2)5月第3半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市では平年並。 (3)5月第3半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市では平年比多く(+)、京丹後市では認めていない(平年比やや少ない)。 (4)5月第3半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯への誘殺数は京田辺市で例年並、亀岡市では例年比多く(+)、京丹後市では認めていない(例年並)。
	6月20日(5号)	発生量	山城 並(並) 丹波 多(多) 丹後 やや多 (やや多)	(1)チャバネアオカメムシの予察灯での誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多い(+)。 (2)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比やや少なく(-)、亀岡市で平年比多い(+)。 (3)クサギカメムシの予察灯への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市で平年比多い(+)。
	7月25日(6号)	発生量	山城 多(多) 丹波 多(多) 丹後 並(並)	(1)7月第3半旬現在、予察灯(BL)へのチャバネアオカメムシの誘殺数は京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年並。 (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)7月第3半旬現在、予察灯(BL)へのクサギカメムシの誘殺数は京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 多(多) 丹後 並(やや少)	(1)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は京田辺市および京丹後市で平年並、亀岡市で平年比多い(+)。 (2)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)8月第3半旬現在、クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年並。
その他 (注意事項)				

(6) 茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
もち病	3月28日(2号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 やや少 (やや少)	(1)前年10月の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少なく(-)、日照時間は平年比多い(-)と予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 山城 多(並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 やや多 (やや多)	(1)前年10月の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 並(少) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波、丹後では認めていない(いずれも平年並)。 (2)前年10月の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+)と予想されている。	

	7月25日(6号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在の発生量は、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在、山城、丹波、丹後ともに発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多く(+)、日照時間は平年並と予想されている。
炭疽病	4月24日(3号)	発生量	山城 多(並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 多(多)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波では平年並、丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量	山城 多(やや多) 丹波 多(並) 丹後 多(多)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
	6月20日(5号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 やや多 (やや少) 丹後 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城及び丹波で平年比やや多く(+)、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや少)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城および丹波で平年比やや多く(+)、丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量	山城 並(並) 丹波 やや多(並) 丹後 多(やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比 やや多く(+)、丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。
	カンザワハダニ	2月28日(1号)	発生量 防除時期	山城 少(並) 丹波 並 (やや多) 丹後 並(並) 3月上旬
3月28日(2号)		発生量	山城 並(多) 丹波 やや多(並) 丹後 やや多 (やや多)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。
4月24日(3号)		発生量	山城 やや少(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)4月中旬現在、山城、丹波、丹後ともに発生を認めていない(山城:平年比少ない(-)、丹波:平年並、丹後:平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
5月23日(4号)		発生量	山城 やや多 (やや少) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後では認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
6月20日(5号)		発生量	山城 並(少) 丹波 多(多) 丹後 やや多 (やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年並、丹波で平年比多く(+)、丹後では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。
7月25日(6号)		発生量	山城 並(多) 丹波 並(並) 丹後 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
8月23日(7号)		発生量	山城 やや多(多) 丹波 やや多(多) 丹後 やや多 (やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波および丹後で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
9月20日(8号)		発生量	山城 少(並) 丹波 やや少(並) 丹後 並(並)	(1)9月中旬現在、発生量は山城及び丹波で発生を認めず(山城:平年比少ない(-)、丹波:平年比やや少ない(-)、丹後では平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
10月24日(9号)		発生量	山城 やや多 丹波 やや多 丹後 やや多	(1)10月中旬現在、発生量は山城及び丹波で平年並、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。
チャノソガ		3月28日(2号)	発生量	山城 並(やや少) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや多)

4月24日(3号)	発生量 山城 並(やや多) 丹波 並(やや少) 丹後 やや多(並)	(1)前年10月の発生量は山城、丹波では平年並、丹後では平年比やや多い(+) (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや少なく(-)、綾部市では平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
5月23日(4号)	発生量 山城 やや少(やや少) 丹波 並(やや少) 丹後 並(並) 第2世代幼虫ふ化時期 山城 6月第2半旬～ 6月第3半旬(やや早) 丹波 6月第4半旬～ 6月第5半旬(やや遅)	(1)5月中旬現在、第1世代の発生は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後では平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比少なく(-)、綾部市で平年並。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比やや早く、綾部市では平年比やや遅い。	
6月20日(5号)	発生量 山城 やや少(並) 丹波 多(多) 丹後 やや多(やや多) 第3世代幼虫ふ化時期 山城 7月第2半旬～ 7月第3半旬(やや早) 丹波 7月第3半旬～ 7月第4半旬(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城でやや少なく(-)、丹波では平年比多く(+)、丹後では平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市は平年比少なく(-)、綾部市は平年比多い(+) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比やや早く、綾部市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
7月25日(6号)	発生量 山城 やや少(やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(やや多) 第4世代幼虫ふ化期 山城 8月第3半旬～ 8月第4半旬(やや早) 丹波 8月第4半旬～ 8月第5半旬(並)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比少なく(-)、綾部市で平年並、京丹後市では過去4年の値と比較して並。 (3)第2世代成虫の発生時期は宇治市で平年比やや早く、綾部市は平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
8月23日(7号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 やや少(少) 第4世代幼虫ふ化期 山城 8月第2半旬～ 8月第3半旬(早) 丹波 8月第6半旬～ 9月第1半旬(並)	(1)8月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波および丹後では発生を認めていない(丹波:平年並、丹後:平年比少ない(-)) (2)フェロモントラップ調査では、第2世代成虫の発生時期は、宇治市で平年比早く、綾部市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
9月20日(8号)	発生量 山城 やや少(やや少) 丹波 やや多(やや多) 丹後 やや多(やや少)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で発生を認めず(平年比少ない(-)、丹波及び丹後で平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
10月24日(9号)	発生量 山城 少 丹波 並 丹後 やや多	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で平年並、丹後では平年比やや多い(+)	
チャノコカクモンハマキ	3月28日(2号)	発生量 山城 並(やや少) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は、山城、丹波で平年並、丹後では発生を認めていない(平年並)。
	4月24日(3号)	発生量 山城 並(並) 丹波 多(多) 丹後 並(並)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比多く(+)、丹後では発生を認めていない(平年並) (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並、綾部市では平年比やや多い(+)
	5月23日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(やや少) 丹後 並(並) 第1世代幼虫ふ化期 山城 5月第4半旬～ 5月第6半旬(並) 丹波 5月第3半旬～ 5月第5半旬(やや早)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後では認めていない(平年並) (2)前年10月の発生は山城、丹波で平年並、丹後では認めていない(平年並) (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市、綾部市ともに平年比やや多い(+) (4)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや早い。

	6月20日(5号)	発生量 山城 やや多(並) 丹波 多(やや多) 丹後 並(並) 第2世代幼虫ふ化期 山城 7月第2半旬～ 7月第3半旬(並) 丹波 6月第4半旬～ 6月第6半旬(早)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は山城および丹波で平年並、丹波で平年比多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや多く(+)、綾部市で平年並。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年並、綾部市で平年比早い。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 多(多) 第3世代幼虫ふ化期 山城 8月第4半旬～ 8月第5半旬(並) 丹波 8月第1半旬～ 8月第2半旬(やや早)	(1)7月中旬現在、第2世代幼虫の発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後では平年比多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや多く(+)、綾部市では平年並。 (3)第1世代成虫の発生時期は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや早い。
	8月23日(7号)	発生量 山城 やや多(並) 丹波 やや多(並) 丹後 やや多 (やや多) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第6半旬～ 10月第1半旬(やや遅) 丹波 8月第4半旬～ 8月第5半旬(早)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後ともに平年並(丹後:発生を認めず)。 (2)フェロモントラップ調査では、第2世代成虫の発生時期は宇治市で平年比やや遅く、綾部市では平年比早い。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月20日(8号)	発生量 山城 並(やや少) 丹波 並(やや少) 丹後 やや多 (やや多)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波及び丹後では発生を認めていない(丹波:平年比やや少ない(-)、丹後:平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
クワシロ カイガラムシ	4月24日(3号)	発生量 山城 並 (やや少) 丹波 やや少 (やや多) 丹後 やや少 (やや少)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波、丹後で平年比やや少ない(-)。
	5月23日(4号)	発生量 山城 やや少 (やや少) 丹波 やや少 (やや多) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後では平年並。
	6月20日(5号)	発生量 山城 やや少 (やや少) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 並(やや少)	(1)第1世代幼虫の発生量は山城及び丹波で平年比やや少なく(-)、丹後では平年並。
	8月23日(7号)	発生量 山城 少(少) 丹波 少(少) 丹後 やや多 (やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は山城および丹波で平年比少なく(-)、丹後では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
チャノキイロ アザミウマ	5月23日(4号)	発生量 山城 やや少(並) 丹波 並(-) 丹後 並(-)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波では認めず(平年並)、丹後では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	6月20日(5号)	発生量 山城 並(やや多) 丹波 並(やや多) 丹後 並(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比少なく(-)、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 山城 並(やや多) 丹波 並(やや) 丹後 並(少)	(1)月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。

	8月23日(7号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並 (やや多) 丹後 並(少)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波および丹後とも平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
チャノミドリヒメ ヨコバイ	5月23日(4号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 並(-) 丹後 並(-)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後ともに発生を認めていない(山城:平年比やや少ない(-)、丹波、丹後:平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。
	6月20日(5号)	発生量	山城 多(多) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 やや多 (やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で発生を認めず(平年比少ない(-)、丹後で平年比やや多い(+))。
	7月25日(6号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 少(少) 丹後 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比少なく(-)、丹後では平年比やや多い(+))。
	8月23日(7号)	発生量	山城 やや少 (やや少) 丹波 やや少(並) 丹後 やや多 (やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は山城および丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で平年比やや多い(+))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
その他 (注意事項)				

(7) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
疫病・褐色腐敗病(果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、トマト(例年並)、ナスでは発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+))と予想されている。	
	6月20日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、ナスでの褐色腐敗病の発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、ナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+))と予想されている。	
うどんこ病 (果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月月中旬現在、ナス、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	6月20日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、トマトでの発生は例年並、キュウリ、ナスでは発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+))、降水量は平年並または少ない(+))と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年比少なく(-)、ナスで平年比やや多い(+))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+))、降水量は日本海側で平年並または少なく(+))、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月23日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月中旬現在、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスでは平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+))、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
べと病 (キュウリ)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+))と予想されている。	
	(ウリ類)6月20日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	(キュウリ)7月25日(6号)	発生量 少(少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
(アブラナ科)9月20日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(キャベツ:例年並、カブ:例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多い(+))と予想されている。		
(アブラナ科)10月24日(9号)	発生量 並(やや少)	(1)10月中旬現在、キャベツでは発生を認めず(平年並)、カブでは平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。		

炭疽病 (ウリ類) (キュウリ) (キュウリ)	6月20日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、キュウリでは発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量 並	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と予想されている。
褐斑病 (キュウリ)	7月25日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量 やや少	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(+と予想されている。
斑点細菌病 (キュウリ、 トウガラシ)	5月23日(4号)	発生量 多(多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と予想されている。
	6月20日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生は、平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
白斑病 (アブラナ科野菜)	9月20日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、カブで発生を認めていない(例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は少ないと予想されている。
	10月24日(9号)	発生量 やや多(やや少)	(1)10月中旬現在、発生量はカブで平年比多い(+) (2)ダイコン、ハクサイで発生を認めている。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。
菌核病 (キャベツ)	3月28日(2号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年11月の発生は平年比やや多い(+) (2)3月下旬の調査では、発生を認めていない(平年並)。ただし、調査ほ場周辺の収穫前後のほ場では、発生を認めている(+)
	4月24日(3号)	発生量 並(少)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	9月20日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)本年5月の発生量は、平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多い(+と予想されている。
	10月24日(9号)	発生量 並(並)	(1)本年5月の発生量は、平年比多い(+) (2)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。
白さび病(アブラナ科野菜)	10月24日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、ダイコン、カブともに発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。
黒腐病・黒斑細菌病 (アブラナ科野菜)	9月20日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、キャベツで黒腐病の発生を認めず(例年並)、ダイコンでも黒斑細菌病の発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は少ないと予想されている。
黒腐病 (キャベツ)	10月24日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。
さび病(ネギ)	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、小株では発生を認めず(平年並)、大株で発生を認めている。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。
アブラムシ類 (アブラナ科野菜、野菜類)	3月28日(2号)	発生量 並(多)	(1)3月下旬のキャベツの調査では、発生は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている。
	4月24日(3号)	発生量 やや多(多)	(1)4月中旬現在、発生量はトマト(施設)、キャベツ、ハウレンソウでは平年(例年)比やや多く(+)、ネギでは平年並。 (2)4月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は例年比少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
アブラムシ類とモザイク病	5月23日(4号)	発生量 やや少(やや多)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量はキュウリで平年並、ナス、キャベツで平年比やや少なく(-)、ネギでは発生を認めていない(平年比やや少ない(-))。 (2)5月第4半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。

	6月20日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、トマトでのアブラムシ類の発生は認めず(例年並)、キュウリでは平年比やや多く(+)、ナスでは平年比少ない(-)。 (2)6月中旬現在、モザイク病はトマト、キュウリとも発生を認めていない(平(例)年並)。 (3)6月第2半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている)。
アブラムシ類 (野菜全般)	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスで平年比少ない(-)。 (2)8月第4半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多いと予想されている。
ハダニ類 (チャノホコリダニを含む) (果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスでは発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
(野菜全般)	6月20日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在、発生量はキュウリ、ナスとも平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている)。
(野菜全般)	7月25日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリでは平年比やや多く(+)、ナスでは平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
(野菜全般)	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスで平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。 (3)病害虫調査協力員から、万願寺トウガラシでの発生が報告されている(+)
アザミウマ類 (果菜類)	5月23日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで平年比多く(+)、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
(野菜全般)	6月20日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、トマトで発生を認め、キュウリでの発生は平年並、ナスでは平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている)。
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスで平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
ハモグリバエ類 (果菜類)	6月20日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、トマト、キュウリ、ナスとも発生は平(例)年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ないと予想されている。
(果菜類)	7月25日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年比多く(+)、ナスで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。
(果菜類等)	8月23日(7号)	発生量 やや少(並)	(1)8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年比少ない(-)、ナスでは平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多いと予想されている。
(野菜全般)	9月20日(8号)	発生量 並(多)	(1)9月中旬現在、発生量はナス及びカブで平年比少なく(-)、キュウリで例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
コナガ (アブラナ科野菜)	3月28日(2号)	発生量 並(並)	(1)3月下旬のキャベツの調査では、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている)。
	4月24日(3号)	発生量 多(やや多)	(1)4月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は亀岡市、京丹後市とも平年並。京田辺市で誘殺を認めている。 (3)予察灯60Wへの誘殺数は京田辺市、亀岡市、京丹後市とも平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 やや多	(1)5月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。京田辺市で誘殺を認めている。 (3)予察灯60Wへの誘殺数は、平年比多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。

	8月23日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は京田辺市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で平年並。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市では誘殺を認めず、亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市では誘殺を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	9月20日(8号)	発生量 並(やや少)	(1)9月中旬現在、キャベツでの発生は例年比やや多く(+)、ダイコン、カブでは発生を認めていない(ダイコン:平年並、カブ:例年並)。 (2)9月第2半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市および京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)9月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	10月24日(9号)	発生量 やや多(並)	(1)10月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比多く(+)、ダイコン、カブではともに平年比やや多い(+) (2)10月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市では誘殺を認めず(平年並)、亀岡市、京丹後市ではともに平年並。 (3)10月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。
ハスモンヨトウ	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや少)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、黒大豆での発生量は平年比やや多い(+) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年並み、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	9月20日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、キュウリ、ナス、キャベツ、ダイコンとも発生を認めていない(平(例)年並)。 (2)9月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ] (野菜全般)	9月20日(8号)	発生量 やや多	(1)9月第2半旬現在、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比やや多い(+) (2)9月第2半旬現在、タバコガのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比少なく(-)、亀岡市、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
ハイマダラノメイガ [ダイコンシンクイムシ] (アブラナ科野菜)	9月20日(8号)	発生量 並(やや多)	(1)9月中旬現在、ダイコンでは発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
シロオビノメイガ	8月23日(7号)	発生量 並	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市、亀岡市、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	9月20日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月第2半旬現在、予察灯(60W)への誘殺は京田辺市、京丹後市で平年並、亀岡市で平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	4月24日(3号)	発生量 多(やや多)	(1)4月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 並(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	6月20日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 並(少)	(1)7月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	9月20日(8号)	発生量 やや多(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。

	10月24日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている。
ネギハモグリバエ(ネギ)	4月24日(3号)	発生量 やや多(多)	(1)4月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 やや少(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。
	6月20日(5号)	発生量 やや少(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ないと予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月23日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、小株での発生は平年比やや少なく(-)、大株で発生を認めている。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で多く太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月20日(8号)	発生量 並(多)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	10月24日(9号)	発生量 やや多(多)	(1)10月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と予想されている。
その他 (注意事項)			

留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温	降水量	日照時間
第1号	3月	2月28日	2月22日	平年並または高い	平年比多い	平年比少ない
第2号	4月	3月28日	3月22日	平年比高い	平年並または少ない	平年比多い
第3号	5月	4月24日	4月19日	平年比高い	平年並	平年並
第4号	6月	5月23日	5月17日	平年並	平年並または多い	平年並または少ない
第5号	7月	6月20日	6月14日	平年並または高い	平年並または少ない	平年並または多い
第6号	8月	7月25日	7月19日	平年比高い	(日本海側) 平年並または少ない (太平洋側) 平年並	(日本海側) 平年比多い (太平洋側) 平年並または多い
第7号	9月	8月23日	8月16日	平年比高い	(日本海側) 平年比多い (太平洋側) 平年並または多い	平年並
第8号	10月	9月20日	9月13日	平年比高い	平年並または多い	少ない
第9号	11月	10月24日	10月18日	高い	平年並または少ない	平年並または多い

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3. 対象病害虫の発生状況

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要(注1)	発生要因の解析	防除の概要(注2)
イネ	14300ha	葉いもち	平年：並 前年：やや早	平年：並 前年：並	5248ha	8月中旬に南丹地域で平年比やや多く、丹後地域で平年比多い発生となったが、全体的に平年並の発生で推移した。	7月上旬に梅雨前線や湿った空の影響で曇りや雨の日が多くなり、一時的に発生が多くなったが、7月中旬以降は晴れて高温の日が続いたことにより、平年並の発生に抑えられた。	長期持続型箱施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
		穂いもち	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや少 前年：少	1687ha	8月に中丹地域で発生を認め、9月には山城、中丹及び丹後地域では平年並、南丹地域では平年比やや少ない発生となった。全体的には平年比やや少ない発生となった。	7月中旬から8月中旬にかけて高気圧に覆われ晴れる日が多く、降水量が平年比少～並に推移したため発病が抑えられた。	出穂前後の防除を行っている。
		紋枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	10940ha	7月から中丹地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認め、中丹地域では平年比やや多い発生となった。9月には発生面積は平年比多くなったが、発病度は平年並に抑えられた。	茎数は平年比少なかった。 7月中旬から8月中旬にかけて降水量は平年比少～並に推移したが、8月下旬の平均気温は平年比高く、降水量も平年比多くなったことから発病が助長された。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
		白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。
		稲こらじ病	平年：一 前年：一	平年：やや多 前年：やや多	953ha	9月に南丹地域の一部で発生を確認した。		実施せず。
		イネミズゾウムシ	平年：早 前年：並	平年：並 前年：やや少	12870ha	予察灯への初飛来は京田辺(5月1日)及び京丹後(4月23日)で平年比早く、亀岡(5月16日)では平年比遅かった。 予察灯への誘殺数(4月第1半旬～5月第2半旬)は、京田辺で平年比多く、亀岡で平年比少なく、京丹後で平年並であった。 本田での発生は山城地域では平年比やや多く、全体的には平年並の発生であった。	前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、京田辺で平年並、亀岡及び京丹後で平年比やや多い。 4月～5月にかけて平均気温は平年比高く推移した。	育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。
		ツマグロコバイ	平年：やや早 前年：並	平年：やや少 前年：並	4762ha	越冬世代幼虫の発生時期は平年比やや早かった。本田では、7月に山城及び中丹地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない発生で推移した。	越冬密度は平年並であった。 4月～5月にかけての平均気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ヒメビロウカ	平年：早 前年：早	平年：少 前年：少	8103ha	7月から発生を認め、9月まで平年比少ない発生に推移した。 巡回調査では綿葉枯病の発生を認めなかった。	越冬密度は平年比少なかった。 4月～5月にかけての平均気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		セジロウカ	平年：やや早 前年：早	平年：少 前年：やや少	9052ha	予察灯への初飛来は、京田辺(6月30日)で平年比早く、亀岡(7月13日)及び京丹後(7月1日)で平年比やや早かった。 本田では7月に山城及び南丹地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比少ない発生に推移した。	飛来量は平年比やや少なかった。 6月下旬以降の平均気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		トビイロウカ	平年：遅 前年：やや早	平年：並 前年：並	0ha	予察灯への初飛来は、京丹後でのみ8月29日であったが、巡回調査では発生を認めなかった。	飛来量は平年並であった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行う。
		ニカメイガ	平年：一 前年：並	平年：並 前年：並	1430ha	7月から中丹及び丹後地域の一部で発生を確認し、9月には丹波地域の飼料米でも発生を認めた。	近年発生ほ場が増加傾向にあり、出穂後に農薬散布を行わない飼料米では発生が目立つ。	常発地では本田防除を実施。
		イチモンジセセリ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	1430ha	6月から中丹及び丹後地域で発生を確認し、中丹地域では平年比やや多い発生となった。7月以降は平年並の発生に推移した。		常発地では本田防除を実施。
		コブノメイガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。	飛来量は平年比少なかった。	出穂期後にカメムシ類との同時防除を行っている。
		アワヨトウ	平年：一 前年：一	平年：一 前年：やや少	1ha	6月下旬に丹後地域の飼料作物で多発ほ場を認めたが、イネでは発生を認めなかった。		次世代幼虫(7月下旬頃～)に対する薬剤防除の実施。

農作物名	作付面積	病虫害名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要(注1)	発生要因の解析	防除の概要(注2)
イネ		斑点米カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	6192ha	本田での発生は、平年並の発生に推移した。畦畔雑草での発生は、6月までは平年並の発生であったが、7及び8月には平年比多い発生となり、特に山城及び丹後地域での発生が目立った。予察灯(60W)へのアカスジカメムシの誘殺数は平年比やや多く、アカヒゲホソドリカメムシの誘殺数は平年並であった。以上の結果により、7月31日付けで発生予察注意報第2号を発表した。優占種は、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカメムシ、及びアカヒゲホソドリカメムシであった。特に、昨年、一昨年に引き続きイネカメムシの発生が目立った。	カメムシ類増加の要因として、水田内外の雑草管理の不足、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草地)の増加、地域一斉防除の減少等が考えられる。イネカメムシの発生が増加している原因については不明。	出穂期後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除(出穂期と傾穂期の2回)を行っている。
麦	250ha	うどんこ病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	0ha	5月中旬の巡回調査では、小麦、大麦とも発生を認めていない。平成22年以前の巡回調査では、同病の発生は認めておらず、平成23～27年は同病の調査を実施していない。	赤かひ病と同時に防除されている。	今まで発生を認めていないため、同病に対する防除は実施していない。赤かひ病と同時防除となっている。
		赤かひ病	平年：多 前年：やや多		16ha	5月中旬の巡回調査では、中丹及び南丹地域の小麦では発生を認めず、南丹地域の大麦では少発(発生ほ場率：16.7%)し、全体的には平年比多い発生であった。	小麦：感染の危険度が高い開花始～開花期は概ね晴天で最低気温が低かった。 大麦：感染の危険度が高い蒞穀抽出期に降水量が多く、最低気温が高かった。	小麦では、開花期およびその1週間後の2回の薬剤散布、大麦では、蒞穀抽出期およびその1週間後の2回の薬剤散布を実施。
大豆(黒)	304ha	アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：やや少 前年：やや多	76ha	7、8、9月中旬の巡回調査では少発(発生ほ場率：25.0%)し、発生量は7、8月は平年並からやや多く、9月は平年比少なく、全般的にはやや少なく推移した。当所の黄色水盤での本年の誘殺数は、平年並～平年比やや多く推移した。	9月上旬の台風による暴風雨で、増殖が抑えられた。	播種時の殺虫剤浸漬処理及び定植時粒剤施用を実施。弱毒ウイルス接種によるモザイク病対策を中止してから特に上記の防除対策を重視している。ほ場では、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類との同時防除で対応。
		ハスモンヨトウ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	304ha	8、9月中旬の巡回調査では、南丹、丹後地域で幼虫発生ほ場率30～37.5%で少発、白葉の発生ほ場率75～100%で少発、本年の発生量は平年並からやや多く推移した。当所のフェロモントラップでの本年7～9月の誘殺数は、平年並に推移した。	フェロモントラップの誘殺数は、7月上旬の豪雨により減少し、その後の高温乾燥で平年比並に回復した。	開花期以降の薬剤散布(3回)。
		吸蜜性カメムシ類	平年：- 前年：-	平年：やや少 前年：やや少	38ha	8、9月中旬の巡回調査では、南丹、中丹地域で少発生(発生ほ場率：12.5%)を認めた。本年の発生量は、平年比やや少なく推移した。	9月上旬の台風による暴風雨で、発生が抑えられた。	開花期以降の薬剤散布(3回)。アブラムシ類、ハスモンヨトウとの同時防除で対応。
カンキツ	46ha	そうか病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。過去10年間、H27年に2ほ場で少発生を認めたのみ。	例年ほとんど発生しておらず、病原菌の密度が低い。	定期的な薬剤散布。
		黒点病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	6～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。過去10年間、発生を認めていない。	例年ほとんど発生しておらず、病原菌の密度が低い。	定期的な薬剤散布。
		かいよう病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。過去10年間、発生を認めていない。	栽培されている温州ミカンには、一般的に本病に対して耐病性と言われている。	定期的な薬剤散布。
		ミカンハダニ	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	46ha	4～6月は少発(発生ほ場率4、5月：33.3%、6月：66.7%)し、7～8月には多発(発生ほ場率：100%)、9月には発生を認めなかった。全体的には平年比やや多い発生となった。	7月中旬以降の高温乾燥で多発し、8月下旬以降の多雨と9月上旬の台風による暴風雨で減少した。	定期的な薬剤散布。
		アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：並	16ha	6～8月に少発(発生ほ場率33.3%)し、9月は発生を認めなかった。	8月下旬以降の多雨と9月上旬の台風による暴風雨で減少した。	定期的な薬剤散布。
ナシ	76ha	黒斑病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	42ha	丹後地域の「二十世紀」栽培ほ場では、5月には発生を認めず、6月に少発(発生ほ場率：80%)、7～9月に中発(発生ほ場率：60～100%)した。全体的には平年比やや多い発生であった。	8月中旬以降の多雨傾向で発生が多くなると考えられる	定期的な薬剤散布。
		黒星病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：並	27ha	丹後、山城地域の「赤ナシ系統」栽培ほ場では、5～9月に少発(発生ほ場率：20～80%)を認めた。全体的には平年比やや多い発生で推移した。全体的には平年比やや多い発生であった。	5～9月の多雨傾向で発生が多くなると考えられる	定期的な薬剤散布。
		ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：やや少	0ha	5～8月には発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要(注1)	発生要因の解析	防除の概要(注2)
ナシ		ハダニ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	55ha	5、6、9月は発生を認めず、7月は少発生(発生ほ場率:27.3%)、8月は中発生(発生ほ場率:72.7%)、9月は発生を認めなかった。全体的には平年並の発生であった。	7月中旬以降の高温乾燥で増殖したが、8月下旬以降の多雨と9月上旬の台風による暴風雨で減少した。	薬剤のローテーション防除。
		カメムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	チャハネアオカメムシの越冬量は、平年比やや少なかった。果樹園での見取り調査では、カメムシ類の発生は認めなかった(平年並)。チャハネアオカメムシ及びクサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京丹後市では8月下旬以降平年比多くなった。ツヤアオカメムシの誘殺数は、京丹後市では9月下旬に平年比多く、亀岡市及び京丹後市では8、9月に平年比多くなった。これらの誘殺状況を踏まえ、9月21日付けで防除所ニュースを発表した。全体的には平年並の発生であった。	スギ、ヒノキの花粉の飛散量が多く、カメムシ類の餌となる毬果が豊富にあったため、第1世代以降の発生が増加したと考えられる。大半の園で袋掛けが行われるため、被害は抑制された。	薬剤散布。袋掛け。
ブドウ	87ha	アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：やや多	35ha	丹後地域では6月に一部の園で少発。山城地域では、5月に少発し6月に甚発したが、7月以降はどちらの地域も発生を認めなかった。発生ほ場率は5月：20%、6月：45.5%であった。	5月の初期防除が遅れた一部のほ場で6月に甚発となったが、7月以降は豪雨、相次ぐ台風により発生を認めなくなった。	薬剤散布。
		シンクイムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	6～8月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。		薬剤散布。袋掛け。
		べと病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	87ha	5、6月は発生を認めず(平年並)、7月に中発、8、9月は少発した。発生ほ場率は7月：100%、8月：83.3%、9月：100%であった。全体的に平年比やや多い発生であった。	7月以降降雨が多く、やや多い発生に繋がったと考えられる。	薬剤散布。雨除け。
		灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：並	0ha	5～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。雨除け。
カキ	211ha	炭そ病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	70ha	9月に少発を認めた(発生ほ場率33.3%)。全体的に平年比やや多い発生となった。	7月以降降雨が多く、やや多い発生に繋がったと考えられる。	薬剤散布。
		カキノヘタムシガ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		薬剤散布。
		カイガラムシ類	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	211ha	7～9月に発生し、8月には中発(平年比多)し、発生ほ場率100%となった。全体的にはやや多い発生となった。	平成25年以降、発生が目立ってきている。	薬剤散布。 今後、増加傾向を示せば散布薬剤の見直しが必要かも知れない。
		カメムシ類	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	141ha	9月に中～多発を認めた(平年比多、発生ほ場率66.7%)。越冬量調査、予察灯の誘殺数の状況は、ナシのカメムシ類の項参照。	スギ、ヒノキの花粉の飛散量が多く、カメムシ類の餌となる毬果が豊富にあったため、第1世代以降の発生が増加したと考えられる。	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	141ha	7、9月に少発生(発生ほ場率:7月66.7%、9月33.3%)を認めた。全体的には平年並の発生であった。	平成22年以降増加傾向であったが、平成29年以降は平年並みの発生。	薬剤散布。
		カキクダアザミウマ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		薬剤散布。
チャ	1570ha	炭そ病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	1146ha	山城地域では、4月から一番茶期を経て7月まで発生が目立ち、生育期間の前半は平年比やや多い発生で推移したが、その後は平年並の発生であった。丹波地域では5月以降9月まで平年比やや多い発生で推移した。丹波地域では、6月に発生を認めなかったが、4月から9月までは平年比多い発生を認めた。	3月～7月上旬までの定期的な降雨により、発病が助長されたと考えられる。また、丹波及び丹後では、8月～9月に尻舞わされた豪雨及び台風による多雨の影響も大きいと考えられる。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除 多発園での萌芽期以降、被覆前の薬剤防除
		もち病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	本年は、山城地域、丹波地域、丹後地域のいずれの地域でも発生を認めなかった。		6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除 前年に多発した園では、萌芽～1葉期の防除
		灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：多 前年：多	275ha	山城地域では、4月～5月(一番茶期)に平年比多い発生を認め、丹波地域では4月に平年比多い発生を認めた。	4月中旬～5月中旬の多雨により、発病が助長されたと考えられる。	秋期から冬期に掛けての薬剤防除
		チャノココクモンハマキ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	240ha	巡回調査では、丹波地域で4月、6月に平年比多い発生を認めたが、全体的には平年並の発生であった。フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市、綾部市とも平年並で推移した。	丹波地域では4月以降の気温が高く推移したことにより、発生が助長されたと考えられる。	幼虫ふ化期の薬剤防除

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要(注1)	発生要因の解析	防除の概要(注2)
チャ		チャノホンガ	平年：並 前年：やや遅	平年：少 前年：少	110ha	山城地域では期間を通してやや少ない発生であった。丹波地域では6月に平年比多い発生を認め、丹波地域では6月に平年比やや多い発生を認め、宇治市で平年比少なく、綾部市で平年並に推移した。	天候や茶園の管理作業(整枝等)の時期により、幼虫発生期と茶芽の伸育期が重なった世代において、発生が増加したものと考えられる。	秋期最終発生時の薬剤防除
		カンザワハダニ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	415ha	丹波地域で6月に平年比多い発生を認めた。また、山城地域で5月、8月に、丹波地域及び丹波地域で8月に平年比やや多い発生を認めたが、全体的には平年並の発生で推移した。	4月以降気温が高く推移したことと、7月中旬～8月中旬に晴天の日が続いたことにより、発生が助長されたと考えられる。	越冬期及び萌芽期前後の薬剤防除 一番茶、二番茶摘採後の薬剤防除 同一薬剤の運用を避ける
		チャノミドリヒメヨコバイ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	476ha	山城地域では4月から発生を確認し、6月は平年比多い発生を認めた。丹波地域では6月に発生を確認し、以後9月まで平年比やや多い発生を認めた。丹波地域では9月に平年比やや多い発生を認めた。全体的には平年並の発生で推移した。	一部薬剤に対する感受性の低下 適期防除の未実施(二番茶摘採後、新芽伸育期)	二番茶摘採後、新芽伸育時の薬剤防除 チャノキイロアザミウマとの同時防除
		チャノキイロアザミウマ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	1570ha	9月に山城地域で平年比多い発生を、丹波地域で平年比やや多い発生を認め、全体的には平年並の発生で推移した。	梅雨が明けた7月以降、周期的に晴天の日が続いたことにより、発生が助長されたと考えられる。 一部薬剤に対する感受性の低下	二番茶摘採後、新芽伸育時の薬剤防除 チャノミドリヒメヨコバイとの同時防除
		クワシロカイガラムシ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	1003ha	丹波地域では7月、8月に平年比やや多い発生を、9月には平年比多い発生を認めた。	適期防除(幼虫ふ化期)の未実施	冬期のピロピロキソフェンMC剤処理(使用可能な地域) 他の地域では幼虫ふ化期の薬剤防除
冬春トマト	28ha	疫病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。
		灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。
		葉かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。 抵抗性品種の導入。
		うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	4ha	6月中旬に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：40%、例年並)。	5～6月中旬の晴天で、高温、乾燥した一部のハウスで発生を認めた。	発生を認めた時に薬剤散布。
		アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	8ha	4、5、6月中旬に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：60%)。	5、6月の晴天による高温で発生が増加した。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	1ha	4月中旬に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：20%、やや多)。	4月の晴天による高温で、出入口を解放した一部のハウスで発生を認めた。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	ほ場の見取り調査では、発生を認めなかった。 当所のアブラムシトラップでの5～6月の誘殺数は、平年比やや多い～多いで推移した。		発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
ナス(夏秋)	176ha	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	176ha	5～6月は発生を認めなかったが、7～9月にやや多～多発生を認めた(発生ほ場率：7月28.6%、8月28.6%、9月100%)。本年の発生量は、平年比やや多～多で推移した。	8月は、概ね晴れた日が多く、高温乾燥となったため、本病が多発した。 また、毎年このことであるが、8～9月は高温及び台風のため、防除作業、剪定作業が進まず、本病の発生を助長したと考えられる。	薬剤に対する感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		
		アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	176ha	7～8月は発生を認めなかったが、5～6月及び8～9月に少発生を認めた(発生ほ場率：5月100.0%、6月57.1%、8月8.0%、9月28.6%)。本年の発生量は、平年比やや少～平年並で推移した。	5～6月中旬の晴天で、高温となり、発生ほ場率が高くなった。	定植時の粒剤施用。 薬剤散布。 ソルゴ一障壁の導入。
		ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや多	126ha	概ね、少発生を認めた(8月に基発生1ほ場、発生ほ場率：5月0.0%、6月28.6%、7月28.6%、8月71.4%、9月14.3%)。5～9月の発生量は、概ね平年比少ないで推移した。ナミハダニとカンザワハダニが発生していた。	5～7月は高温で発生が増加、8～9月は台風による降雨で発生が抑制されたと考えられた。	効果の高い薬剤による初期防除。 感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要(注1)	発生要因の解析	防除の概要(注2)
ナス(夏秋)		アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	120ha	概ね、少～中発生を認めた(8月に多～甚発生51ほ場、発生ほ場率：5月60.0%、6月100.0%、7月85.7%、8月100.0%、9月85.7%)。5月の発生量は平年比やや多く、6～7月はやや少なく、8月は多く、9月は平年並で推移した。主にヒラスハナアザミウマが発生していた。	5月は高温で発生が増加、8～9月台風によるは降雨で発生が抑制されたと考えられた。	定植時における粒剤施用。 薬剤散布。
キュウリ(夏秋)	120ha	ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	ほ場の見取り調査では、発生を認めなかった。当所のフェロモントラップでの5～9月の誘殺数は、平年比やや多いで推移した。		
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	40ha	5、8月は発生を認めず、6月には一部のほ場で甚発生(発生ほ場率：25.0%)を、7月には少発生(発生ほ場率：40.0%)を認めた。6～7月の発生量は概ね平年並～平年比やや少いで推移した。	7月上旬の多雨により発病が助長されたと考えられた。	発生初期からの薬剤散布。
		炭そ病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	72ha	7月に、一部のほ場で多発生を認めた(発生ほ場率：60.0%、平年比やや多い)。	7月上旬の多雨により発病が助長されたと考えられた。	発生初期からの薬剤散布。
		うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	16ha	7月に、少発生を認めた(発生ほ場率：100.0%、平年並)。		発生初期からの薬剤散布。
		褐斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	32ha	5月に、少発生を認めた(発生ほ場率：25.0%)。		発生初期からの薬剤散布。
		斑点細菌病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：並	90ha	5～7月に一部ほ場で甚発生を認めた(発生ほ場率：5月75.0%、6月25.0%、7月50.0%)	定植後から5月上旬の降雨で発病が助長されたと考えられた。	
		モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	0ha	発生を認めなかった(平年並)		定植時の粒剤施用。 一部ほ場では弱毒ウイルス接種苗を利用。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	57ha	5～7月に、少発生を認めた(発生ほ場率：5月75.0%、6月50.0%、7月40.0%)。5月、5月の発生量は平年並、6～7月は平年比やや多いで推移した。	5～6月中旬の晴天で、高温となり、発生が増加した。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	32ha	5～7月に、少発生を認めた(発生ほ場率：5月75.0%、6月50.0%、7月40.0%)。本年の発生量は、概ね平年並～平年比やや多いで推移した。	5～6月中旬の晴天で、高温となり、発生が増加した。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	120ha	5～7月に、中～甚発生を認めた(発生ほ場率：5、6月100.0%、7月60.0%)。5月の発生量は平年比やや多く、6月は平年並、7月は平年比多くで推移した。		定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		コナジラミ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	16ha	5～8月は発生を認めなかった。8月に、少発生を認めた(発生ほ場率：50.0%)。8月の発生量は平年比やや少ないで推移した。		定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除
ダイコン	242ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	173ha	9～10月に、少～多発生を認めた(発生ほ場率：9月16.7%、10月71.4%)。発生量は概ね平年比やや少～多いで推移した。		は種時の粒剤使用。 発生初期の薬剤防除。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	35ha	9月の調査では発生を認めなかった(平年並)が、10月は平年並みの発生を認め71(発生ほ場率：10月14.3%)。当所のフェロモントラップでの誘殺数は平年比やや多いで推移した。		
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	97ha	9月の調査では、発生を認めなかった(平年並)が、10月はやや多い発生を認め71(発生ほ場率：10月14.3%、平年比やや多い)。 当所のフェロモントラップ、予察灯60Wでの誘殺数は概ね平年並～やや多いで推移した。		発生初期の薬剤防除。
キャベツ(春)	139ha	菌核病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	28ha	5月に、中発生を認めた(発生ほ場率：20.0%、平年比多い)。	4月中下旬の多雨により、本病に感染したと考えられた。	発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	28ha	5月に、中発生を認めた(発生ほ場率：20.0%、平年比やや多い)。	5月中旬の高温及び降雨により、発病が助長されたと考えられた。	発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	47ha	5月に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：20.0%、平年比やや少ない)。		他害虫との同時防除。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	139ha	4月にやや多発生、5月にやや少発生を認めた(発生ほ場率：4月100.0%、5月60.0%)。3～4月の発生量は平年並～やや多い、5月はやや少ない発生で推移した。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要(注1)	発生要因の解析	防除の概要(注2)
キャベツ(春)		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	54ha	4～5月に、やや多～多発生を認めた(4月：発生ほ場率：100.0%、5月100.0%)。当所のフェロモントラップでの春季の誘殺数は、平年並～やや多いで推移した。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	28ha	5月に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：20.0%、平年並)。	5月の高温で発生が増加したと考えられた。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
		菌核病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	0ha	9～10月の調査では、発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：並	77ha	9月の調査では発生を認めなかった(平年並)が、10月は平年比多い発生を認めた(発生ほ場率：10月75.0%)。		発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	51ha	9月の調査では平年比多い発生であったが、10月の調査では平年並の発生となった(発生ほ場率：50.0%)。		他害虫との同時防除。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：並	51ha	9～10月の調査で、多発生を認めた(発生ほ場率：9月100.0%、10月50.0%、概ね平年比多い)。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多い 前年：並	26ha	9～10月の調査で、少発生を認めた(発生ほ場率：25.0%)。発生量は概ね平年比やや多い～多い推移した。当所のフェロモントラップ、予察灯60Wでの誘殺数は概ね平年並で推移した。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	9月の調査で少発生を認めた(発生ほ場率：25.0%)が、10月は発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
		さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	13ha	6～9月の調査(小株)では、発生を認めなかった(平年並)。(大株)の調査では、4、6月に発生を認めた(発生ほ場率：4月20.0%、6月14.3%) ※ [小株：概ね葉長40cm以下のネギ 大株：概ね葉長40cm以上のネギ		発生初期の薬剤防除。
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	8ha	調査(小株)では、発生を認めなかった(平年並)。 (大株)の調査では、発生を認めた。		発生初期の薬剤防除。
ネギ(夏)	65ha	べと病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	22ha	5月の調査(大株)で、発生を認めた(発生ほ場率：5月33.3%)。	4月中旬～5月上旬の降雨により、発病が助長されたと考えられた。	発生初期の薬剤防除。
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	65ha	4～8、9月の調査(小株)で、発生を認めた(発生ほ場率：4月25.0%、5月88.9%、6月100.0%、7月50.0%、9月16.7%)。 大株の調査では、4～8月に発生を認めた(発生ほ場率：4月40.0%、5月88.9%、6月85.7%、7月100.0%、8月25.0%)。	南丹市以南の地域では本病を媒介するネギアザミウマの産卵(産卵性)系統が優占し、産卵性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、このことが本病の発生を助長する一要因と推察された。本病の第一感染源であるタマネギに隣接するほ場ほど発生が早く、また発生量も多くなる傾向が認められた。	媒介虫であるネギアザミウマの防除(産卵性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。 産卵性系統の伝染源と考慮されるタマネギでのネギアザミウマの防除の徹底。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	17ha	4、9月の調査(小株)で、少発生を認めた(発生ほ場率：4月25.0%、9月16.7%)。4～9月は概ね平年並で推移した。		発生初期の薬剤防除。
		シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	49ha	8、9月の調査(小株)で、少～中発生を認めた(発生ほ場率：8月50.0%、9月33.3%)。 大株の調査では、8～9月に発生を認めた(発生ほ場率：8月50.0%、9月75.0%)。		発生初期の薬剤防除。 発生初期の薬剤防除。
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	43ha	4～5月、7～9月の調査(小株)で、少発生を認めた(発生ほ場率：4月25.0%、5月66.7%、7月25.0%、8月50.0%、9月50.0%)。本年の発生量は、平年比少で推移した。 山城地域の一部で中発生ほ場を認めた。		発生初期の薬剤防除。
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	65ha	4～9月の調査(小株)で、概ね少～中発生を認めた(発生ほ場率：7月75.0%、4～6、8～9月100.0%)。本年の発生量は、概ね平年並～やや多いで推移した。	南丹市以南の地域では産卵性系統が優占し、産卵性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、本種による被害が多い一要因と推察された。	発生初期の薬剤防除(産卵性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。

農作物名	作付面積	病虫害名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要(注1)	発生要因の解析	防除の概要(注2)
ネギ(秋冬)	187ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。 ※ [小株：概ね葉長40cm以下のネギ 大株：概ね葉長40cm以上のネギ		発生初期の薬剤防除。
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	10月の調査(大株)では、発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除。
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	10月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。 南丹市以南の地域では本病を媒介するネギアザミウマの産卵性系統が優占し、産卵性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、このことが本病の発生を助長する一要因と推察された。 本病の第一感染源であるタマネギに隣接するほ場ほど発生が早く、また発生量も多くなる傾向が認められた。		媒介虫であるネギアザミウマの防除(産卵性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：並	75ha	10月の調査(小株)では、少発生であった(発生ほ場率：100%)。		発生初期の薬剤防除。
		シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	34ha	10月の調査(小株)では、発生を認めなかった(平年並)。 10月の調査(大株)では、少発生を認めた(発生ほ場率：20.0%)。		発生初期の薬剤防除。
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	187ha	10月の調査(小株)で、少発生を認めた(発生ほ場率：100.0%) 10月の調査(大株)で、一部ほ場で多発生を認めた(発生ほ場率：80.0%)		発生初期の薬剤防除。
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	145ha	10月の調査(小株)で、中発生を認めた(発生ほ場率：100.0%)。 10月の調査(大株)で、一部ほ場で中発生を認めた(発生ほ場率：80.0%)		発生初期の薬剤防除(産卵性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、本種による被害が多い一要因と推察された)。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	82ha	4～5月の調査で、やや多～少発生を認めた(発生ほ場率：4月100.0%、5月33.0%)。		他害虫との同時防除
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4～5月の調査では発生を認めなかった(平年並)。		他害虫との同時防除

II 重要病害虫侵入警戒調査等の実施

(I) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

1 事業実施地区の概況

調査対象 病害虫	市町村	主要規制植物の栽培状況							
		カンキツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウリ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	—	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	—	96	33	43	15	23	14	224
火傷病	京丹後市		96						96

2 実施状況及び結果

項目	調査概要	調査結果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査ナシ園3か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

(II) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメにおいて、国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)によるウメ輪紋病の発生が確認された。

本ウイルスはアブラムシ類が媒介し、サクラ属のウメ、モモ、スモモ等の果樹が感染、発病する。発病樹は葉や花卉、外果皮に斑紋が現れるとともに、早期落果により収穫量が減少する。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するため、全国調査が実施された。

平成21年以降も毎年、全国的な調査が行われており、本府においてもウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域 平成30年5月 8日：福知山市、綾部市、舞鶴市
平成30年5月 9日：京丹後市
平成30年5月10日：城陽市
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所
- 4) 調査方法 ①調査園及び周辺園を見取り調査。
②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。
- 5) 調査結果 ①発病を認めなかった。

②LAMP法による検定で、全て陰性であった。

種 類	調査地域数	調査園数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウ メ	10	10	250	0
モ モ	7	7	175	0
合 計	17	17	425	0

(Ⅲ) キウイフルーツかいよう病発生状況調査

平成26年5月に、国内の複数のキウイフルーツ生産県において、かいよう症状を呈した発病樹から国内で発生報告がなかったキウイフルーツかいよう病菌の新系統（Psa3）が確認された。

本系統の発病樹は、花蕾の褐変、腐敗や枝幹の枯死等の収穫量の減少に直結する被害をもたらし、国内のキウイフルーツ産業への影響が危惧されている。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するために緊急全国調査が実施され、本府においても調査を行った。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 キウイフルーツ
- 2) 調査日時・地域 平成30年5月 9日：宮津市 2園
平成30年5月10日：亀岡市 1園
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府
- 4) 調査方法 調査園を見取り調査。
- 5) 調査結果 発病を認めなかった。

(Ⅳ) 輸出植物検疫協議の迅速化委託事業に係る調査

全国調査に参画し、果樹病虫害の調査を実施した。

輸出相手国が侵入を警戒する病虫害について、発生の有無を調査し、各調査対象病虫害の府内における発生状況を評価した。

今年度は以下のとおり調査を行い、モモシンクイガ、モモノゴマダラノメイガ及びナシヒメシンクイの発生を確認した。

害虫名 \ 項目	調査作物	調査方法	調査時期
モモシンクイガ	ナシ	フェロモントラップ調査	5月～10月
モモノゴマダラノメイガ	ナシ、カキ、クリ	フェロモントラップ調査	5月～10月
ナシヒメシンクイ	ナシ、カキ	フェロモントラップ調査	5月～10月
ミカンバエ	カンキツ	落果果実の切開調査	10月、11月
カンキツかいよう病	カンキツ	見取り調査（葉、果実）	10月、11月
リンゴコシンクイ	リンゴ	フェロモントラップ調査	7月～10月
ナシマダラメイガ	ナシ	フェロモントラップ調査 見取り調査（果実）	6月～10月 5月
ブドウホソハマキ	ブドウ	見取り調査（果房）	6月
スモモヒメシンクイ	リンゴ	フェロモントラップ調査	7月～10月
オウトウショウジョウバエ	ブルーベリー	無防除園果実採取調査	7月、8月

Ⅲ 調査・試験の結果

単年度試験研究成績(2019年3月作成)

近畿中国四国農業>病害虫> >虫害>Ⅳ-12-f

実施課題名：難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立

(1)各種有色ネットに対するハモグリミドリヒメコバチの行動反応特性の解明

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、農業・食品産業技術総合研究機構、京都農技セ・農林セ・園芸部

予算(期間)：SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(2018年度)

1. 目的

ネギ、トウガラシ類などの野菜生産現場では、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫が多発し、生産物の品質低下などの被害が生じている。また、アザミウマ類、コナジラミ類では殺虫剤感受性の低下が報告され、殺虫剤のみに頼った防除には限界が生じており、化学殺虫剤に頼らない物理的防除法や生物的防除法の開発が求められている。物理的防除法の一つとして期待される赤色防虫ネットは、これまでにネギアザミウマ及びミナミキイロアザミウマに対する防除効果が報告されているが、そのメカニズムや他の微小害虫に対する防除効果については明らかにされていない。そこで、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫を対象に、様々な色及び目合いの防虫ネットに対する行動反応特性について明らかにする。ここでは、ハモグリバエ類の土着捕食寄生バチとして知られている、ハモグリミドリヒメコバチの赤色系防虫ネットに対する行動反応特性について明らかにする。

2. 方法

(1) 供試虫：ハモグリミドリヒメコバチ(アリストライフサイエンス株式会社から購入した系統)

(2) 供試防虫ネット：0.8mm目合い赤赤、赤黒及び白ネット

(3) 実験場所：京都府農林水産技術センター農林センター内昆虫実験室(25℃15L9D)

(4) 実験方法

各種防虫ネットで覆った三角フラスコにトマトハモグリバエ2齢幼虫を寄生させた初生葉のみを残したインゲンマメ(品種：つるなしプラス菜豆)の苗を、プラスチック製飼育ケージ(幅304mm×奥行250mm×高さ280mm;ツマグロヨコバイ類大量飼育箱)へ入れ、ハモグリミドリヒメコバチの雌成虫を5匹放飼し、25℃長日条件下(15L9D)に設定した恒温器内に設置した。放飼48時間後にインゲンマメの苗を取り出し、葉を切り取り、アイスクリームカップの中へ入れて、25℃長日条件下(15L9D)に設定した恒温器内で飼育した。約2週間後に羽化したトマトハモグリバエおよびハモグリミドリヒメコバチの成虫をそれぞれ数え、羽化した寄生バチ成虫数を羽化した全ての成虫数で除すことにより見かけの寄生率を求めた。反復は6~7とした。

3. 結果の概要

(1) 赤黒ネットは白ネットに比べて有意に低い寄生率を示し、赤赤ネットも白ネットに比べて有意差はないが、低い寄生率を示し(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定、 $p < 0.01$) (図)、赤色系防虫ネットはハモグリミドリヒメコバチに対して影響があると考えられた。

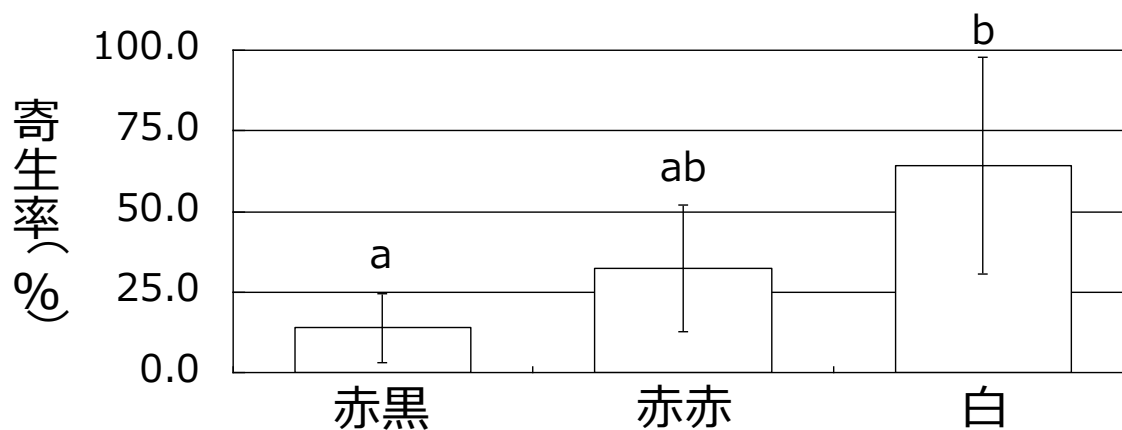


図 各種防虫ネットにおけるハモグリミドリヒメコバチの寄生率 (%)

※異なる文字間で有意差あり (逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定, $p < 0.01$)

※※寄生率: 羽化寄生バチ成虫数 / (羽化寄生バチ成虫数 + 羽化ハモグリバエ成虫) × 100

4. 結果の要約

赤黒、赤赤及び白色の防虫ネット下におけるハモグリミドリヒメコバチのトマトハモグリバエ2齢幼虫に対する寄生への影響を調べた結果、赤黒ネットでは白ネットに比べて有意に低い寄生率を示し、赤赤ネットも白ネットに比べて有意差はないが、低い寄生率を示した。

[キーワード]ハモグリミドリヒメコバチ、トマトハモグリバエ、赤、防虫ネット、寄生率

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6. 結果の発表、活用等

特になし

実施課題名：ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立

(1) ネギえそ条斑病・ネギアザミウマの地理的分布調査

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：岩川秀行・徳丸 晋・橋本典久・久下一彦・浅井信一

協力分担：生資セ、府内各農業改良普及センター、JA京都中央、JA京都やましろ

予算(期間)：消費安全対策交付金(2018年度)

1. 目的

平成26年6月に府内で初めて、*Iris yellow spot virus* (IYSV：アイリス黄斑ウイルス)によるネギえそ条斑病の発生を確認した。本病は多発すると収穫調製作業の負担増や栽培意欲の低下、さらには収穫放棄に繋がるなど発生地域では大きな問題となっている。病原ウイルスはネギアザミウマにより媒介されるが、府内のネギ栽培(干しネギ等)における伝染環をはじめとした本病の発生生態は不明な点が多い。

そこで、府内各地域のネギほ場において初夏、秋期及び早春にネギえそ条斑病の発病状況及びネギアザミウマによる被害程度を調査し、府内における地理的分布を把握する。

2. 方法

(1) 調査場所：府内全域のネギ栽培ほ場

(2) 調査時期：平成30年5月28日～6月11日(6月期)、10月5日～11日(10月期)、
平成31年2月6日～7日(2月期、山城地域のみ)

(3) 調査ほ場数

6月：山城 16ほ場、丹波 7ほ場、丹後 5ほ場

10月：山城 16ほ場、丹波 4ほ場、丹後 5ほ場

2月：山城 13ほ場

(4) 調査方法

各ネギほ場において任意の25株を選定し、ネギえそ条斑の有無(えそ条斑がある場合は発病葉数)及びネギアザミウマによる被害を程度別に調査した。

なお、えそ条斑を認めた場合は、DAS-ELISA法によりIYSV感染の有無を確認した。

3. 結果の概要

(1) ネギえそ条斑病の発生は南丹市八木町以南の地域で認めた一方、同市美山町以北の地域では認められなかった(図1)。

(2) ネギえそ条斑病の発生は山城地域で最も多く、次いで丹波地域であった。また、山城地域及び丹波地域で6月に発生したが、いずれの地域においても10月には発生を認めなかった。また、山城地域における2月の調査でもネギえそ条斑病の発生を認められなかった(図2)。

(3) ネギアザミウマによる平均被害度は、6月は山城地域で高く、丹波地域及び丹後地域では山城地域の2分の1程度であった。10月の被害度は、山城地域で高く、次いで丹波地域、丹後地域と低くなった(図3)。季節間では、山城地域の被害は6月>10月>2月となり、丹後地域でも同様に6月>10月であったが、丹波地域では10月>6月となった。

(4) ネギアザミウマによる被害度の構成比は、6月は山城で被害度51以上の高いほ場が認められ、10月は山城及び丹後で被害度26以上のほ場が見られた。また、6月の山城地域及び6月と10月の丹波地域では調査ほ場の全てで被害を認めた(図4)。

(5) 山城地域における2月の調査では、13ほ場中11ほ場(84.6%)でネギアザミウマによる被害を確認した(図3、図4)。

(6) 以上の結果から、本年の府内ネギえそ条斑病の発生地域は、南丹市八木町以南の京都府南部

であった。また、6月には府南部の広範囲で本病発生を確認したが、10月以降は府内全ての地域で発生が見られなかった。一方、ネギアザミウマの被害は、いずれの調査時期にも一定程度見られた。また、平成28年度及び平成29年度の調査でも発生地域は本年同様の結果であったことから（データ略）、京都府のネギえそ条斑病は京都府南部でのみ発生していると考えられた。



図1 京都府におけるネギえそ条斑病の発生状況
 ※○及び▽については本年は該当地点無し

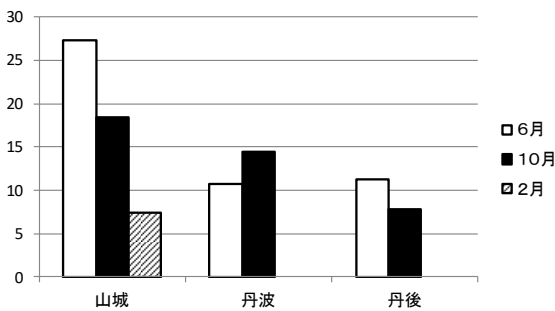


図3 各地域におけるネギアザミウマの平均被害度

※被害度は、調査株の被害業率(%)をA:51~100、B:31~50、C:11~30、D:1~10、E:0に分類し、 $(A \times 4 + B \times 3 + C \times 2 + D \times 1) \times 25 = \text{被害度}$ として算出した。

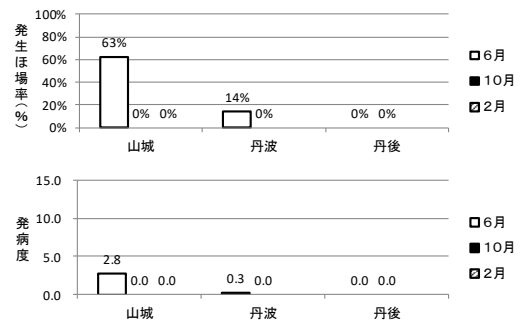


図2 各地域におけるネギえそ条斑病の発生ほ場率及び平均発病度

※発病度は、調査株の発病業率(%)をA:51~100、B:31~50、C:11~30、D:1~10、E:0に分類し、 $(A \times 4 + B \times 3 + C \times 2 + D \times 1) \times 25 = \text{発病度}$ として算出した。

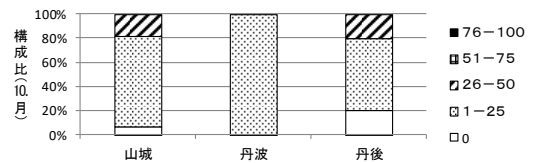
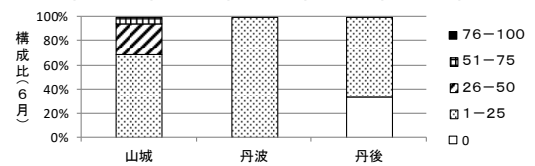


図4 各地域におけるネギアザミウマによる被害度の構成比

※被害度は、調査株の被害業率(%)をA:51~100、B:31~50、C:11~30、D:1~10、E:0に分類し、 $(A \times 4 + B \times 3 + C \times 2 + D \times 1) \times 25 = \text{被害度}$ として算出した。

4. 結果の要約

府内ネギえそ条斑病の発生地域は、南丹市八木町以南の京都府南部であった。また、6月には府南部の広範囲で本病発生を確認したが、10月には府内全ての地域で発生が見られなかった。一方、ネギアザミウマの被害は、いずれの調査時期にも一定程度見られた。

京都府のネギえそ条斑病は、露地における周年栽培がある地域に発生していると考えられた。

[キーワード]ネギえそ条斑病、IYSV、ネギアザミウマ、地理的分布、京都府

5. 今後の問題点と次年度以降の計画 特に無し。

6. 結果の発表、活用等

平成30年度近畿中国四国農業研究推進会議病害虫推進部会問題別研究会病害分科会で報告

実施課題名：新病害ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立
(2)京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布調査
担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部
担当者名：徳丸 晋・久下一彦・浅井信一・岩川秀行
協力分担：宇都宮大学、香川県農政水産部農業試験場、府内各農業改良普及センター
予算(期間)：消費安全対策交付金(2018年度)

1. 目的

平成26年6月に府内の約9割(約270ha)のネギ産地でIris yellow spot virus (IYSV:アイルス黄斑ウイルス)による新病害ネギえそ条斑病が発生し、収穫放棄、出荷調整の負担増による生産意欲の低下などの影響が出ている。本病の病原ウイルスはネギアザミウマにより媒介されるが、府内のネギ栽培(干しネギ、切りネギ)やタマネギ栽培における伝染環を始めとした本病の発生生態は不明な点が多く、有効な防除体系は未確立である。そこで、京都府におけるネギえそ条斑病の発生生態について明らかにする。ここでは、本病の防除対策を構築するため本病を媒介するネギアザミウマの府内での生殖系統の地理的分布を明らかにする。

2. 方法

- (1) 調査場所：丹後、丹波および山城地域の現地ネギ及びタマネギほ場
- (2) 調査期間：平成30年5～10月までの期間中随時
- (3) 調査方法：各ほ場においてネギアザミウマの発生の有無を調べ、発生を認めた場合は、雌成虫を10～20頭程度、吸引ポンプにより採集した。採集した雌成虫は、実験室へ持ち帰り、22.5℃長日条件下(15時間明期、9時間暗期)で、芽出したソラマメ(柴尾, 2013)を餌にして、一頭飼育法(Sogo et al., 2015; Aizawa et al., 2016)により飼育した。次世代で雄成虫を確認した場合は、生殖系統を産雄性生殖系統と判定し、雌成虫を確認した場合は、さらに一頭飼育法により次々世代まで飼育を継続し、次々世代の羽化成虫により生殖系統を判別した(Aizawa et al., 2016)。供試虫数は15頭とした。

3. 結果の概要

- (1) 府内9地点から採集したネギアザミウマの生殖系統を調べた結果、6地点で産雄性生殖系統を確認した(図1)。
- (2) 山城地域では、産雄性生殖系統が優占し、中丹以北では産雌性生殖系統のみ確認した(図1)。

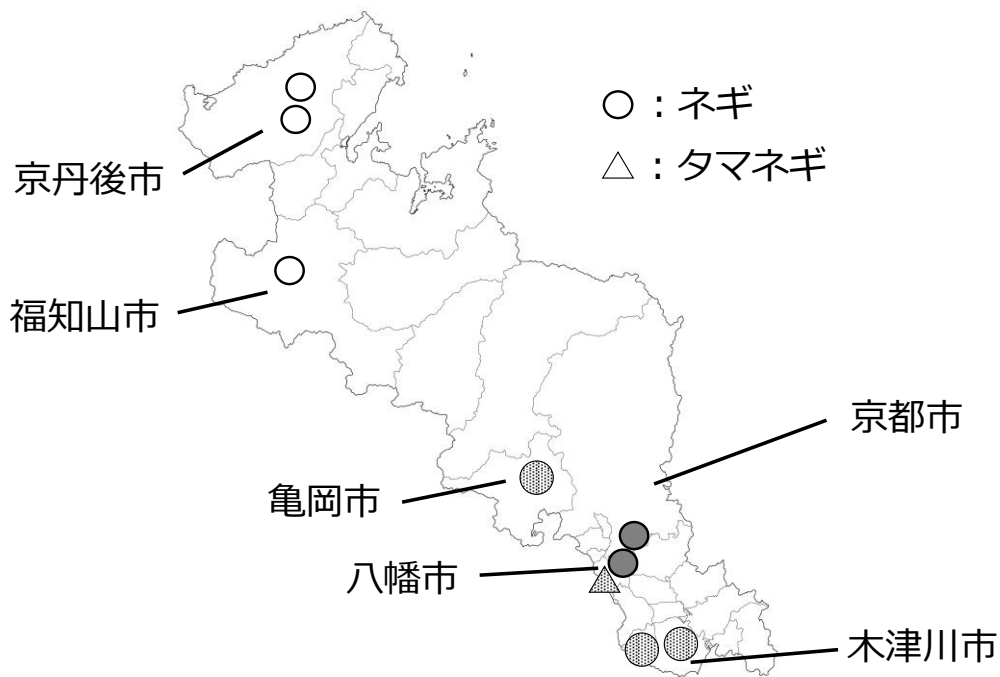


図 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統（2018年）

4. 結果の要約

府内のネギ及びタマネギほ場におけるネギアザミウマの生殖系統を一頭飼育法により調べた結果、府内 9 地点のうち 6 地点で産雄性生殖系統を確認し、山城地域では、産雄性生殖系統が優占した。

[キーワード]ネギアザミウマ、産雄性単為生殖、産雌性単為生殖、生殖系統、京都府

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- (1) 両系統の生物学的特性の解明。

6. 結果の発表、活用等

- (1) 特になし

実施課題名：農作物の病害虫に関する現地対策調査
(1)シロイチモジヨトウの殺虫剤感受性
担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部
担当者名：徳丸 晋・久下一彦・浅井信一・岩川秀行
協力分担：
予算(期間)：消費安全対策交付金(2018年度)

1. 目的

シロイチモジヨトウ *Spodoptera exigua* (Hübner)は、主にテンサイやワタを加害する難防除害虫である(堀切, 1986)。京都府では、1983年頃からネギで多発したが(吉安ら, 1995)、1995年頃から本種に対して、合成性フェロモン剤を用いた防除が広域的におこなわれたため、本種の発生は1990年代後期からはほとんど見られなくなった。しかし、2016年7月頃から本種の発生を再びネギで確認し、一部は場では多発した。本種が再び多発した原因の一つとして、本種の殺虫剤感受性の低下が考えられる。そこで、京都府におけるシロイチモジヨトウ3齢幼虫の殺虫剤感受性について、キャベツ葉片浸漬法(広瀬, 1997)により調べる。

2. 方法

(1)供試虫：2018年10月に京都府内の露地栽培ネギおよびキャベツから採集した個体の2世代目の3齢幼虫を用いた。シロイチモジヨトウの累代飼育は、25°C、長日条件(15L9D)に設定した恒温室内において、広瀬(1997)を参考に、人工飼料(商品名：インセクタ LFS)を餌に用いておこなった。採集地点、採集日及び寄主植物は表1のとおり。

表1 供試したシロイチモジヨトウの起源

採集地点	採集日	寄主植物
京丹後市弥栄町	2018年10月9日	キャベツ
亀岡市余部町	2018年10月4日	ネギ
久御山町中島	2018年10月11日	ネギ
八幡市内里	2018年10月4日	ネギ

(2)供試薬剤

表2のとおり。

(3)試験方法

試験は、キャベツ葉片浸漬法(広瀬, 1997)によりおこなった。

キャベツの葉を正方形(5×5cm)に切り、各殺虫剤(それぞれ5濃度を設定)の溶液に10秒間浸漬処理した。風乾後、キャベツの葉はプラスチック製アイスクリームカップに入れ、カップ内にはシロイチモジヨトウの3齢幼虫を1匹放飼した。プロビット法により処理5日後(ただし、フルベンジアミド水和剤、シアントラニリプロール水和剤及びクロラントラニリプロール水和剤は8日後)のLC₅₀値を算出した。

3. 結果の概要

(1)処理5もしくは8日後のLC₅₀値を算出した結果、フルベンジアミド水和剤は129.4~752.1ppm、シアントラニリプロール水和剤は2.8~14.4ppm、クロラントラニリプロール水和剤は23.6ppm、スピネトラム水和剤は0.6~1.3ppm、クロルフェナピルは0.7~3.4ppm、ピリダリル水和剤は27.7~63.4ppmとなり、殺虫剤の種類及び地域により殺虫剤感受性は異なったが、地域間のLC₅₀は、フルベンジアミド水和剤の久御山個体群を除いて大きな差は見られなかった(以上、表2)。

表2 各種殺虫剤に浸漬処理したキャベツ葉をシロイチモジヨトウ3齢幼虫に与えた時の感受性

殺虫剤名	LC ₅₀ (ppm AI)			
	京丹後市	亀岡市	久御山町	八幡市
フルベンジアミド	130.5	129.4	752.1	129.4
シアントラニリプロール	14.4	4.8	9.5	2.8
クロラントラニリプロール	23.6	—	—	—
スピネトラム	1.3	0.6	1.0	—
クロルフェナピル	0.7	—	3.4	—
ピリダリル	27.7	—	63.4	—

—: 未実施

4. 結果の要約

シロイチモジヨトウ3齢幼虫の6種類の殺虫剤に対する殺虫効果についてキャベツ葉片浸漬法により調べた結果、殺虫剤の種類及び地域により殺虫剤感受性は異なった。

[キーワード]シロイチモジヨトウ、殺虫剤感受性、葉片浸漬法、LC₅₀、ネギ

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6. 結果の発表、活用等

- (1) 徳丸 晋 (2019) 京都府におけるシロイチモジヨトウの薬剤殺虫効果. 平成 30 年度近畿中国四国農業試験研究推進会議問題別研究会.

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(2) 丹後地域のナシ園におけるシンクイムシ類のフェロモントラップによる発生活長調査

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：浅井 信一

協力分担：京都丹後普及セ

予算(期間)：輸出植物検疫協議の迅速化委託事業(2017～2018年度)

1. 目的

丹後地域の特産であるナシは、平成29年から台湾等への輸出が始まっている。さらなる輸出拡大に向けて、丹後国営開発農地において輸出相手国が特に侵入を警戒するシンクイムシ類3種の発生活長を性フェロモントラップで調査し、検疫条件を満たすための防除資料とする。

2. 方法

(1) 調査虫種：モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、モモノゴマダラノメイガ

(2) 調査方法：粘着式SEトラップ(サンケイ化学(株)製)の中央に性フェロモンルアーを取り付け、ナシ園の地上高約1.7mに設置し、概ね1週間毎に誘殺数を調査した。

(3) 調査場所：京丹後市内のナシ園のある国営開発農地3団地(A、B、C)。

(いずれの団地も山を切り開いて造成され、団地間は数キロ離れている)。

各団地周辺の果樹園について

A団地：昔からのナシ、モモ、ブドウ、カキ等の果樹園が周辺にある。

B団地：昔からの果樹栽培地域であるが、周辺の果樹園は少なくなっている。

C団地：周囲にほとんど果樹園がない。

(4) 調査期間

2018年5月10日～10月30日(B団地のモモノゴマダラノメイガのみ6月13日開始)

3. 結果の概要

(1) モモシンクイガの発生活長は、5月下旬から7月中旬まで越冬世代が誘殺され、8月下旬に第1世代の誘殺ピークが認められた。総誘殺数は、A団地、B団地、C団地の順となった(図の上)。本種幼虫は果実のみ寄生し、A団地では周辺にナシより着果の早いモモ等の果樹が多いため、誘殺数が多かったと考えられた。なお、本年のナシでの防除適期は、第1世代成虫産卵期の8月上旬～9月上旬と考えられた。

(2) ナシヒメシンクイの発生活長は、6月中旬に第1世代の誘殺ピークが認められ、第2世代はほとんど誘殺されず、第3、第4世代の誘殺ピークが認められた。総誘殺数は、団地間で有意差はなかった(図の中)。越冬世代については調査開始前に誘殺ピークがあったと考えられ、第2世代については、A団地で2011及び2012年に同様の調査を行い、どちらも7月に誘殺が多数認められた(データ省略)ことから、本年は7月上旬の記録的大雨の影響で誘殺が少なくなったと考えられた。また、総誘殺数がいずれの団地でも800～900頭あったのは、本種幼虫が当初バラ科樹木の新梢を食害するため、団地周辺にモモ等がなくても早くから発生可能なためと考えられた。なお、本年のナシでの防除適期は、第2世代の誘殺がほとんどなかったことから、第3世代成虫以降の産卵時期の7月下旬～9月下旬と考えられた。

(3) モモノゴマダラノメイガの発生活長は、6月中旬に越冬世代の誘殺ピークがあり、以降は8月中旬から10月まで長期にわたり誘殺され、総誘殺数はB及びA団地、次いでC団地の順となった(図の下)。8月中旬から10月までは第1世代と第2世代が重なって誘殺されていると考えられた。周辺の果樹園が少ないB団地で多かった理由は、本種幼虫がバラ科だけでなくクリやカキ等の果実にも寄生する広食性で、B団地では寄主となる自生樹が周辺に多くある可能性が考えられた。なお、本年のナシでの防除適期は、第1世代成虫以降の産卵時期の8月中旬～10月中旬と考えられた。

以上のことから、ナシが植栽されている丹後国営開発農地におけるシンクイムシ3種の発生活長は、モモシンクイガにおいては周辺にモモ等果実が多い団地で発生が多い傾向があり、ナシヒメシンクイにおいては周辺の果樹園の多少に関わらず発生する。モモノゴマダラノメイガについては周辺の果樹園だけでなく寄主種の自生樹の影響を受ける可能性が考えられた。シンクイムシそれぞれの防除適期については、フェロモントラップの誘殺状況から判断が可能であった。

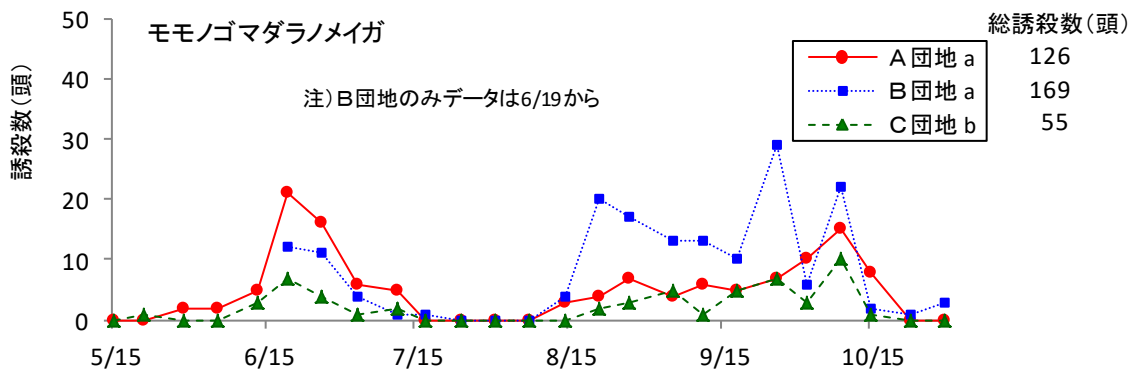
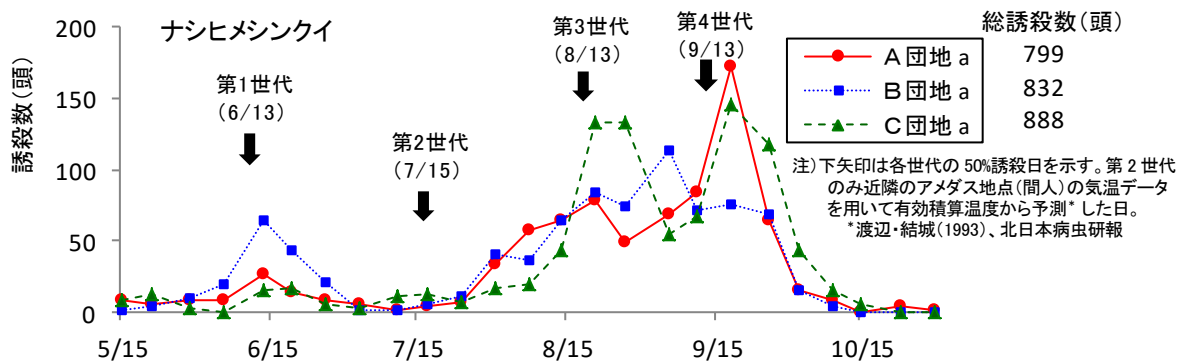
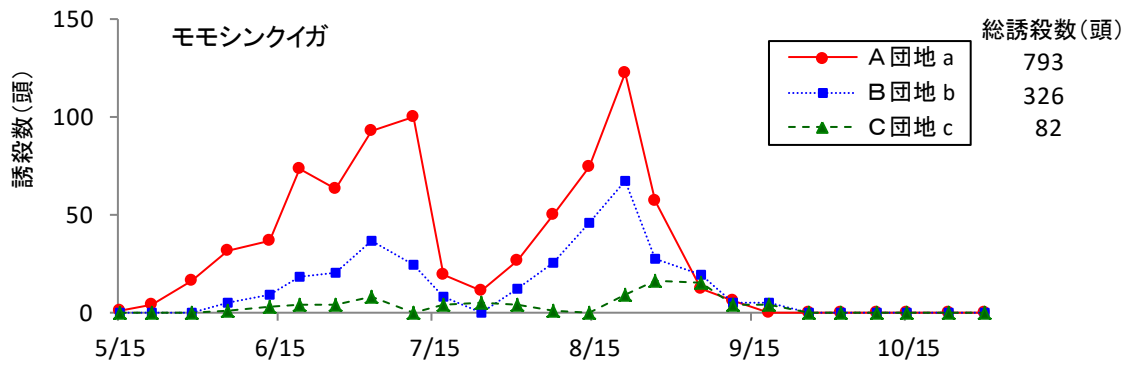


図 京都府丹後地域のナシ園でのフェロモントラップによるシンクイムシ類3種の発生消長

注) 凡例にある異なる英小文字 (a, b, c) については、平方根変換 [$\sqrt{(x+0.5)}$] 後の Holm 法で、団地間の誘殺数に $p < 0.01$ で有意差あり

4. 結果の要約

ナシ植栽の丹後国営開発農地において、モモシクイガは周辺にモモ等が多い団地で発生が多く、ナシヒメシクイは周辺の果樹の多少に関わらず発生し、モモノゴマダラノメイガは周辺の寄主自生樹の影響を受ける可能性がある。防除適期については、フェロモントラップの誘殺状況から判断できた。

[キーワード] フェロモントラップ、ナシ、輸出、検疫、シンクイムシ、モモシクイガ

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6. 結果の発表、活用等

平成30年度農林センター試験研究報告会でポスター発表

平成30年度近畿中国四国農業試験研究推進会議病害虫推進部会虫害分科会で口頭発表

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 国の行う緊急防除（法第17条）への協力 | 本年度該当なし |
| 2 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| 3 府の行う防除（法第29条）の指導等 | 本年度該当なし |

V 情報提供サービスの実施

(I) 情報提供の概要

1 病害虫防除所ホームページ

1) 設置場所及びサービス開始時期

- (1) 設置場所：京都府のホームページ『おこしやす京都』
(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

- (2) サービス開始：平成10年4月

2) 情報の概要及び更新時期

- (1) 内 容：① 病害虫発生予察コーナー
② 病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）
③ 巡回調査結果
④ 水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果
⑤ 防除所ってナニ？
⑥ 病害虫ワクワクツアー
⑦ 家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）
- (2) 更新時期：毎月月下旬及び必要に応じて随時更新

(Ⅱ) 情報の内容と利用状況

1 病害虫防除所ホームページ (アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページの防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)

- ・宇治市、綾部市に設置しているチャノコカクモンハマキ、チャノホソガのフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置しているコナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ダイコン、カブの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果

- ・JPP-NET (日本植物防疫協会が運営する農作物の病害虫防除情報サービス) 内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

⑤防除所ってナニ?

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑦家庭菜園で見られる病害虫 (Web病害虫辞典)

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ (巡回調査結果、フェロモン誘殺数等)」のコンテンツでは、病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)、巡回調査結果、水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第1号	平成30年2月28日
	病害虫発生予報第2号	平成30年3月28日
	病害虫発生予報第3号	平成30年4月24日
	病害虫発生予報第4号	平成30年5月23日
	病害虫発生予報第5号	平成30年6月20日
	病害虫発生予報第6号	平成30年7月25日
	病害虫発生予報第7号	平成30年8月23日
	病害虫発生予報第8号	平成30年9月20日
	病害虫発生予報第9号	平成30年10月24日
注意報	発生予察注意報第1号：ネギ、タマネギ：べと病	平成30年4月26日
	発生予察注意報第2号：水稻：斑点米カメムシ類	平成30年7月31日
	発生予察注意報第3号：ネギ：シロイチモジヨトウ	平成30年8月1日
	発生予察注意報第4号：ネギ：シロイチモジヨトウ	平成30年8月30日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号（クビアカツヤカミキリ情報）	平成30年5月17日
	防除所ニュース第2号（果樹カメムシ類情報）	平成30年5月23日
	防除所ニュース第3号（果樹カメムシ類情報）	平成30年9月21日
	防除所ニュース第4号（ネギハモグリバエ情報）	平成30年11月1日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	平成30年4月24日
5月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成30年5月23日
6月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成30年6月20日
7月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成30年7月25日
8月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成30年8月23日
9月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成30年9月20日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成30年10月24日

【その他】

種 類	更新月（更新回数）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	平成30年4月～10月 （7回）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	平成30年5月～10月 （6回）
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	平成30年6月～7月 （2回）
水稻いもち病発生予察システム(BLASTAM)の結果	

VI 病害虫調査協力員の活動状況

(I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

(II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月8日	①水稲の品種 ②水稲の苗、田植について ③いもち病の発生（補植用苗と本田） ④その他作物の目立つ病害虫	18
7月13日	①水稲の生育状況 ②葉いもちについて ③斑点米カメムシ類について ④その他作物の目立つ病害虫	14
8月16日	①水稲の生育状況 ②いもち病、紋枯病について ③斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④その他作物のイナゴ、ハダニ類の発生及び目立つ病害虫	17
9月14日	①水稲の生育状況 ②水稲の倒伏について ③穂いもちの発生状況 ④水稲での目立った病害虫 ⑤豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑥その他作物の目立つ病害虫	11
11月14日	①水稲について（1等米比率、斑点米の発生状況等） ②今年度地域で問題となった病害虫	13

(III) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 平成31年2月22日
- (2) 参加者 5名
- (3) 内 容 植物防疫セミナーのページ参照

VII 会議、講演・研修の実施等

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
クビアカツヤカミキリ対策会議	4月 6日	京都府庁
輸出植物検疫協議の迅速化事業検討会	5月15日	東京都
植物防疫・農薬関係業務担当者会議	5月25日	近畿農政局
病害虫の防除に直結する発生予察体制への転換委託事業検討会	7月 9日	東京都
丹後茶担当者会議	7月27日	丹後製茶工場
病害虫AIプロ事業中間検討会	8月 6～ 7日	富山県
水稲共済作柄調査	8月29～ 30日	南丹・中丹・丹後地域
S I P事業トマト地上部病害虫防除体系化グループ中間検討会	8月30～ 31日	東京都
全国病害虫防除所長会議	9月11日	農林水産省
水稲共済作柄調査	9月13日	山城地域
輸出植物検疫協議の迅速化事業中間検討会	10月24～ 25日	東京都
病害虫AIプロ事業合同中間検討会	11月12日	法政大学（小金井市）
ハイブリッド寒冷紗打合せ	11月13日	大阪市
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月21 ～22日	名古屋市
農業共済損害評価会	12月11日	京都平安ホテル
農薬展示圃成績検討会	12月19日	セントノーム京都
病害虫AIプロ事業年度末検討会	1月15～ 16日	鹿児島県
輸出植物検疫協議の迅速化委託事業年度末検討会	1月15～ 16日	東京都
病害虫の防除に直結する発生予察体制への転換委託事業年度末検討会	1月18日	東京都
日本植物防疫協会シンポジウム	1月22日	東京都
病害虫AIプロ事業年度末検討会	1月25日	東京都
丹後茶担当者会議	2月 1日	丹後総合庁舎
日本応用動物昆虫学会理事会	2月 2日	東京都
改正農薬取締法説明会・植物防疫担当者会議	2月 5日	農林センター

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
S I P 事業年度末検討会	2月18～ 19日	神奈川県
農業大学校プロジェクト研究発表会	2月20日	農業大学校
近畿ブロック病害虫防除所長会議	2月21日	神戸植物防疫所
S I P 事業平成30年度成績検討会・成果報告会	2月26～ 27日	東京都
関西病虫害研究会編集会議	3月 1日	滋賀県
平成30年度発生予察事業検討会	3月 5日	農林水産省
京都学園大学・農林水産技術センター研究交流会	3月 7日	京都学園大学
農薬現地適応性試験展示ほ試験設計検討会	3月19日	セントノーム京都

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所	講師等
シロイチモジヨトウ対策研修会	4月 6日	JA京都中央淀支店	徳丸主研
関西病虫害研究会第100回大会	5月18日	神戸市	徳丸主研 橋本主研
クビアカツヤカミキリ対策研修会	5月23日 5月24日	田辺総合庁舎 峰山総合庁舎	徳丸主研 徳丸主研
農業大学校1年生講義	5月25日 6月 4日 8月 3日 9月 5日 10月12日 11月26日 1月 8日	農業大学校	橋本主研 橋本主研 徳丸主研 徳丸主研 岩川主研・ 浅井専門幹 浅井専門幹 岩川主研
第1回植物防疫技術研修	6月28日	農林センター	久下専門幹 徳丸主研
第2回植物防疫技術研修	7月 5日	農林センター	久下専門幹 徳丸主研
第3回植物防疫技術研修	8月 2日	農林センター	久下専門幹 徳丸主研
第4回植物防疫技術研修	・10日 10月30日	農林センター	徳丸主研 徳丸主研
農学部入門ゼミ・専門ゼミ	6月29日	龍谷大学農学部	徳丸主研

講座・研修名及び講演タイトル	開催日	開催場所	講師等
営農指導員養成研修	8月 8日	セントノーム京都	岩川主研
農薬取扱講習会	8月29日	京都市	徳丸主研
第27回天敵利用研究会	11月19～ 20日	大阪市	徳丸主研
農業経営改善講習会	11月14日	京都工業会館	徳丸主研
丹後農業実践学舎講義	11月15日 12月 4日	丹後農業研究所	久下専門幹 久下専門幹
農薬レギュラトリーサイエンス研究会 シンポジウム	11月27日	東京都	徳丸主研
持続的農業研究セミナー2018	12月 4～ 6日	帯広市	徳丸主研
農薬適正使用に係る情報交換会	12月10日	京都テルサ	徳丸主研
農薬管理指導士養成研修会	1月24日	京都府庁	岩川主研
加工契約野菜の病害虫研修会	1月29日	JA京都丹後広域 営農センター	徳丸主研
特別植物防疫技術研修	2月22日	キャンパスプラザ 京都	徳丸主研
農作物病害虫セミナー	2月22日	キャンパスプラザ 京都	津田所長 岩川主研 久下専門幹 浅井専門幹 徳丸主研
西日本農業試験研究問題別研究会（病害虫分 科会）	3月 6～ 8日	福山市生涯学習プ ラザ（広島県）	岩川主研 浅井専門幹 徳丸主研
シロイチモジヨトウ防除対策検討会	3月12日	J A 京都中央本店	徳丸主研
第63回日本応用動物昆虫学会大会	3月25日 ～ 27日	筑波大学	徳丸主研

3 職員の研修、視察

月 日	研 修 名	主 催	開催場所	受講者
6月29日	クビアカツヤカミキリ研修会	近畿農政局	大阪府立環境農林水産総合研究所	浅井専門幹
8月 2日 ～ 3日	輸出検疫協議迅速化推進事業に関する害虫種の分類・同定研修会	農業環境変動研究センター	農業環境変動研究センター	岩川主研
12月 4日 ～ 7日	病虫害防除所職員等中央研修	農林水産省	農林水産省植物防疫所研修センター 他	浅井専門幹
12月13日	「イネ縞葉枯ウイルスを保毒するヒメトビウンカの簡易検定法に関する研修会」	中央農業研究センター	中央農業研究センター	浅井専門幹

Ⅷ 普及センター等との連携の推進

1 植物防疫セミナーの開催

環境にやさしい農業技術の普及拡大のため、近年、発生が目立つ病害虫、とくに野菜類などで問題となる害虫の知られざる生態と最新の防除技術について、植物防疫セミナーを開催した。

- ① 開催日 平成31年2月22日
- ② 参加者 242名（うち普及センター職員19名）
- ③ 内容
「害虫防除の最前線～野菜害虫の発生生態と防除対策」
ア アザミウマ類
イ ハモグリバエ類
ウ イモムシ類

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、研究普及ブランド課及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。30年度の書き込み件数は下表のとおりである。

月	農業改良普及センター							試験研究機関	計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後		
4月	0	1	0	2	1	2	2	1	9
5月	0	0	0	6	0	0	10	3	19
6月	0	9	0	3	0	1	0	3	16
7月	0	4	1	4	0	1	10	2	22
8月	0	6	0	9	1	0	24	0	40
9月	0	11	0	7	0	0	4	0	22
10月	0	7	2	3	0	2	14	2	30
11月	0	0	0	7	0	0	0	0	7
12～3月	0	0	0	0	0	0	0	3	3
計	0	38	3	41	2	6	64	14	168

参考資料

平成30(2018)年 半旬別気象表

平 年 値	最高・最低気温、降水量	…1981～2010年の平均値
	平均気温	…1993～2010年の平均値
	日照時間	…2005～2010年の平均値

京都府農林センター(亀岡市余部町)

月	半旬	最高気温(°C)		最低気温(°C)		平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	7.2	8.4	-1.5	-0.7	2.3	3.5	1.0	7.8	14.7	19.2	13%	76%	-1.2	-0.8
	2	8.7	8.5	-0.6	-0.9	3.8	3.2	9.0	6.3	15.0	17.8	143%	84%	0.2	0.3
	3	6.6	7.9	-5.0	-1.1	0.0	3.5	0.0	8.6	28.3	20.8	0%	136%	-1.3	-3.9
	4	12.8	8.4	1.4	-1.3	6.2	3.5	17.5	7.9	15.7	20.6	221%	76%	4.4	2.7
	5	5.0	7.1	-2.5	-1.4	0.7	2.6	5.5	9.5	16.6	14.6	58%	114%	-2.1	-1.1
	6	4.8	7.8	-4.1	-2.2	-0.1	2.7	0.5	11.0	18.9	23.5	5%	80%	-3.0	-1.9
	平均・計*	7.4	8.0	-2.1	-1.3	2.1	3.2	33.5	51.2	109.2	116.6	65%	94%	-0.6	-0.8
2	1	5.8	7.0	-2.9	-2.0	0.9	2.2	0.5	7.9	21.6	20.3	6%	107%	-1.2	-0.9
	2	6.7	8.7	-5.5	-1.6	0.1	3.4	22.5	9.2	33.1	20.8	244%	159%	-2.0	-3.9
	3	7.0	9.3	-3.3	-1.0	1.6	3.8	0.0	10.1	23.8	18.5	0%	129%	-2.3	-2.3
	4	9.3	8.6	-3.2	-0.7	2.6	3.7	0.0	16.0	31.3	20.1	0%	156%	0.7	-2.5
	5	9.8	9.5	-2.6	-0.3	3.4	4.9	0.0	16.8	23.2	24.8	0%	94%	0.3	-2.3
	6	14.9	10.2	-1.7	-0.2	6.0	5.1	9.0	11.2	23.1	15.5	80%	149%	4.7	-1.5
	平均・計*	8.5	8.8	-3.3	-1.0	2.2	3.8	32.0	71.3	156.1	119.9	45%	130%	-0.3	-2.3
3	1	16.5	10.4	2.7	0.3	9.7	5.3	61.0	17.2	20.5	22.0	354%	93%	6.1	2.4
	2	11.1	10.8	2.5	0.3	6.3	5.8	35.0	12.8	21.9	21.8	273%	100%	0.3	2.2
	3	18.5	12.2	0.6	1.0	9.1	6.3	0.0	19.2	46.9	26.1	0%	180%	6.3	-0.4
	4	14.1	12.9	3.5	1.7	8.3	7.5	20.5	17.8	13.9	27.1	115%	51%	1.2	1.8
	5	13.9	13.6	1.7	2.8	7.4	8.0	40.5	22.3	28.9	25.5	181%	113%	0.3	-1.1
	6	21.4	14.3	2.7	2.8	11.7	8.6	0.0	16.4	62.4	32.3	0%	193%	7.1	-0.1
	平均・計*	16.1	12.4	2.3	1.5	8.8	7.0	157.0	105.8	194.5	154.8	148%	126%	3.7	0.8
4	1	23.5	16.2	7.8	3.6	14.9	9.4	1.0	15.8	36.0	26.2	6%	137%	7.3	4.2
	2	16.5	18.1	4.0	5.3	10.2	11.5	35.0	19.6	18.4	33.6	178%	55%	-1.6	-1.3
	3	20.4	18.4	8.0	6.1	14.0	12.2	41.5	20.2	22.3	22.1	206%	101%	2.0	1.9
	4	21.4	19.8	7.1	7.0	13.7	13.8	13.5	17.2	31.6	26.4	78%	120%	1.6	0.1
	5	23.7	20.1	10.4	7.9	17.0	14.4	57.0	17.2	31.5	26.1	332%	121%	3.6	2.5
	6	24.3	22.1	9.6	8.4	16.1	14.9	4.5	13.1	38.2	39.5	34%	97%	2.2	1.2
	平均・計*	21.6	19.1	7.8	6.4	14.3	12.7	152.5	103.1	178.0	173.9	148%	102%	2.5	1.4
5	1	23.0	22.7	11.4	10.4	17.1	17.3	16.0	18.9	29.8	35.5	85%	84%	0.3	1.0
	2	19.5	23.7	10.8	11.1	14.9	17.6	54.5	25.6	14.7	23.8	213%	62%	-4.2	-0.3
	3	24.7	22.6	9.9	11.4	17.4	16.9	62.0	35.5	40.0	33.1	175%	121%	2.1	-1.5
	4	26.0	23.5	14.8	12.2	19.7	18.0	18.0	28.6	16.9	23.7	63%	71%	2.5	2.6
	5	26.1	24.7	12.6	13.2	19.2	19.0	9.0	19.3	47.4	28.7	47%	165%	1.4	-0.6
	6	25.9	25.2	15.2	13.8	20.2	19.5	50.0	18.7	11.2	33.1	268%	34%	0.7	1.4
	平均・計*	24.3	23.8	12.5	12.1	18.2	18.1	209.5	146.5	160.0	177.9	143%	90%	0.5	0.4
6	1	27.8	26.4	13.6	15.1	20.5	20.3	2.5	16.9	31.9	25.7	15%	124%	1.4	-1.5
	2	24.8	26.7	18.2	16.0	21.2	20.9	78.5	24.8	8.8	22.3	317%	40%	-1.9	2.2
	3	23.8	26.6	16.3	16.8	19.3	21.6	30.5	21.4	0.8	25.4	143%	3%	-2.8	-0.5
	4	26.0	27.5	15.9	18.0	20.8	22.8	40.0	39.4	欠測	22.9	102%	欠測	-1.5	-2.1
	5	29.1	26.9	17.4	19.0	22.5	22.8	16.0	42.6	〃	14.4	38%	〃	2.2	-1.6
	6	31.2	28.1	22.2	20.0	26.2	24.3	34.5	47.7	〃	13.7	72%	〃	3.1	2.2
	平均・計*	27.1	27.0	17.3	17.5	21.8	22.1	202.0	192.8	41.5	124.4	105%		0.1	-0.2

* 各月及び年「平均・計」欄の降水量、日照時間の値は合計値を示す

6月第3半旬～9月第6半旬は計器不良のため、日照時間は欠測

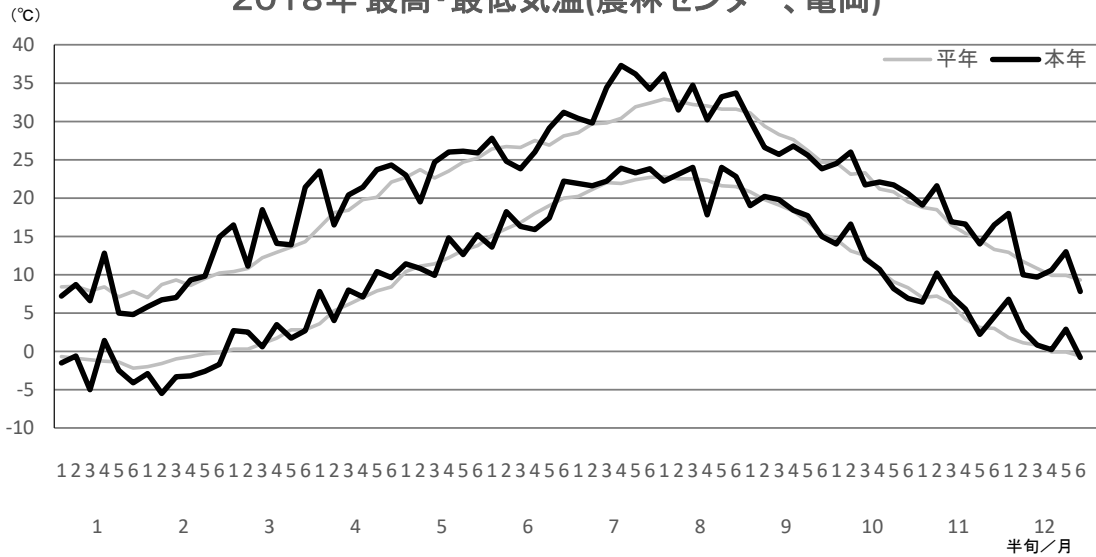
平 年 値	最高・最低気温、降水量	…1981～2010年の平均値
	平均気温	…1993～2010年の平均値
	日照時間	…2005～2010年の平均値

京都府農林センター（亀岡市余部町）

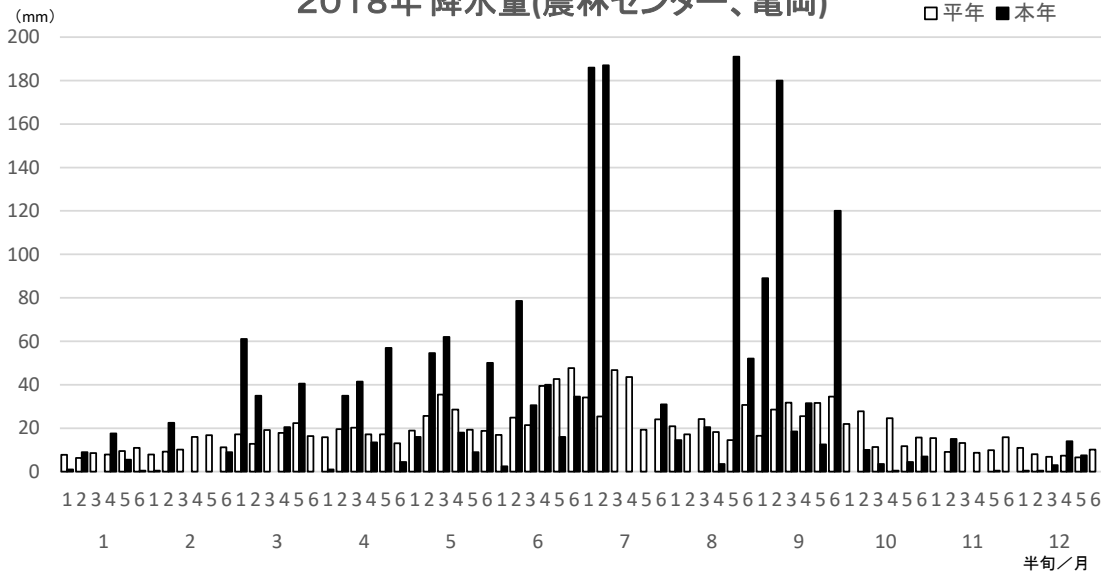
月	半旬	最高気温（℃）		最低気温（℃）		平均気温（℃）		降水量（mm）		日照時間（h）		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	30.4	28.5	21.9	20.2	26.4	24.8	186.0	34.1	欠測	14.0	546%	欠測	1.9	1.7
	2	29.8	29.7	21.6	21.1	25.4	25.2	187.0	25.4	〃	11.2	735%	〃	0.1	0.5
	3	34.4	29.8	22.2	22.0	28.0	25.8	0.0	46.8	〃	14.2	0%	〃	4.6	0.2
	4	37.3	30.4	23.9	21.9	30.1	25.6	0.0	43.6	〃	20.9	0%	〃	6.9	2.0
	5	36.2	31.9	23.3	22.4	29.4	27.0	0.0	19.3	〃	31.8	0%	〃	4.3	0.9
	6	34.2	32.4	23.8	22.7	28.5	27.0	31.0	24.0	〃	30.7	129%	〃	1.8	1.1
	平均・計*	33.7	30.5	22.8	21.7	28.0	25.9	404.0	193.1	〃	122.9	209%	〃	3.2	1.1
8	1	36.2	32.9	22.2	22.8	28.5	27.8	14.5	20.9	〃	37.2	69%	〃	3.3	-0.6
	2	31.5	32.6	23.1	22.5	26.7	27.4	0.0	17.2	〃	35.1	0%	〃	-1.1	0.6
	3	34.7	32.2	24.0	22.5	28.2	27.0	20.5	24.2	〃	31.3	85%	〃	2.5	1.5
	4	30.2	32.0	17.8	22.3	24.3	27.1	3.5	18.2	〃	40.3	19%	〃	-1.8	-4.5
	5	33.2	31.6	24.0	21.6	28.5	26.0	191.0	14.5	〃	33.4	1318%	〃	1.6	2.4
	6	33.7	31.6	22.8	21.5	27.3	25.7	52.0	30.7	〃	31.6	169%	〃	2.1	1.3
	平均・計*	33.3	32.1	22.3	22.2	27.3	26.8	281.5	125.7	〃	208.8	224%	〃	1.2	0.1
9	1	30.1	31.1	19.0	20.8	24.9	25.1	89.0	16.5	〃	33.9	540%	〃	-1.0	-1.8
	2	26.6	29.4	20.2	19.8	23.1	24.3	180.0	28.6	〃	30.0	629%	〃	-2.8	0.4
	3	25.7	28.3	19.8	19.1	22.2	23.5	18.5	31.7	〃	27.7	58%	〃	-2.6	0.7
	4	26.8	27.6	18.4	18.3	22.0	22.9	31.5	25.5	〃	31.3	123%	〃	-0.8	0.1
	5	25.6	26.2	17.7	16.9	21.1	21.3	12.5	31.6	〃	29.7	40%	〃	-0.6	0.8
	6	23.8	24.7	15.0	15.3	18.9	19.8	120.0	34.6	〃	24.8	347%	〃	-0.9	-0.3
	平均・計*	26.4	27.9	18.4	18.4	22.0	22.8	451.5	168.4	〃	177.4	268%	〃	-1.5	0.0
10	1	24.5	24.6	14.0	14.6	19.1	19.3	0.0	21.9	24.3	21.0	0%	116%	-0.1	-0.6
	2	26.0	23.1	16.6	13.1	20.9	17.8	10.0	27.8	22.7	25.2	36%	90%	2.9	3.5
	3	21.7	23.3	12.1	12.5	16.4	17.6	3.5	11.4	21.0	29.9	31%	70%	-1.6	-0.4
	4	22.1	21.2	10.7	10.5	15.3	15.8	0.5	24.6	27.7	32.1	2%	86%	0.9	0.2
	5	21.7	20.8	8.2	9.1	14.1	15.0	4.5	11.7	28.0	21.4	38%	131%	0.9	-0.9
	6	20.6	19.5	6.9	8.3	12.9	13.7	7.0	15.7	29.3	27.8	45%	105%	1.1	-1.4
	平均・計*	22.7	22.0	11.3	11.3	16.3	16.4	25.5	113.1	153.0	157.4	23%	97%	0.7	0.0
11	1	19.1	18.8	6.4	7.0	11.7	12.3	0.0	15.5	19.1	26.3	0%	73%	0.3	-0.6
	2	21.6	18.5	10.2	7.2	15.7	12.1	15.0	9.1	25.4	24.1	164%	106%	3.1	3.0
	3	16.9	16.5	7.2	6.2	11.4	11.5	0.0	13.2	14.3	19.2	0%	74%	0.4	1.0
	4	16.6	15.4	5.5	4.2	10.7	9.1	0.0	8.7	18.5	20.9	0%	89%	1.2	1.3
	5	14.0	14.5	2.2	3.1	6.9	8.1	0.5	9.9	14.6	19.2	5%	76%	-0.5	-0.9
	6	16.5	13.3	4.5	3.0	9.5	8.3	0.0	15.8	17.5	19.1	0%	92%	3.2	1.5
	平均・計*	17.5	16.2	6.0	5.1	11.0	10.2	15.5	72.3	109.4	128.7	21%	85%	1.3	0.9
12	1	18.0	12.9	6.8	1.8	11.9	7.1	0.5	10.9	12.4	21.3	5%	58%	5.1	5.0
	2	10.0	11.7	2.7	1.1	5.9	5.7	0.5	8.0	7.1	22.8	6%	31%	-1.7	1.6
	3	9.7	10.8	0.8	0.8	4.6	5.4	3.0	6.8	11.7	14.0	44%	83%	-1.1	0.0
	4	10.6	9.9	0.2	-0.1	5.0	4.5	14.0	7.4	16.0	24.6	190%	65%	0.7	0.3
	5	13.0	9.9	2.9	-0.1	7.2	4.1	7.5	6.5	15.3	17.1	115%	89%	3.1	3.0
	6	7.8	9.3	-0.8	-0.6	3.0	3.6	0.0	10.2	17.6	22.6	0%	78%	-1.5	-0.2
	平均・計*	11.4	10.7	2.0	0.4	6.2	5.0	25.5	49.8	80.1	122.4	51%	65%	0.7	1.6
年平均・計		20.9	19.9	9.8	9.5	14.9	14.5	1607.0	1393.1		1785.1	115%		1.0	0.3

* 各月及び年「平均・計」欄の降水量、日照時間の値は合計値を示す
6月第3半旬～9月第6半旬は計器不良のため、日照時間は欠測

2018年 最高・最低気温(農林センター、亀岡)



2018年 降水量(農林センター、亀岡)



2018年 日照時間(農林センター、亀岡)



平 年 値	1981～2010年の平均値
-------	----------------

京都府農林センター丹後特産部(丹後農業研究所)(京丹後市弥栄町)

月	半旬	最高気温(°C)		最低気温(°C)		平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	6.9	8.0	1.4	0.6	3.9	4.2	16.5	35.6	3.8	8.0	46%	47%	-1.1	0.8
	2	9.5	8.2	-0.2	0.0	4.6	4.0	24.0	40.4	6.5	9.0	59%	72%	1.3	-0.2
	3	4.0	7.2	-7.8	0.1	-1.4	3.6	26.0	46.6	15.5	6.8	56%	229%	-3.2	-7.9
	4	11.1	7.7	0.5	-0.3	5.3	3.7	10.5	38.2	11.0	9.6	27%	115%	3.4	0.8
	5	5.1	6.6	-1.7	-1.1	1.3	2.7	24.0	38.7	1.7	8.2	62%	21%	-1.5	-0.6
	6	4.0	7.0	-3.3	-1.1	0.5	2.9	1.5	49.4	5.6	11.9	3%	47%	-3.0	-2.2
	平均・計*	6.7	7.4	-1.9	-0.3	2.3	3.5	102.5	248.9	44.1	53.5	41%	82%	-0.7	-1.6
2	1	4.7	6.3	-2.6	-1.2	0.8	2.5	0.0	31.2	20.7	8.2	0%	253%	-1.6	-1.4
	2	3.5	7.8	-8.5	-1.0	-1.4	3.4	44.0	29.2	20.0	12.5	151%	160%	-4.3	-7.5
	3	4.7	8.3	-3.3	-0.2	0.6	4.0	51.0	27.8	11.9	12.7	184%	94%	-3.6	-3.1
	4	6.8	7.9	-3.6	-0.4	1.5	3.7	2.5	29.6	24.2	11.2	8%	217%	-1.1	-3.2
	5	7.3	8.4	-2.5	-0.1	1.7	4.2	4.0	33.4	16.9	14.5	12%	116%	-1.1	-2.4
	6	11.0	9.1	-2.3	-0.2	3.7	4.4	1.0	16.5	19.0	9.8	6%	195%	2.0	-2.1
	平均・計*	6.5	7.9	-3.8	-0.5	1.1	3.7	102.5	167.6	112.7	68.8	61%	164%	-1.4	-3.3
3	1	15.3	9.5	2.5	0.3	9.1	5.0	46.5	23.2	20.1	14.7	200%	137%	5.8	2.2
	2	9.4	10.0	2.7	0.4	5.8	5.2	33.5	20.9	6.9	17.3	160%	40%	-0.6	2.3
	3	17.7	11.6	-0.2	0.8	8.3	6.3	1.0	20.1	40.3	19.7	5%	204%	6.1	-1.0
	4	13.3	12.2	3.1	1.9	7.7	7.0	44.5	21.3	14.9	19.9	209%	75%	1.1	1.2
	5	11.8	12.7	1.6	2.3	6.8	7.5	48.5	26.0	27.9	18.6	187%	150%	-0.9	-0.7
	6	19.9	13.3	1.0	2.5	9.6	7.9	0.0	23.2	61.3	25.1	0%	244%	6.6	-1.5
	平均・計*	14.7	11.6	1.8	1.4	7.9	6.5	174.0	134.7	171.4	115.2	129%	149%	3.1	0.4
4	1	22.6	15.0	7.3	3.0	13.7	9.0	4.5	17.8	34.9	26.2	25%	133%	7.6	4.3
	2	15.9	17.1	3.5	4.7	10.0	10.9	33.0	21.4	19.1	25.6	154%	75%	-1.2	-1.2
	3	19.6	16.9	7.4	5.3	13.1	11.1	21.5	21.6	20.0	23.8	99%	84%	2.7	2.1
	4	19.2	18.8	5.2	6.2	12.3	12.5	8.0	17.7	41.9	29.6	45%	141%	0.4	-1.0
	5	22.4	19.3	9.6	7.2	15.5	13.3	67.5	17.8	27.1	26.9	378%	101%	3.1	2.4
	6	21.8	21.2	8.2	7.3	15.1	14.2	0.0	12.0	40.5	32.6	0%	124%	0.6	0.9
	平均・計*	20.3	18.0	6.9	5.6	13.3	11.8	134.5	108.4	183.5	164.7	124%	111%	2.3	1.3
5	1	22.5	21.6	8.9	9.1	16.0	15.4	18.5	18.4	35.7	28.2	100%	127%	0.9	-0.2
	2	18.4	22.8	10.3	9.9	14.5	16.3	42.5	22.9	11.7	29.3	186%	40%	-4.4	0.4
	3	23.0	21.5	8.8	10.6	16.4	16.1	41.0	34.5	31.3	25.5	119%	123%	1.5	-1.8
	4	24.6	22.4	13.2	11.3	19.1	16.9	25.0	25.4	12.5	26.3	98%	48%	2.2	1.9
	5	24.9	23.2	11.3	12.1	18.3	17.7	18.5	18.0	44.0	28.7	103%	153%	1.7	-0.8
	6	25.0	24.0	14.2	12.6	19.6	18.3	15.5	17.3	18.9	33.3	90%	57%	1.0	1.6
	平均・計*	23.1	22.6	11.2	11.0	17.4	16.8	161.0	136.6	154.1	171.3	118%	90%	0.5	0.2
6	1	26.7	24.9	12.5	13.5	19.6	19.1	1.5	14.7	37.8	29.6	10%	128%	1.8	-1.0
	2	24.5	25.1	17.7	14.6	20.9	19.8	29.5	16.5	19.3	24.1	178%	80%	-0.6	3.1
	3	20.5	25.6	15.8	15.4	18.0	20.5	20.5	19.8	7.2	23.3	103%	31%	-5.1	0.4
	4	27.0	26.4	15.6	16.7	21.2	21.5	15.5	26.3	28.8	22.0	59%	131%	0.6	-1.1
	5	27.7	26.1	15.4	17.6	21.5	21.8	0.0	41.1	31.8	15.5	0%	205%	1.6	-2.2
	6	30.7	26.8	22.2	18.5	26.5	22.6	36.0	40.4	12.8	15.5	89%	82%	3.9	3.7
	平均・計*	26.3	25.8	16.7	16.0	21.4	20.9	103.0	158.9	137.7	130.0	65%	106%	0.5	0.7

* 各月及び年「平均・計」欄の降水量、日照時間の値は合計値を示す

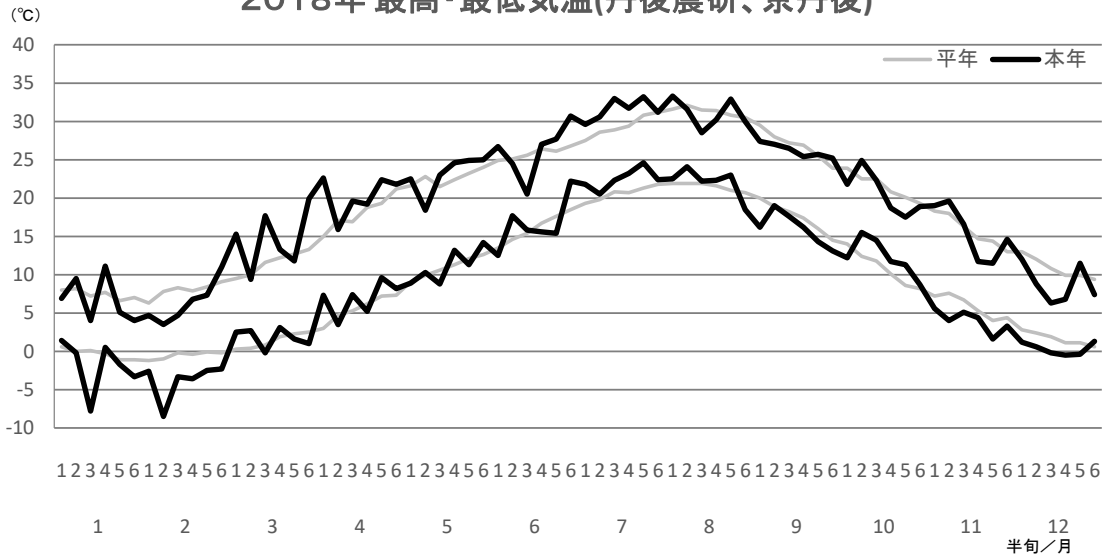
平年値 1981～2010年の平均値

京都府農林センター丹後特産部(丹後農業研究所)(京丹後市弥栄町)

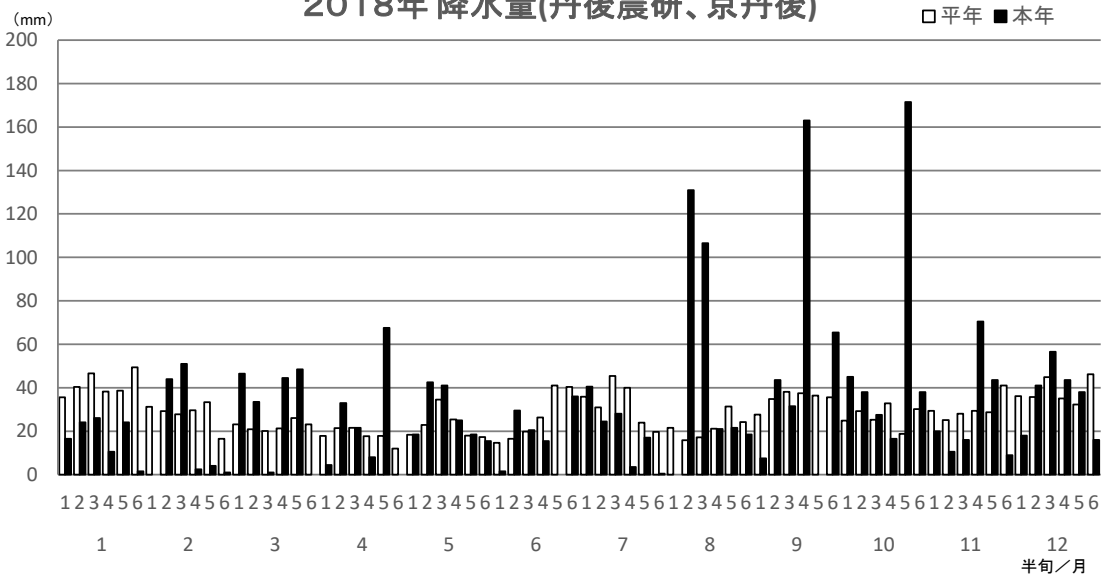
月	半旬	最高気温(°C)		最低気温(°C)		平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	29.6	27.5	21.8	19.3	25.2	23.3	40.5	35.8	11.1	17.3	113%	64%	2.1	2.5
	2	30.6	28.6	20.5	19.8	25.0	24.1	24.5	31.0	30.4	20.0	79%	152%	2.0	0.7
	3	33.0	28.9	22.3	20.8	26.9	24.8	28.0	45.4	34.5	14.8	62%	234%	4.1	1.5
	4	31.7	29.4	23.2	20.7	27.2	25.0	3.5	40.0	35.7	23.3	9%	153%	2.3	2.5
	5	33.2	30.8	24.6	21.3	28.1	26.0	17.0	23.9	18.9	30.2	71%	63%	2.4	3.3
	6	31.2	31.2	22.4	21.8	26.2	26.4	0.5	19.7	39.0	36.3	3%	107%	0.0	0.6
	平均・計*	31.6	29.5	22.4	20.7	26.4	25.0	114.0	195.8	169.6	141.8	58%	120%	2.1	1.7
8	1	33.3	31.6	22.5	21.9	27.8	26.7	0.0	21.6	44.8	35.0	0%	128%	1.7	0.6
	2	31.6	32.1	24.1	21.9	27.2	26.9	131.0	15.8	26.1	33.5	829%	78%	-0.5	2.2
	3	28.5	31.5	22.2	21.9	24.7	26.7	106.5	17.2	19.0	29.8	619%	64%	-3.0	0.3
	4	30.2	31.4	22.3	21.6	25.3	26.4	21.0	21.1	27.3	31.3	100%	87%	-1.2	0.7
	5	32.9	30.8	23.0	21.0	27.3	25.8	21.5	31.4	28.8	28.1	69%	102%	2.1	2.0
	6	30.0	30.5	18.5	20.7	24.0	25.6	18.5	24.2	42.5	35.5	76%	120%	-0.5	-2.2
	平均・計*	31.0	31.3	22.0	21.5	26.0	26.3	298.5	131.2	188.5	193.2	228%	98%	-0.3	0.5
9	1	27.4	29.5	16.2	20.0	21.6	24.7	7.5	27.7	31.7	28.5	27%	111%	-2.1	-3.8
	2	27.0	28.0	19.0	18.9	22.4	23.4	43.5	34.8	23.9	20.2	125%	118%	-1.0	0.1
	3	26.5	27.2	17.6	18.2	21.8	22.6	31.5	38.1	25.2	20.3	83%	124%	-0.7	-0.6
	4	25.4	26.9	16.2	17.4	20.7	22.1	163.0	37.5	16.1	22.3	435%	72%	-1.5	-1.2
	5	25.7	25.5	14.3	16.0	19.5	20.7	0.0	36.4	31.5	18.4	0%	171%	0.2	-1.7
	6	25.2	23.9	13.1	14.5	19.1	19.2	65.5	35.6	27.8	17.9	184%	155%	1.3	-1.4
	平均・計*	26.2	26.8	16.1	17.5	20.8	22.1	311.0	210.1	156.2	127.6	148%	122%	-0.6	-1.4
10	1	21.8	23.9	12.2	14.0	17.4	18.9	45.0	24.9	13.8	19.4	181%	71%	-2.1	-1.8
	2	24.9	22.5	15.5	12.4	19.7	17.4	38.0	29.2	26.4	20.1	130%	131%	2.4	3.1
	3	22.3	22.5	14.5	11.8	17.7	17.1	27.5	25.2	12.9	21.9	109%	59%	-0.2	2.7
	4	18.7	20.8	11.7	10.1	15.2	15.3	16.5	32.8	13.0	22.3	50%	58%	-2.1	1.6
	5	17.5	20.1	11.3	8.6	14.8	14.3	171.5	18.7	2.6	21.9	916%	12%	-2.6	2.7
	6	18.9	19.3	8.7	8.2	13.4	13.7	38.0	30.1	24.2	24.0	126%	101%	-0.4	0.5
	平均・計*	20.6	21.4	12.2	10.8	16.3	16.0	336.5	160.9	92.9	129.6	209%	72%	-0.8	1.4
11	1	19.0	18.3	5.6	7.2	11.6	12.7	20.0	29.4	32.0	18.7	68%	171%	0.7	-1.6
	2	19.6	18.0	4.0	7.6	11.9	12.4	10.5	25.1	31.2	18.6	42%	168%	1.6	-3.6
	3	16.6	16.3	5.1	6.7	10.7	11.1	16.0	28.1	21.6	13.8	57%	156%	0.3	-1.6
	4	11.7	14.7	4.4	5.3	7.5	10.0	70.5	29.4	10.8	13.6	240%	79%	-3.0	-0.9
	5	11.5	14.4	1.6	4.0	6.1	9.1	43.5	28.7	7.5	14.4	152%	52%	-2.9	-2.4
	6	14.6	13.0	3.3	4.4	9.3	8.7	9.0	41.0	9.8	10.8	22%	91%	1.6	-1.1
	平均・計*	15.5	15.8	4.0	5.9	9.5	10.7	169.5	181.6	112.9	90.0	93%	125%	-0.3	-1.9
12	1	12.0	13.0	1.2	2.8	6.0	7.8	18.0	36.1	14.2	13.4	50%	106%	-1.0	-1.6
	2	8.8	12.0	0.6	2.4	4.6	7.1	41.0	35.7	10.5	12.7	115%	82%	-3.2	-1.8
	3	6.3	10.8	-0.2	1.9	2.6	6.4	56.5	44.9	11.7	9.9	126%	118%	-4.5	-2.1
	4	6.8	9.9	-0.5	1.1	2.1	5.4	43.5	35.1	7.6	10.4	124%	73%	-3.1	-1.6
	5	11.5	9.9	-0.4	1.1	4.9	5.5	38.0	32.3	17.8	9.6	117%	186%	1.6	-1.5
	6	7.4	9.4	1.3	0.6	4.6	5.0	16.0	46.2	3.3	11.3	35%	29%	-2.0	0.7
	平均・計*	8.8	10.8	0.4	1.6	4.2	6.2	213.0	230.4	65.1	67.4	92%	97%	-2.0	-1.2
年平均・計*		19.2	19.1	9.0	9.3	13.9	14.1	2012.5	2065.1	1624.9	1453.1	97%	112%	0.1	-0.3

* 各月及び年「平均・計」欄の降水量、日照時間の値は合計値を示す

2018年 最高・最低気温(丹後農研、京丹後)



2018年 降水量(丹後農研、京丹後)



2018年 日照時間(丹後農研、京丹後)

